

## 目次ー1 (メイン画面説明)

- P- 1 [目次1](#)  
 P- 2 [目次2](#)  
 P- 3 [目次3](#)  
 P- 4 [メイン画面 \(全体イメージ\)](#)  
 P- 5 [メイン \(業務日誌\) 画面 \(QSO済登録データ\)](#)  
 P- 6 [メイン \(ワーク欄1\) 画面 \(ワーク欄ボタン説明\)](#)  
 P- 7 [メイン \(ワーク欄2\) 画面 \(ワーク欄ボタン説明\)](#)  
 P- 8 [星取表画面](#)  
 P- 9 [日付検索、リグコントロール、カントリー状況](#)  
 P-10 [GLマップ、位置情報検索](#)  
 P-11 [リグ、DXCC、JCC](#)  
 P-12 [環境設定画面 \(全般\)](#)  
 P-13 [環境設定画面 \(コンフィグシス\)](#)  
 P-14 [環境設定画面 \(リグコントロール\)](#)  
 P-15 [オプション設定画面](#)  
 P-16 [ラバースタンプ送信](#)  
 P-17 [JCC検索関係](#)  
 P-18 [BGALOGバージョンアップ方法 \(3種類:いずれもBGAZIP. EXEを使用\)](#)

細かい部分のマニュアル修正  
 このマニュアルは当初作成時の物であり、詳細修正が不十分です。  
 LOGの各ボタンへマウスを持って行った場合に表示されるツールチップヘルプと合わせて確認してください。

その他のマニュアル: →  
 各画面内にそれぞれのマニュアルが有ります。

メイン画面の「⑩マニュアル&WW接続」からも接続できます。

## 各ツール毎の機能説明

マウスの進むボタンorセンターボタン(スクロールボタン)押下で  
 ツール毎の使用説明書が表示されます。

※ 5ボタン以上の機能を持ったマウスが必要です。  
 右ボタン以外の「進む・戻る」ボタンにも機能を埋め込んでいる場所があります。  
 メイン画面、テルネット画面以外では一部ツールチップヘルプを使用しています。

## ―― 以下質問の多い内容(順不動)

- P-19 [各項目間の表示幅の設定、アイコンリグコントロールの設定、使用ファイル一覧、不要ファイルの自動削除](#)  
 P-20 [CONFIG. TXTの修正](#)  
 P-21 [データファイルの自動メンテナンス、カントリーリストメンテナンス](#)  
 P-22 [ARRLのDXCCリストとの整合方法例](#)  
 P-23 [LOTW \(データ作成処理、受領処理\)](#)  
 P-24 [LOTW \(受領整合処理、補正処理\)](#)  
 P-25 [LOTW \(データ作成処理\)](#)  
 P-26 [LOTW \(作業の流れ\)](#)  
 P-27 [Mode上限周波数 \(CW、PSK、RTTY\)、ウォンテット登録、データグリッド \(DBG\) 既定のエラーダイアログ](#)  
 P-28 [データの検索 \(or修正方法\) \(特殊例参考\)](#)  
 P-29 [アルト \(Alt\)、シフト \(Shift\) キーの活用、完全キーボードのみでのQSO方法 \(メイン画面アクティブ時\)](#)  
 P-30 [リグコントロール設定 \(環境設定\)](#)

各項目への移動は、「下線」の部分をクリックしてください。  
 メニューへの戻りは「メニューへ」をクリックしてください。

## BGALOG関係

- バージョンアップ確認
- バージョンアップ履歴
- **メイン画面説明**
- **テルネット画面説明**
- **IOTA画面説明**
- **JCC画面説明**
- **学習画面説明**
- **DXCC画面説明**
- **マネージャ画面説明**
- **印刷画面説明**
- **キーパット**
- **地図マニュアル**
- **QSLカード表示マニュアル**
- **インストール説明**
- **BGALOG紹介**
- **BGAZIP等のアップデート**
- **エラー&トラブル時の処理**
- **JT65、FT8マニュアル**
- **メインオプション**

## 目次-2

- P-31 [検索が出来ない、ヌル補正の必要性](#)
- P-32 [交信済のデータ出力（エクセルへ取り込む方法）](#)
- P-33 [月間、年間、検索分、DXCC把握とデータ作成](#)
- P-34 [各種ヘルプ](#)
- P-35 [よく使用するボタン](#)
- P-36 [コールサイン欄での検索](#)
- P-37 [CQ誌（2016年間DXCC）特別賞データの作成](#)
- P-38 [IOTA検索](#)
- P-39 [処理スピード改善](#)
- P-40 [WINシステムタイマー設定、センターボタンでヘルプ](#)
- P-41 [マウスの「進む」or「センター」ボタンでヘルプ、期間指定検索](#)
- P-42 [タカオフォントについて（数字のゼロにスラッシュ）](#)
- P-43 [マウスについて（各ツール機能説明の表示方法）](#)
- P-44 [先読みチェックボタン（1文字入力毎のコールサイン先読み検索）](#)
- P-45 [同（「F12」キーの活用）](#)
- P-46 [同（「↑、↓」キーの活用）](#)
- P-47 [ファイル内容の確認（\\*.TXT、\\*.ADI の修正方法）](#)
- P-48 [業務日誌（DBグリッド）欄の修正](#)
- P-49 [システム全体のバージョンアップ方法等、環境設定の手動バージョンアップ、音声発生中の作業について](#)
- P-50 [各バックアップの特徴](#)
- P-51 [メイン画面でのカラー](#)
- P-52 [BGALOGでの使用ファイル](#)
- P-53 [メイン画面での複合検索](#)
- P-54 [データベースの修復方法](#)
- P-55 [テキストファイルの内容を確認したい。](#)
- P-56 [カントリーリストの印刷](#)
- P-57 [自動エラーメッセージ送信設定方法](#)
- P-58 [消滅カントリー](#)
- P-59 [交信済データからカントリーリストを個別に整合させる。](#)
- P-60 [交信済データからカントリーリストを一括整合させる。](#)
- P-61 [アクセスによるデータベースの修復とコンパクト化](#)
- P-62 [時間、期間、関連検索](#)

「マニュアルと動作が異なる」など修正が出来ていない部分に気が付きましたらレポートをいただければ幸いです。わかりにくいなどのところがありましたらレポートいただきますと修正をしていきたいと思ひます。

## 目次-3

- P-63 [モード、周波数使用時の注意事項等 \(モード、周波数欄の活用\)](#)
- P-64 [WSJTからのデータリンク、](#)
- P-65 [JT65-HF \(HB9HQX\) 等からのデータリンク \(交信データの取込\)](#)
- P-66 [複合検索 \(ツール利用検索\)](#)
- P-67 [複合検索 \(コマンド直接記入検索\)](#)
- P-68 [業務日誌欄修正履歴、項目内文字置換\(項目内全置換、一致文字\(文字列\)のみ修正\)](#)
- P-69 [eQSLの活用 \(eQSL、CCとの連携\)](#)
- P-70 [QSLカード管理](#)
- P-71 [画像の表示、取り込み](#)
- P-72 [eQSL関連画面](#)
- P-73 [eQSL\(画像、ファイル作成\)処理](#)
- P-74 [DXCCカントリーリストの一括補正 \(交信登録済の業務日誌による自動登録\)](#)
- P-75 [FT8、JT65設定](#)
- P-76 [DXCCの考え方と保守方法の一例 \(3ページ\)](#)
- [投入データが消えてしまった場合の復旧方法 \(2ページ\)](#)
- [クリップボードの活用、コピー機能](#)
- [年間DXCC管理](#)
- [メイン画面の項目別、注意事項](#)
- [簡易不正データチェック方法](#)
- [業務日誌内文字列の置き換え \(複合検索\)](#)
- [ADIFファイルの一覧確認とCSVファイルへの出力方法 \(参考記載\)](#)

# メイン画面(全体イメージ)P-4

IOTA, JCC, 学習, DXCC, マネージャ, の各管理、ここに記載されていないマニュアル(HELP)についてはそれぞれの画面にあります。  
 ここでは、メイン画面に関係するものについてのみ説明を行っています。  
 その他、メイン画面の「マニュアル&WWW接続」フォルダーで全てのマニュアル確認ができます。

目次1へ

## 各ツールでの右クリックでヘルプ表示

- 画面切替欄 (同一画面で切替)



- 画面切替欄 (5ページ参照(水色ボタン))

- マニュアル (この画面)

- ワーク欄(追加、検索等) (5ページ参照)

- コントロール欄(リグ・RTC) (6ページ参照)

- メッセージ欄

- 位置情報欄

The screenshot shows the main interface with various toolbars at the top and a large data table. The toolbars include 'メイン画面', 'IOTA管理', 'JCC管理', '学習管理', 'DXCC管理', 'マネージャ管理', 'LOTW等D処理', '複合検索と書換', 'マニュアル&WWW接続', 'ファイル内容確認', and 'メインオプション'. The data table has columns for call sign, date, time, mode, frequency, etc. A red box highlights the 'マニュアル' button in the toolbar and the 'マニュアル' column in the table. A blue box highlights the '画面切替欄' buttons. A green box highlights the 'ワーク欄' buttons. A red box highlights the 'コントロール欄' buttons. A red box highlights the 'メッセージ欄' and '位置情報欄' buttons. A red box highlights the '業務日誌表示欄' buttons. A red box highlights the '星取表画面' buttons. A red box highlights the 'RTCコントロール' buttons.

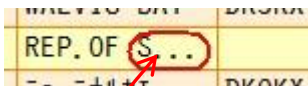
- 業務日誌表示欄 (業務日誌、検索結果、等表示)

★ テキストボックスの表示色 = 検索局のバンド別モード別更新状況表示

- オレンジ : 現在交信しようとしている周波数等で未交信 (交信OK)
- 赤色 : 現在交信しようとしている周波数等で12ヶ月以内に既に交信済 (デュープ)
- ピンク : 現在交信しようとしている周波数等で12ヶ月以前に既に交信済 (デュープ)
- その他のバンド・モード (過去の交信状況、参考表示)

- 星取表画面(8ページ参照) カントリーリスト欄 (カントリーとの交信状況)

- RTCコントロール (8-10ページ参照)



\*\*\*非表示部分データ有 (ツールチップヘルプで確認可) マウスカーソルを持っていくと表示

### バックカラー

CW	SSB	DIGITAL
1.9		
3.5		
7	F7MNO	T
10	F7MNO	298
14	F7MNO	F7AOR
18	F7MNO	F7OYL
21	F7MNO	F7OBK
24	F7MNO	F7/KG7XE
28	F7/Y31XO	F7SJJ
50	T	

- 水色 : 12ヶ月以内に交信済
- グリーン : 12ヶ月以前に交信済
- 黄色 : 未交信
- カード受領登録時
- マゼンダ : 受領登録したデータ

# メイン(業務日誌)画面 (QSO済登録データ)

**業務日誌欄削除時の注意: 直接削除は半角のスペースを入力**  
 DBG(格子部分)の入力はすべての項目をテキストとして作成していますので「ヌル(何も未記入の状態)」とならない様に注意願います。  
 「ヌル」の部分が有ると検索に失敗します。P-24を参照

・ ペディション記号  
 (C=クラブログ、P=ペディション、W=ウオンテット : 登録局)

## ・ カード送受管理

- T: 発送欄  
 スペース=未発送(スペースは発送するが現在未発送、/は発送しない印) その他発送済(T、D、J、G、等、自由)
- R: 受領欄  
 R=受領(限定)  
 スペース=未受領
- L: LOTW欄  
 R=受領(限定)  
 スペース=未送付  
 T=送付済
- E: EQSL欄  
 同上

・ DBボックス  
 (格子状のデータ画面を「DBボックス」と表現しています。)

- ・ 項目欄(すべての項目で使用可能 : クリックでその項目内のデータでソート実施)
- ・ 備考2(NWのデータ等を自動取込み。 : 240バイトまで登録可で備考1と合わせて使用方法は自由)

各項目幅設定(項目欄区切線をドラッグドロップで変更: 環境へ自動登録)

周波数(カヘルツ後の[ドット]までは記入必須、最低入力例: 21.)

↑	コールサイン	日付	時間	モード	周波数	HRS	MRS	フワリ...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	ゾーン	T	R	L	E	備考1	IOTA	JCC	GL	Q	
	HA9PP	2018/02/09	06:05	FT8	14.074.0	+03	-06	HA	239	ISTVAN SZECSI	HUNGARY			EU-15	/	R	R		LOTW=OK				KN07KX	F
	T88RF	2018/02/09	06:05	FT8	24.915.0	+16	+05	T8	022	KAN YOKOTA	PALAU	2GS	C	OC-27	/	R	E		LOTW=OK	OC-009			PJ77FI	
	UA0JGI	2018/02/09	03:40	FT8	14.074.0	+03	+02	UA0	015	EVDOKIMENKO...	ASIATIC ...			AS-17		L	E						O062MG	
	BG7BDB	2018/02/09	02:57	FT8	14.074.0	+18	+03	BY	318	DEWEI LIU	CHINA	BA4EG		AS-24	/	R	E		LOTW=OK BORN=1983				OL69SL	
	5W0LR	2018/02/08	05:09	FT8	14.074.0	+03	+06	5W	190	RICHARD L L...	SAMOA	AD7AF		OC-32		L	E		LOTW=OK BORN=1939				AH36SG	
	D68I	2018/02/07	15:52	CW	10.110.0	599	599	D6	411	GIOVANNI AL...	COMOROS	IK5CRH	P	AF-39		L	E		LOTW=OK	AF-007			LH18PG	

・ カレントレコードマーク  
 (選択中のデータ)

DXCC番号、プリフィックス  
 (DXCCカントリーリストとの整合上必須)

書き込み禁止状態  
 書き込み可能状態

LOTW = OK /	1023	PM9SR
	3209	

## ・ データ修正方法

上のような「オレンジ色&黄色」の場合は書き込み禁止のためその項目のデータを修正できません。  
 修正を行うにはその項目をクリックしてカラーを「空色&黄色」にしてその状態で修正をしてください。(カーソルの位置を他に移動する元に戻ります。 : これは不要な書き込みや削除をしないための措置として設定しています。)

データ欄全体(コピー&ペースト) P-22参照

- ・ 日付欄で[Ctrl] + [マウス左クリック] = その日付時間をカレントDT日付に設定
- ★ データ欄で[Ctrl] + [マウス左クリック] = クリック位置のデータをシステムクリックボードにコピー
- ★ データ欄で[Shift] + [マウス左クリック] = システムクリックボードの内容を貼付
- ★ データ欄で[Alt] + [マウス左クリック] = クリック位置のデータをワーク欄へコピーし、システムクリックボードにもコピー
- ・ データ欄をダブルクリック = 局名、周波数、モードをワーク欄に貼付、リグ周波数をコントロール後、検索を実施

現時間    日付検索 W-Copy  
 2014 ÷ 12 17 01 02

プルダウン クリックした内容をテキストに記入を実施

削除  現時間    日付検索 Copy  bid dxcc  
 リフレクシュ 上書 (F9) 受領 (F10) 通常 2016 11 02 05 31 ON  
 検索準備 F1 F2(Check) 登録 (F8) 全複写 (F5) 局名複写 (F6) W消去 (F7) モード検索 周波数検索 期間指定検索  
 完全一致 部分一致 検索 先頭一致  
 検索ボタン DXCC値守 JCC値守 IOTA マニュアル  
 Prefix DXn 名前等検索 マネージャ 住所検索 P ゾーン JCC GL IOTA 無線機  
 RTTY 14.085.1 599 599 ON 209 BELGIUM EU-14  
 備考1検索 マルチ行 備考2検索 マルチ行 学習登録 先読 マネージャ取得先 Edit T R LOTW 相手移動地 自局移動地 申請 400

検索ボタン オレンジ色のボタンで下にある緑のテキストボックスの内容を検索

# メイン(ワーク欄)画面 P-6



**通常運用・訂正時(重要)**  
 レ=リグコントロール一時停止(訂正用)  
 (モード・周波数訂正時に自動設定、手動可)  
 □=リグコントロール(通常)実施

※ **各、桃色検索ボタン:**  
 下のテキスト内容で抽出実施可  
 (内容により部分一致抽出有)  
 補足説明はP-4で説明

日付順ソート  
 データリフレッシュ

日付順に全データを表示  
 この時、マスターデータベースへ変更  
 保留中のデータを書き込み整合を図ります。

**検索準備** 検索を行うためのワーク欄をリフレッシュします。

①チェックオフ (F1) ②チェックオン (F2)  
 差異 (F1) (F2)

コールサイン	消去	未変更 (未処理)
時間	現時間	//
モード	最終データ	//
周波数	最終データ	//
H(M)RST	5 9 9 等固定	//
リグ、入力	未記入時最終データ	//

モード、周波数=リグコントロールの場合はリグ優先  
 ※ 登録時の時間については、オプションの選択が優先します。  
 (オプションを登録時間の扱いをそのまま設定にする必要があります)

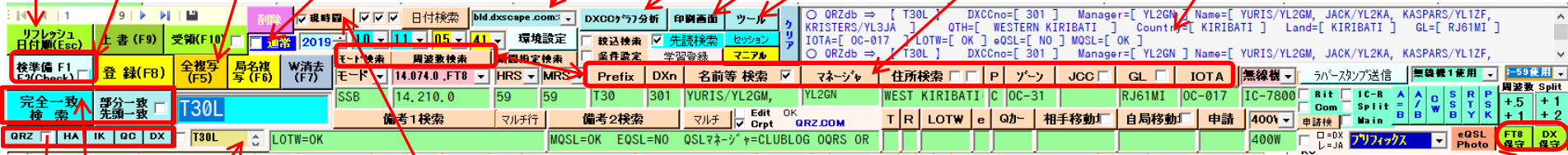
**複写** (カレントディレクトリからワーク欄へコピー)

**テルネット画面**  
 テルネット画面(表示・非表示)



**ツール**  
 不正データ、画面等のツールがあります。

**メッセージ欄**  
 ボタンの情報、DXの状況、等を表示します。  
 (最大3000バイト分を表示)



## 検索局記録

一度検索した局を記録しています。  
 (選択クリック⇒コールサイン欄等へコピー)

## 登録時：時間の扱い

- = 現在時間に変換して登録
  - = 表示時間でそのまま登録
- ※ 状況により自動でコントロール有

## 検索

①、②：完全一致を抽出  
 チェックオフ：①=コールサイン欄以外全てリフレッシュ後に検索  
 チェックオン：②=日付・時間～RSTまでを未書換  
**部分検索：**  
 チェックオフ=部分的に文字列が一致するものを抽出  
 チェックオン=先頭一致検索

## DXCC、JCC保守

実際の交信データによりDXCC  
 管理リストを自動修正

## JCC検索、住所検索

JCCコード、道の駅コード、温泉地コード  
 から自動判別し必要場所に自動書き込み

## コールサイン検索時のデータ取得

(オプション設定の他は次項による) (抽出時等に変更)

- ・ 時間：現時間
- ・ モード、周波数：リグより自動取得
- ・ RST: 5 9 or 5 9 9
- ・ プリアフィックス、DXCC番号、カトリ、ゾーン：DXCCリストより自動登録
- ・ 無線機、パワー：環境データ自動取得
- ・ マネージャ、氏名：QSLマネージャリスト、等：過去の交信記録より取得
- ・ マネージャ、氏名、住所、GL、LOTW可否、生年、等  
 : QRZ.COM (契約者)、HAMQTH (未契約者)
- ・ マネージャ、IOTA番号、周波数、等：テルネットデータ

※ 学習機能、QSLマネージャ機能、DXCCリスト、IOTA機能、JCC機能、インターネット (QRZ.COM、HAMQTH)、テルネットデータ、過去データ、より判別して取込み  
 マネージャ=下部に取り込み先を明記

※ **各オプションボタン等設定:** (初期値の設定は環境設定、及び CONFIG.TXT で設定)

HamQTH

Login Register Lookups: 152

**JA5BGA**

Name: Shinichi  
 QTH: Iyo-city Ehime 799-3111  
 Country: Japan  
 Locator: PM6315

# メイン(ワーク欄)画面2 P-7

## 検索等補足

### 検索

- 完全一致:すべてが一致した局を抽出
- 先頭一致:レ:先頭から一致した局を抽出
- 部分一致:口:一部の位置で一致した局を抽出

### 登録・上書き

ワーク欄のデータを業務日誌に登録  
カレントディレクトリーへ上書き

### 削除

カレントディレクトリーを削除

年 月 日  
□ □ □ 日付検索

チェックの有る部分が一致の局を抽出します。  
年月の一致したデータを抽出するには年月にチェック  
全ての月日の一致をチェックするには月日にチェック  
下の水色部分を必要データに変更後クリックします。

COPY(日付コピー)  
カレントディレクトリーの日付を  
コピーします

### クリアボタン

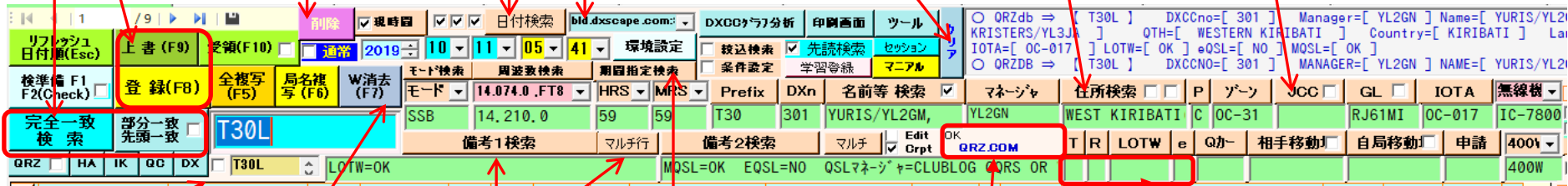
マウス通過  
表示中の一時メッセージの強制クリア  
クリック  
MSG.TXTへ内容書出しとメッセージのクリア

### 住所検索

文字列内に市町村名が  
有ればJCCコード等を自動  
検索

### JCC検索

文字列内に次のコードが有れば住所、  
JCCコード等を自動検索  
JCCNo=交信状況等を検索  
YU\*\*\*\*=湯之町検索  
\*\*---\*\*=道の駅検索  
検索後関連情報は備考欄やメッセ  
ージ欄等に表示



### リコール欄

検索局を記録  
オプション有り  
オプション設定により表  
示・取込内容が相違  
オプション内容はP-10を  
参照

### 備考欄データ確認方法

- 備考1、備考2、ボタンにマウスが移動した場合  
一時的にテキスト欄を拡大して表示
- 全表示  
次にクリックするまでテキスト欄を拡大して表示
- 緑のテキスト欄にマウスが移動した場合  
全内容をツールチップヘルプで表示

### マネージャ取得先等の情報

- ⑤マネージャの確認状況
- ⑥マネージャの取得先  
ブルー=信用データ  
(QRZ.COM等)  
レッド=未確認データ  
登録者の個人情報

### T・R・L・E検索(コンファームは必ず「R」を記入)

未発行、未受領検索はスペース  
T欄=適宜な文字を使用できます。  
未発行=スペース  
発行済=その他の文字  
R欄=R or スペース  
L欄=R or L or スペース  
E欄=E or R スペース

### W消去(F7)

ワーク欄の全てクリアー  
モード、周波数、RST、等の  
固定部分を残してのクリアー  
は検索準備を使用  
検索準備1、2の差異については前頁に記載

カントリー選択ボタン(プリフィックス誤変換時等に使用)  
カントリーリスト一覧から選択  
他の検索に連動し、ここで選択変更すると星取表の  
カントリーも合わせて変更  
ワーク欄のプリフィックス、DXCC番号、ゾーン番号、  
住所欄が変更

### マネージャデータ入手先表示(マネージャがある場合のみ表示)

検索の都度、マネージャファイルやNWからの取得内容をマネージャ欄に表示しますが、  
その取得先を明記します。  
①過去の登録、②QRZ.COM、③QSLマネージャリストの優先順位で取り込みます。  
マネージャデータが取得先により異なる場合はメッセージ欄に注意喚起が表示されます。  
データは自動で取得処理を行っていますので登録者の記入ミスやマネージャが変更にな  
ったことなどは確認できません。  
カードをダイレクトで送付する場合など重要なQSOについては、再度各自で確認を行っ  
てください。  
マネージャは、テルネットの文面より分析して自動で取得します。  
その為、QRZ.COMから取得のデータが有った場合には、リストに取り込まない仕組  
みとしています。  
この為、取得先を明確にしています。

### 「Alt」or「Ctrl」or「Shift」を押しながら「クリック」の活用

- 「Alt」 + 「ワーク欄クリック」 = カレントディレクトリーのそれぞれの項目よりコピー
- 「Ctrl」 + 「クリック」 = その項目をシステムバッファに取り込む
- 「Shift」 + 「クリック」 = その項目へシステムバッファの書き込み

※ 「Ctrl」「Shift」についてはワーク欄テキスト、業務日誌、で使用できます。  
「テルネットDB画面」では、「Ctrl」が使用できます。

# 星取表画面 P-8

モード検索 (CW、SSB、デジタル)  
同一モード・カントリーの局を検索

星取表ダブルクリックでの検索方法  
・レ=その局の全バンドでの交信を表示  
・□=そのバンド・モードの全交信局を表示

JA: JCCno表示・市町村表示&検索  
DX: DXCCDXCCF番号・カントリー表示

eQSLチェック等画面  
オプション等表示

DXCCカントリー(JCC)リスト

- ・ MIX
- ・ モード別
- ・ 周波数別
- T=QSO済QSL未回収
- コールサイン=QSL回収済局

現在時間表示

- ・ UTC時間
- ・ JST時間
- ・ 現地時間

時間帯

- シアン (GM) = 03:00 ~ 11:59
- 黄色 (GA) = 12:00 ~ 16:59
- 赤色 (GE) = 17:00 ~ 02:59

ゾーン表示・検索

カントリー名を表示し  
同一ゾーン内にあるIOTAを表示

カントリー名表示・検索

クリックで同一カントリー名での登録局を抽出

DXCC番号検索

クリックで同一DXCC番号での登録局を抽出

周波数表示・検索

周波数クリックでその周波数での  
交信局を抽出します。

バンド別モード別状況・検索 (色はP-4を参照)

(黄色のテキストをダブルクリック)

- ・ T = QSO済QSL未回収
- ・ コールサイン = QSL回収済局  
(最初にコンファームした局が記入される)

※ 周波数を省略して登録している場合はバンド別・モード別の表示は不可

DX:  DX  JA

プリフィックス:

eQSL Photo FT8 保守 DX 保守

301 M F C D 19 35 7. 10 14 18 21 24 28 50

T30 R P R R R R R R R R R R R R R R

UTC : 11 04:27 JST : 10/11 13:27:49

OC-31 T30 : 10/11 16:27:49

WEST KIRIBATI(GILBERT IS.)

IOTA	CW	PHONE	DIGITA	R	P	F	他	レ
1.9	T30YA							
3.5	T30D	T30PY	T					T
7	T30D	T30PY	T					T
10	T30D	301	T30D	R				T
14	T30KJ	T30D	T30D	R				T
18	T30D	T30D	T30D	R				T
21	T30D	T30D	T30D	R				T
24	T30D	T30D	T30D	R				T
28	T30D	T30D	T30D	R				T
50	T30SLY							

IOTA CW PHONE DIGITA R P F 他 P +3

GL地図 RI69MA 5719 Km

124 304

DXc保守  JCC保守

プリフィックス表示・検索

- (リストから選択)
- ・ ⇄で前後のカントリーへ移動
- ・ DXCC番号
- それぞれをクリックで同一カントリー局を抽出
- カントリー現地時間 (時間帯をカラー表示)

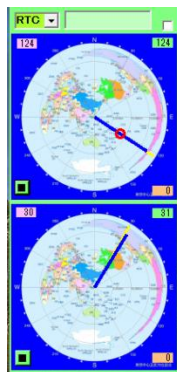
DXCC、QSLカード表示

GL地図 (交信状況等検索)



RTCコントロール

- ・ (←)左、(→)右、回転、
- ・ (□)回転停止、
- ・ (134)ショートパス角度へ回転
- ・ (314)ロングパス角度へ回転
- (角度クリックで周波数によりRTCを自動選択して自動回転)
- 地図画面クリックでもその方向へ自動回転
- ※ 4台まで自動選択可コントロール



★ 各ツール上のカーソル = ハンドマーク = イベント登録有

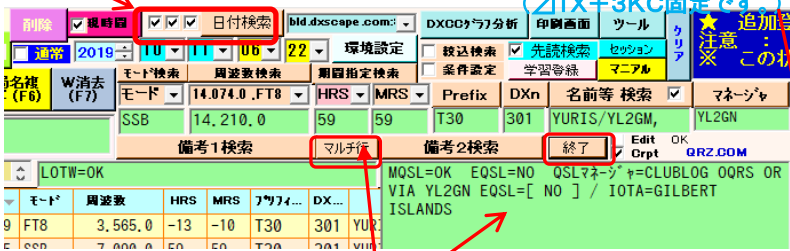


# 日付検索、リグコントロール、カントリー状況 P-9

- RTC画面表示
- RTC1 コントロール
- RTC2 コントロール
- RTC1 位置情報のみ
- RTC2 位置情報のみ
- 全未使用
- 変更時はBGALOGの再起動が必要

## 日付検索

左から 年、月、日  
チェックを外すと検索対象から外れます。  
例：年のみにチェックを入れて日付検索  
⇒2014年分のみ抽出します。



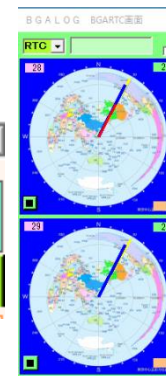
IC-7700等  
スプリット時に「RIT」にします。  
(ΔTX+3KC固定です。)

## ラバースタンプ送信

選択した文字列を無線機へラバースタンプ送信実施  
「CTRL」+「テンキー数字」でも実施  
モードがCWで無線機を使用設定時のみ利用可

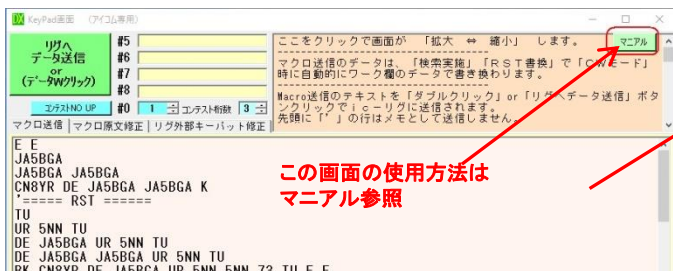
## 無線機選択

(変更時は一旦未使用にしてから選択)



## マルチ行(備考1、備考2)

備考1、2の内容を一覧で表示します。(マルチ行⇔終了)



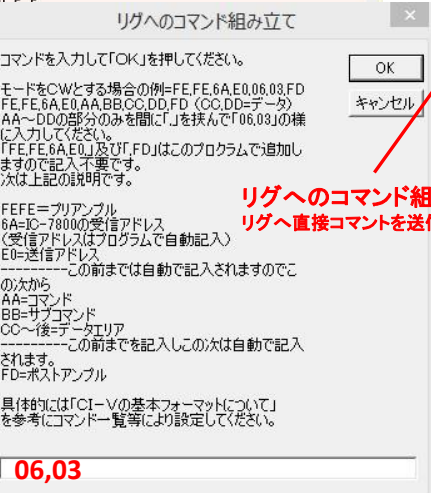
この画面の使用方法は  
マニュアル参照

## リグコントロール (IC、TS、FT等でAI機能のある機種)

- Split = リグをスプリット状態にしてサブ周波数を+3KCします。  
リグがスプリットorRIT時に自動でチェックが入ります。
- M・S = メイン⇔サブ選択切替
- A=B = Bの周波数をAにする
- A/S = メイン⇔サブ周波数入れ替え
- CW等 = モード変更
- +1~ = スプリットにしてサブの周波数を選択値分を変更  
注:周波数計算上メインの周波数が整数100hzになります。)
- U-D1、L-D1 = デジタルモード DATA (USB-D1) 等に設定 (IC専用 \* 1)
- RPSRJO = 環境設定のモードによるコントロール (IC専用 \* 1)  
(モードにより自動的に選択されます。コントロールも可)
- \* 1については最新ファームウェア(コマンド26) 対応リグのみ使用可
- \* 次ページ (P-10) 参照

## モードをCWとする場合

FE,FE,6A,E0,06,03,FD  
をリグに送りますが、  
06,03のコマンド部分  
のみ記入(前後はプロ  
グラム内でFE,FE,6A,E0,  
06,03,FDに組み立てて  
送信)



リグへのコマンド組立  
リグへ直接コマンドを送信

ワーク欄と連動して自動マクロ変換されて表示されます。  
マクロ:「#」のあとの数字がワーク欄のデータにより自動的に変換されます。  
クリックでその内容がリグに送られCW送信が実施されます。

# 位置情報検索 P-10

GLマップは大きくて場所をとりますが、この地図はコンパクトで見やすくなっています。

0000100	FastNWin	0	テルネット起動時のデータ取込 1=オール 2=JA取込のちDX 3=JAその後もJA その他=しない
0000101	WWWFine	1	インターネット検索時の移動文字の扱い 1=移動地を削除する その他=そのまま検索
0000200	Memo	1	備考欄へのQSL情報の表示方法 0=非表示、1=備考1にLOTWのみ表示、2=備考2にLOTW & EQSL 表示、3=備考2にLOTWのみ表示 (EQSL非表示)
0000301	WABUNmember	1	検索時にCW愛好会検索 0=しない、1=実施する「WABUNmember.TXT」が同一フォルダー存在する必要があります。
0010000	RTC_GAMEN	2337, -1074	RTC画面の表示位置 (X,Y)をドットで指定します。例:300,0(上からの位置,左からの位置)
0010005	RTC_Beam	1	1=RTC_R1画面に検索の都度方向と距離を表示します。(RTCの表示設定チェックの有無にかかわらず表示します)
0010010	RTC_R1	<4> 3. 7. 10. 14. 18. 21. 24. 28.	入力例 <4> 3. 7. 10. 14. 18. 21. 24. 28. 未使用の場合はここを削除してください。
0010011	RTC_R2	<5> 50.	=> ローテーターをコントロールしない場合は、「RTC R1~R5」を未記入(空白)としてください。
0010012	RTC_R3		=> RTCを使用する場合は、<コンボ> + (スペース) + 周波数 (Mhz+ドットまでを記入) + 周波数 (Mhz+ドットまでを記入) ...
0010013	RTC_R4		=> RTCを使用しない場合はスペースとします。
0010014	RTC_Offset		波数毎のオフセット値、記入例:「7.(10),21(-15)」 周波数。(オフセット値)、(区切り記号はコロン).....周波数はメガヘルツの

R1は、スペースを入力

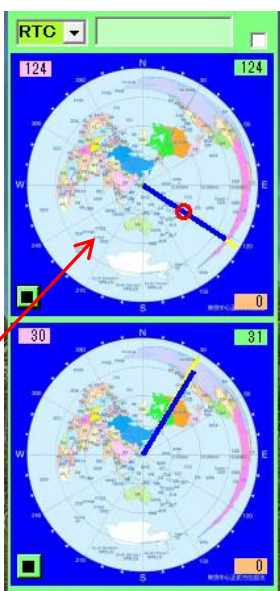
ここに「1」が設定されているとRTC未使用の場合にもRTC画面が表示されおおよそのBeam方向と距離が画像で表示されます。



RTC-59は使用していない(ビーム角度は出ない)が位置情報のイメージを目で確認できます。このほかにGLマップもあります。



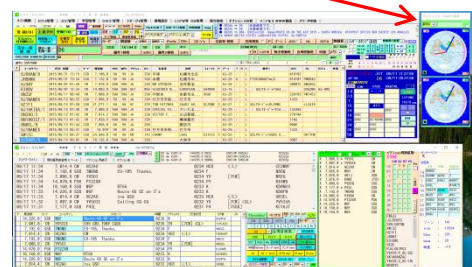
その他画面



RTC-59を使用している位置のイメージを見たい場合 RTC-1にのみ表示されます。

図の位置情報は「D6」を検索の例 RTCにかかわらず検索位置が表示されます。

当方の配置状況 一つの画面に収まります。



画面の表示位置設定 マルチ画面で表示しています。設定はメイン⇒オプション・その他 ⇒テルネット画面位置登録

RTC使用の設定  
RTC\_Beam=1  
RTC\_R1~ RTC\_R\*  
までを記入

RTC未使用で位置情報表示の設定  
RTC\_Beam=1  
RTC\_R1=(スペース)  
RTC\_R2=(スペース)  
RTC\_R3=(スペース)  
RTC\_R4=(スペース)

0000301	WABUNmember	1	検索時にCW愛好会検索 0=しない、1=実施する「WABUNmember.TXT」が同一フォルダー存在する必要があります。
0010000	RTC_GAMEN	2337, -1074	RTC画面の表示位置 (X,Y)をドットで指定します。例:300,0(上からの位置,左からの位置)
0010005	RTC_Beam	1	1=RTC_R1画面に検索の都度方向と距離を表示します。(RTCの表示設定チェックの有無にかかわらず表示します)
0010010	RTC_R1	<4> 3. 7. 10. 14. 18. 21. 24. 28.	入力例 <4> 3. 7. 10. 14. 18. 21. 24. 28. 未使用の場合はここを削除してください。
0010011	RTC_R2	<5> 50.	=> ローテーターをコントロールしない場合は、「RTC R1~R5」を未記入(空白)としてください。
0010012	RTC_R3		=> RTCを使用する場合は、<コンボ> + (スペース) + 周波数 (Mhz+ドットまでを記入) + 周波数 (Mhz+ドットまでを記入) ...
0010013	RTC_R4		=> RTCを使用しない場合はスペースとします。
0010014	RTC_Offset		波数毎のオフセット値、記入例:「7.(10),21(-15)」 周波数。(オフセット値)、(区切り記号はコロン).....周波数はメガヘルツの
0010015	RTC_BeamIn	0	交信登録時にRTCのビーム角度を取り込みます。 1=ME欄へ取込 2=JCC欄へ取込 その他=未取込 ※要RTC起動中
0010024	RIG	1	スタート時のリグ使用設定です。0=使用しない 1~3=初期のリグを設定します。「AU」コマンド等自動でデータを送ってくる機種にのみ対応しています。

仕様の場合は記入

# リグ、DXCC、JCC P-11

ラパースタンプ送信 or 「CTRL」+「#テンキー」 コントロールキーを押しながらテンキーの各数字で次の内容をCW送信できます。

- #0 = 「 TU 」
- #1 = 「 自局CALL 」
- #2 = 「 UR 5NN TU 」
- #3 = 「 DE 自局CALL UR 5NN TU 」
- #4 = 「 DE 自局CALL X 2回 UR 5NN TU 」
- #5 = 「 相手CALL OR 599 YU 」

★注意★【メイン画面】 or 【rテルネット画面】 がアクティブの場合に使用可 (マウスカーソルをラパースタンプ送信へもっていくと内容確認を行い送信可 (ワーク欄と連携有り))

・アイコムリグコントロール (他の機種では使用不可)

・アイコムリグモードコントロール (他の機種では機能を持っていません) 各種使用方法が異なりますので適宜要選択 ※ 各ボタンのツールチップヘルプも要参照



「①旧のコマンドでのコントロール」 環境設定の1バイト目が1の場合はDATAモードを未使用 ここでの選択は、フィルター未コントロール



「②リグ独自のコントロール」 (USB-D1、LSB-D1などは使用しません。) リグ固有のモードに対応 (PSK⇒リグのPSK、RTTY⇒リグのRTTYを使用)

※ お願い 将来出来れば、追加コマンドへの1本化を図りたいと思いますので早い時期にリグのファームアップ実施をお願いします。 26コマンドが使える様に願います。

・リスト表示 (DXCC、JCC) 次の状況により自動判断して切り替え (右画面参考)

- ・JCCコード欄が記入の場合 = JCCリスト表示
- ・JCCコード欄が未記入の場合 = DXCCリスト表示

・手で切り替える場合 = チェックボタンを「オン・オフ」で切り替え

※ 検索値時にJCCコードが取得できた場合 (チェックオン) 未取得の場合 (チェックオフ)



初期設定の個人情報や使用機器等以外は極力この画面を使用しない様に努力しています。

2000003 KanMente 2015/03/20

メンテナンス

この日付世より新しい「KANKYOU.TXT」が同一フォルダーにあれば自動的に環境設定の更新が行われます。強制的に実施したい場合は、これを古い日付に変更してください。

リードオンリー解除  
ソート番号、項目、説明文を修正できるようにリードオンリーを解除します。

コンフィグ修正  
メイン画面のプルダウンの内容を修正します。  
※ 次ページ参照

テキスト出力  
「KANKYOU.TXT」へ出力します。

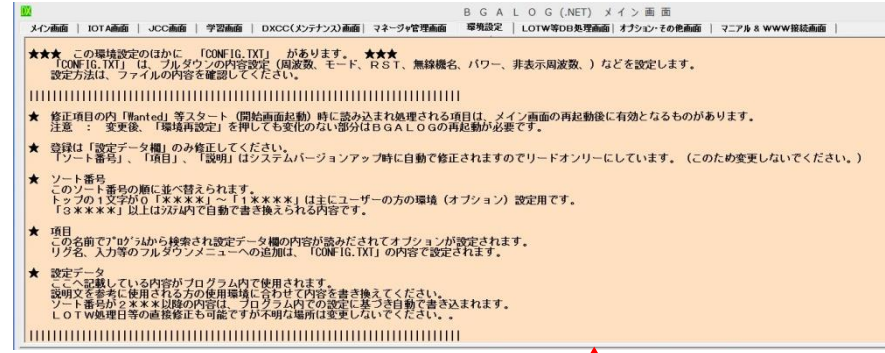
環境再読み込み  
新たに設定した内容を再読み込みします。変更時に配布される「KANKYOU.TXT」により更新します。

リフレッシュ  
絞り込んでいたデータを元に戻します。

この位置をクリック  
画面全体が説明文になります。再クリックで元に戻ります。

詳細説明文  
読んでください。

目次1へ



ソート番号	項目	設定データ (Max255 Byte)	説明文	分類
00000010	Call_Sign	JA5BGA	入力例「JA5BGA」: 利用される方のコールサインを入力してください。	PRINT ユーザー
00010010	Name_jp	鈴木 信一	入力例「鈴木 信一」: 利用される方のJA向けの漢字氏名を入力してください。	PRINT ユーザー
00010020	Name_dx	Shinichi Suzuki	入力例「Shinichi Suzuki」: 利用される方のDX向けの氏名を入力してください。	PRINT ユーザー
00010030	CW_Name	SHIN	CWラバースタンプQSO用ハンドルネーム	PRINT ユーザー
00010050	CW_Qth	IYO CITY	CWラバースタンプQSO用QTH	PRINT ユーザー
00010070	Tel	089-983-3434	連絡用電話番号 入力例「089-983-3434」	PRINT ユーザー
00010090	email	ja5bga@dokidoki.ne.jp	利用される方の連絡用emailアドレス 入力例「ja5bga@dokidoki.ne.jp」	PRINT ユーザー
00011010	GridLocator	PM63is	自身のグリッドスクエア、FT8に必要です。(記入例: PM63IS)	PRINT ユーザー FT8
00020010	Qth_jp	799-3111 愛媛県伊予市下吾川1543-3	入力例「799-3111 愛媛県伊予市下吾川1543-3」: 利用される方のJA向けの住所を入力してください。	PRINT ユーザー
00020020	Qth_dx	1543-3 Simoagawa Iyo-City Ehime 799-3111	入力例「1543-3 Simoagawa Iyo-City Ehime 799-3111 Japan」: 利用される方のDX向けの住所を入力してください。	PRINT ユーザー
00030010	Country	EHIME JAPAN	入力例「EHIME JAPAN」: 利用される方のDX向けのカンTRYを入力してください。	PRINT ユーザー
00040010	Memo_dx	Thanks Nice QSO 73 CU AGN	入力例「Thanks Nice QSO 73 CU AGN」: 利用される方のDX向けのカードメッセージを入力してください。	PRINT ユーザー
00040030	Memo_jp	今後ともよろしくお願ひします	入力例「今後ともよろしくお願ひします」: 利用される方のJA向けのカードメッセージを入力してください。	PRINT ユーザー
01000010	Print_Form	0	印刷開始時の様式選択 1=裏面白紙、2=フリーフォーマット その他=その都度設定	PRINT
01000030	PrinterChoice	1	QSLカード印刷時にプリンターの選択 1=選択画面を表示する。 その他=表示しない	PRINT
01001010	JST_Print	1	QSLカード印刷時のJSTの扱い 1=JAの場合はJSTとする、その他=変換しない	PRINT
01001030	DTend_Print	1	QSLカード印刷時のDATA END印刷の扱い 1=印刷する、その他=印刷しない	PRINT
01010010	Power	200	定格出力(入力) 入力例「1000」、「1KW」	PRINT

環境設定項目欄 (その他は修正不可)

ソート番号、項目、説明文 自動的にメンテナンスされ、誤操作防止のためにリードオンリーとなっています。

検索 テキストの内容で検索します。検索場所は全項目です。  
分類 で絞り込みができます。

全画面共通項目

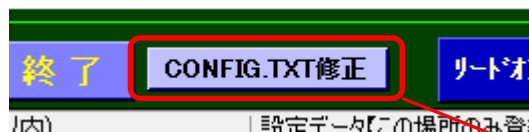
- ① データの先頭、最後へ移動します。
- ② 1つ前後の項目に移動します。
- ③ 現在のカーソル位置を表示
- ④ 全体(抽出)の項目数を表示
- ⑤ 現在のメモリー内データをマスター(FD)へ書き込みます。



フォントについて

タカオゴシックをWINシステムにインストールをしておいてください。インストールをしていない場合は、文字が正しくない場合があります。インストールマニュアルの「FONTの変更」を参照

## 環境設定画面 P-13



## CONFIG.TXTの修正

プルダウン等の項目を修正できます。

終了後は書き込み・終了をクリックしてください。

## 設定項目

周波数：プルダウンメニュー

モード：プルダウンメニュー

R S T：プルダウンメニュー

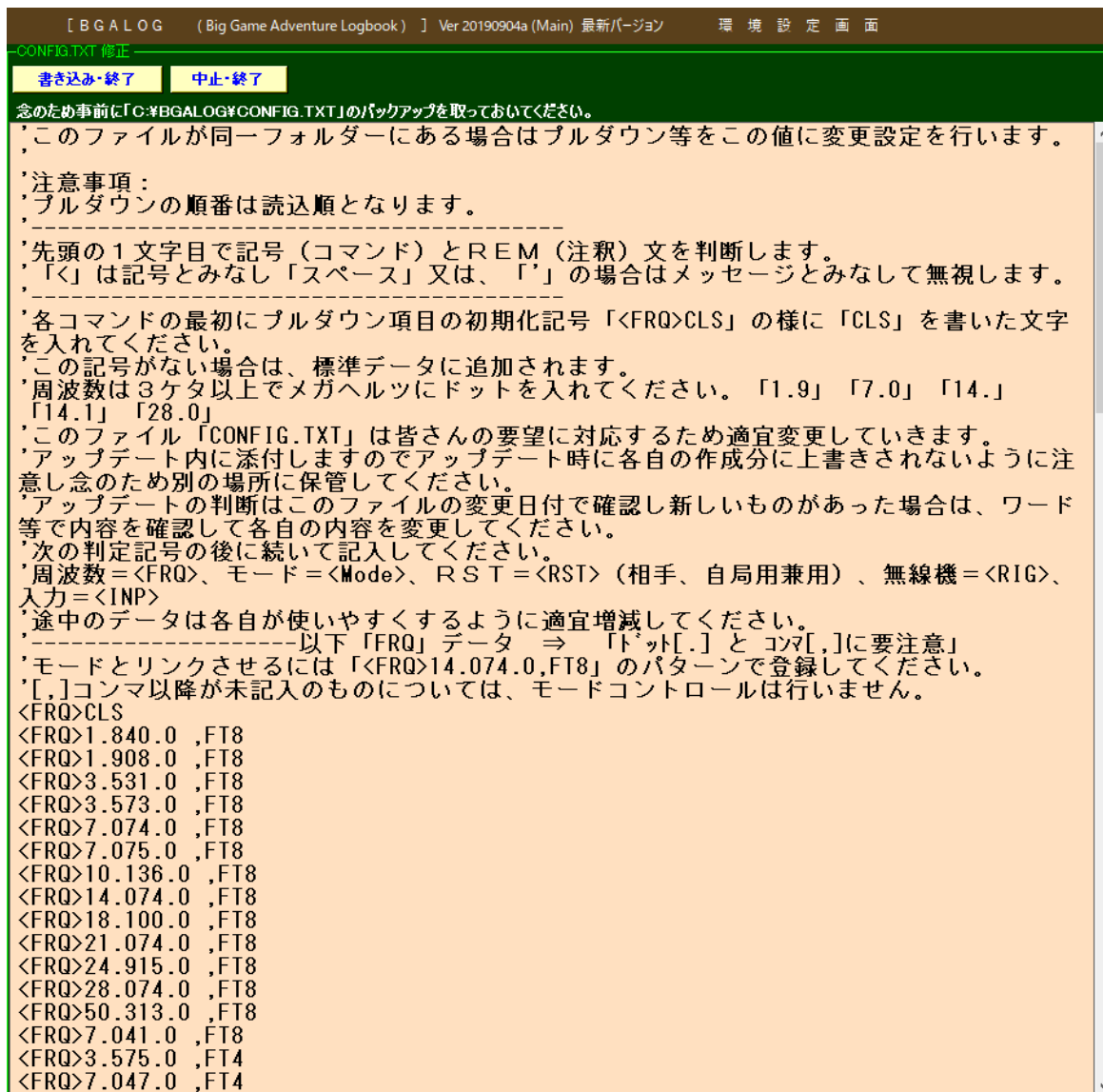
R I G：プルダウンメニュー

パワー：プルダウンメニュー

CWラバースタンプ

：CWラバースタンプ追加文

質問の多い内容 P-12 P-16 を参照してください。



## 環境設定画面 P-14

(リグコントロール)

初期に起動したい機種番号を設定  
1台で使用の場合は「1」とします。  
未使用の場合は「0」を指定

ここに設定の上限周波数もモード設定の一部として使用します。

クリックし、RIG選択(無線機関連の設定が抽出されます。)

ポート番号	項目	設定データ (直接修正可能)	説明文	分類
02030010	RIG	3	無線機使用有無及び起動時の無線機の選択。0=無線機未使用、1~3=無線機使用 [RIG_No1~3] 起動時のリグ設定。「A I」コマンド等自動でデータを送ってくる機種にのみ対応しています。(rigModeRoffとセットで設定)	RIG
02030030	RIG_No1	<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)	入力例「<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)」:1台目のリグ設定、ポート等記録します。<*->[<*->] (リグ判別記号TS-990 FT-5000)	RIG
02030050	RIG_No2	<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)	⇒ 以下2台目以降を記入します。 注意 *->の区切りは半角の「,」です。各種それぞれの括弧で区切ってください。	RIG
02030070	RIG_No3	<10>[9600,N,8,1](FT-991)	⇒ 記入内容 <*->[<*->] (リグ判別記号等) アイコムについてはアドレスを記入、八重洲はタイプを記入 [例: <5>[9600,N,8,1](FT-A) : A(旧タイプ)=FT2000、5000、等、B(新タイプ)=FT-991、FT-DX101、等	RIG
02030090	IC-KEYpat	1	0=未使用、1~4=使用、アイコムの外部キーパットの内容切替の有無、初期値(通常1)を記入します。	RIG CW
02030110	rigModeRoff	2	リグ使用設定時の全メーカー (RIG使用設定時)、0=モードのみ未処理 (旧型無線機)、1=周波数から判定 (旧型無線機)、2=デジタル判定可能な最新型機種無線機	RIG
02030310	rigFilterDig	02	リグのデジタル時のフィルター番号を設定します。01~03	RIG
02030320	rigFilterCw	02	リグのCW時のフィルター番号を設定します。01~03	RIG
02030340	rigFilterSSB	02	リグのSSB時のフィルター番号を設定します。01~03	RIG
03000110	CwUpFrq	3.528 7.033 10.130 14.070 18.099 21.070 24.920 28.070 50.119	CWの上限周波数を設定します。未記入の場合はJARLの設定周波数となります。	CW FREQ RIG
03000130	PskUpFrq	14.079 21.080 28.080	PSKとRTTYの区別が必要な周波数のみPSKの上限周波数を設定します。設定周波数は CW_FRQ <= PSK_FRQ <= RTTY_FRQ <= SSB_FRQ となります。	RTTY PSK FREQ RIG
03000150	RttyUpFrq	3.530 7.045 10.130 14.112 18.111 21.125 24.940 28.150	RTTYの上限周波数を設定します。未記入の場合はJARLの設定周波数となります。	RTTY PSK FREQ RIG
31000010	StartRigName	IC-7800	起動時の無線機名を記入します。プルダウンで「無線機名」を選択するとここへ書き込まれます。	Rig
31000030	StartPower	400W	起動時の電力 (入力 or 出力) を記入します。「ワット」を選択するとここへ書き込まれます。	Rig
38100010	RIG_SPL_Frequency	1 5 1	モード別スプリット周波数を設定します。(左からの順番⇒CW SSB RTTY) 半角各5バイト (内有効値3バイト) ずつです。	RIG

モード別のフィルターを設定します。

0:モードをコントロールしません

1:FT-5000、FT-2000、等のデジタルモードのコマンドのないもの

2:FTDX-101、FT-991、IC-7851、等Digitalのコマンドの使用できるもの

-----以下はRIG アドレス 「ポート」と「モード」を注意  
モードとリンクさせるには「<FRQ>14.074.0 ,FT8」のパターンで登録してください。周波数と文字の間は半角の「<\*>」+「,」で区切りませ  
「,」,」コマンドまたは、右のモードが未記入のものについては、モードコントロールは行いません。  
「,」,」コマンドの後のモードに優先的に設定されます。<FRQ>1.840.0 ,FT8、<FRQ>14.091.0 ,RTTY、  
<FRQ>CLS  
<FRQ>1.836.0 ,FT8  
<FRQ>1.840.0 ,FT8  
<FRQ>1.844.0 ,FT8  
<FRQ>1.838.0 ,FT8  
<FRQ>3.573.0 ,FT8  
<FRQ>7.074.0 ,FT8  
<FRQ>7.075.0 ,FT8  
<FRQ>7.076.0 ,FT8  
<FRQ>10.136.0 ,FT8  
<FRQ>14.074.0 ,FT8  
<FRQ>14.075.0 ,FT8  
<FRQ>14.090.0 ,FT8  
<FRQ>18.100.0 ,FT8  
<FRQ>21.074.0 ,FT8  
<FRQ>24.915.0 ,FT8  
<FRQ>28.074.0 ,FT8  
<FRQ>50.313.0 ,FT8  
<FRQ>3.575.0 ,FT4  
<FRQ>7.047.0 ,FT4  
<FRQ>10.140.0 ,FT4  
<FRQ>14.080.0 ,FT4  
<FRQ>18.104.0 ,FT4

CONFIG.TXTに設定している周波数とモードでFT8、FT4のモードを判定します。

# オプション P-15

メイン動作オプション 画面位置設定 メイン画面メンテナンス QSLカード画面オプション

WASA-HF

**ヌル補正実施** HAMLOG、DXCC、JCC、IOTA、学習  
マネージャ、環境、内のヌルを修正します。  
テルネットについてはテルネット画面内のツールにあります。

LOTW受領時 レ=未発行記号「/」を記入 ロ=未記入(ビューロー等発行したい場合)

WWW検索 [ / ] レ=移動「/」を除き検索 ロ=そのまま検索

GL取り込みの有無設定 検索時にテルネットから、レ=取り込まない、ロ=取り込む

QSLカード受領時に「WASAHF.TXT」へ取り込み管理設定、レ=未実施、ロ=実施

メイン画面業務日誌のソート ロ=昇順(標準) レ=降順

セッション再要求 QRZ.COMのセッションが切れ時再接続実施

テキストファイルのソート WASAHF.TXT ファイル選択

## ヌル補正

DBグリッド内にデータが何も入っていないヌルの場合その後の検索が不可となるのを防ぐため、ヌルがあった場合は、半角のスペースに置き換えてデータを補正

## LOTW受領時の処理

受領時に質問が有り自動的に変更(LOTWIにヒットしたものはカードを未発行にするための設定)

## 移動局検索時の検索方法

チェックオンの場合の移動局は移動「/」地を除いて検索

## GL取り込みの有無設定

オンにするとGLNW検索時にGLを取り込みません。

## WASAHFファイルへの取込の扱い

オンにするとQSLカード受領時に取り込みません

## 業務日誌欄のソートを設定

不正データ抽出(周波数、モード)

過去に入力済の周波数をチェック (ドットの無い周波数を補正)

補正 未登録PRE登録 ・プリフィックス未登録局を抽出し、DXCC番号記入

↑ 補正 プリフィックス未登録のデータを補正します

不要テキスト削除 (過去に使用していた不要となったファイルの削除)

## BGALOGフォルダ内の不要ファイルの削除

セッション再要求 通常は自動的にセッション再要求を行い不要

テキストファイルのソート テキストファイルの内容をソートします。

プログラムメンテナンス用で通常は使用しません。(JA5BGA用です)  
レ = XMLDB、WWW から取り込んだソースコードをメモ欄に表示します。

↑ チェックを入れると送られてきた生のデータがメッセージ欄に取り込まれます。

## 画面位置の登録

画面を表示させた状態でクリックを行うとその内容を環境へ登録し、その後は同じ位置に画面が表示 (位置が不明となった場合は開始画面の「位置初期化」で「0,0」の位置に戻すことができます)

オプション設定画面

メイン動作オプション 画面位置設定 メイン画面メンテナンス QSLカード画面オプション IOTAオプション DXCCオプション 読売アワード JARL

WASA-HF 外部ソフトからのインポート

現在の位置を記録 画面の位置をメイン画面の左上に表示に変更 画面位置を左上に変更し、表示

メイン画面 (現在表示位置登録) ペディション画面 (位置初期化設定) QSL-DX画面 (位置初期化設定)

テルネット画面 (現在表示位置登録) RTC画面 (現在表示位置登録) QSL-JCC画面 (位置初期化設定)

印刷画面 (現在表示位置登録)

分析-グラフ画面 (現在表示位置登録)

キーボード画面 (現在表示位置登録)

GL地図画面 (現在表示位置登録)

オプション画面 (現在表示位置登録)

Ver 20161216a 位置初期化 ハックアップ Copyri ハルプ =

終

## ラバースタンプ送信 P-16

### アイコム機でのキーボード送信

アイコム機でモードがCWの場合にはキーボード、マウスによりCWの送信を行うことができます。

文面は、検索時やRSTが変更される都度書き換えられます。

### ラバースタンプ送信

文面をダブルクリック、または、「Alt」+「テンキー数字等」

(3. SGY押しながら、左に表示の「0~+」キーを押す)

「Alt」+「テンキー数字等」は非表示状態で使用可能

### キーボード送信

キーボードから文章を1文字ずつ直接送信できます。

### 保守

文章は自由に書換ができます。(半角英文&記号)

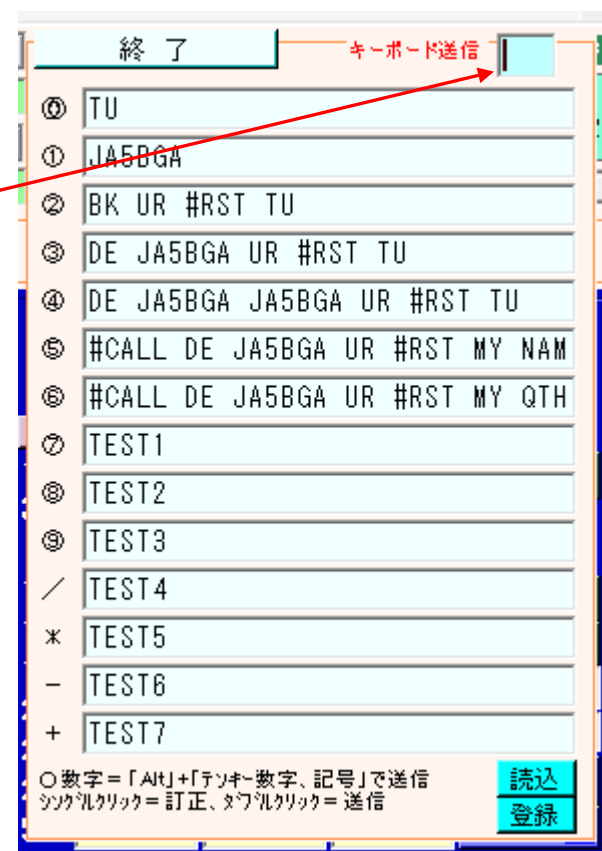
登録を行わない限り環境に設定している文章をマクロ変換して読み込みます。

### 注意事項

マクロ変換 ([#RST] RST、[#CALL] 相手局名) 以外は変換を行いませんので登録時には一旦読込を行ってから修正を行い登録を行ってください。

長文は画面から消えますが、最後まで送信できます。

ただし、ICOMのメモリーバッファが少ないために全文を送信出来ない場合があります。(無線機へ送信時にウェイトをかけて、極力全文が送信できるようにしています。)





# JCC検索関係 P-17

「RSYUCHI.TXT」の内容：(JCC管理⇒マスターTEXTでの表示内容例) JA5JQD OM TEXT作成 TKS

住所検索=文字入力後のリターン  
該当局検索は上のボタンクリック(P-3参照)

JCC  GL

YU-2042

手移動地 自局移動:

## JCC欄検索:(画面例)

左の「YU-2042」での検索例  
結果

- ① JCC欄を区町記号へ変更
- ② 住所欄へ住所を登録
- ③ 備考2へZA記号、YU番号=温泉名記入(道の駅で検索の場合は「RS-01-01=足寄湖」記入)
- ④ メッセージ欄へその住所(市町村)による温泉地名、道の駅を記入

JCCメイン画面	管理画面	マスターTEXT				
記号	KUCYO	JCC/G	YU/RS	#	駅名/\$温泉地名	!市区町村名
ZA0001	01001B	01001	YU-2042	\$	グリーンパークつるい	!阿寒郡鶴居村
ZA0001	01001B	01001	YU-2043	\$	湿原温泉	!阿寒郡鶴居村
ZA0002	01002A	01002	01-10	#	足寄湖	!足寄郡足寄町
ZA0002	01002A	01002	01-84	#	あしよる銀河ホール 2 1	!足寄郡足寄町

## 住所欄検索:(温泉地検索=「YU-、\$」、道の駅検索=「RS-、#」:「」内を検索文字の前に要記入) ※理由はDXCCとの混乱を避けるためです。

左の「YU-2042」での検索例

- 結果
- ① JCC欄を区町記号へ変更
  - ② 住所欄へ住所を登録
  - ③ 備考2へZA記号、YU番号=温泉名記入(道の駅で検索の場合は「RS-01-01=足寄湖」記入)
  - ④ メッセージ欄へその住所(市町村)による温泉地名、道の駅を記入

MRS Prefix DXn マネージャ 名前等 検索 住所検索  P ゴーン JCC

599 足寄郡足寄町 01002A

備考2検索 全表示 マネージャ取得先 T R LOTW 相手移動地 自局

ZA0002 IC-7800 400

住所検索

RS-足寄町

住所検索

#足寄町

住所検索

YU-湿原温泉

住所検索

\$湿原温泉

結果が唯一無二となる場合の検索時にのみ表示

相互連動

JCC番号、QTHクリックで該当交信局を検索

JCC交信状況

ネット終了 分析・グラフ画面 印刷画面 Simp クリア

ログ表示 パンション表示 マニュアル

MRS Prefix DXn マネージャ 名前等 検索 住所検索  P ゴーン JCC  GL IOTA 無線機 ラボースタア®送信 無線機1使用  RTC

599 阿寒郡鶴居村 01001B

IC-R A A C S R T P U-D1 +1  
Split B B W B Y K L-D1 +2  
Main

IC-7800 400

JCC 01001 M S C D 19 35 7 10 14 18 21 24 28 50  
阿寒郡 R R T R R T

住所による「温泉地」「道の駅」が表示  
住所 01001B = 阿寒郡鶴居村 温泉地

### 注意事項:

「同じ地名」、「2つの市町村にまたがっている」場合は郡名の確認があり、選択すれば正しく検索できます。  
住所検索 : DXCCとの兼用のため、「市、区、町、村、支所、温泉」の文字が文字列内に記入、または、「YU-、RS-」、「#道の駅、\$温泉地名」、が先頭に記入されていれば検索を実施します。未記入の場合はその文字の局を検索するデータとして扱います。

JCC欄検索 : 記号~YU/RSまでの内容を自動判別して検索します。

表示内容 :  
備考2 : 唯一無二となる検索を行った場合のみ記入します。  
メッセージ欄 : そのカントリー内にある「道の駅、温泉地」を参考表示します。

01002Aで検索例

RS-01-10	= 足寄湖		
RS-01-84	= あしよる銀河ホール 2 1		
↑		道 01002A = 足寄郡足寄町	道の駅
YU-0059	= 雌阿寒温泉		
YU-0061	= 芽登温泉		
YU-2044	= あしよる温泉		
YU-2045	= オンネットー温泉		
↑		01002A = 足寄郡足寄町	温泉地

# BGALOGバージョンアップ方法 P-18

(3種類:いずれもBGAZIP. EXEを使用)

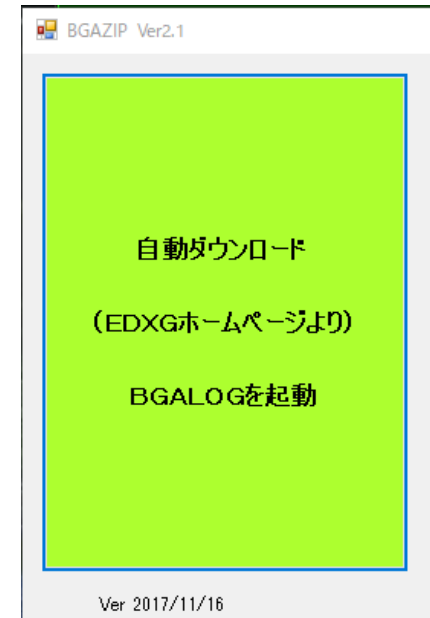
## 1 BGALOGの新しいバージョンがあった場合

自動でアップデートの案内がありますので指示に従って進めてください。  
(下記に準じた作業となります。)



## 2 BGALOG開始画面から手作業でのバージョンアップ手順

- 1 「BGAZIP」ボタンで起動 (BGALOGが自動で終了します。)
  - 2 グリーン色の「自動ダウンロード」ボタンをクリック  
(EDXGホームページより「BGALOG\_VUP.zip」を自動でダウンロード)
  - 3 「アップデート開始」ボタンをクリック
- 以上でアップデートが終了です。



## 3 BGAZIP. EXEから直接手作業でのバージョンアップ手順

- 1 BGALOGを終了させます。
  - 2 「BGAZIP. EXE」を起動
  - 3 グリーン色の「自動ダウンロード」ボタンをクリック  
(EDXGホームページより「BGALOG\_VUP.zip」を自動でダウンロード)
  - 4 「アップデート開始」ボタンをクリック
- 以上でアップデートが終了です。

(BGAZIP. EXE)

### 重要

2017/10/03日現在のBGAZIP. EXEの最新バージョンは2017/11/16です。  
これより古い場合はEDXGホームページより「[BGAZIP.zip](#)」「[BGAZIP\\_UP.zip](#)」をダウンロードして解凍後、  
BGALOGフォルダーへコピーしてください。

[BGAZIP.exe](#) : BGALOG.exeを自動アップデートするためのツールです。

[BGAZIP\\_UP.exe](#) : BGAzip.exeを自動アップデートするためのツールです。

# 環境設定 P-19 使用ファイル

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	7桁の...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	ソート	T	R	L	備考1	JCC	GL	IOTA	申請
	V6Z	2015/04/06 12:10	CW	3,513.5	599	599	V6	173	DXPEDIT...	MICRONESIA	N3SL	C	OC-27			T					OC-011
	V6Z	2015/04/08 04:24	RTTY	21,083.9	599	599	V6	173	DXPEDIT...	MICRONESIA	N3SL	C	OC-27			T					OC-011
	JD1YBT	2015/05/07 09:37	SSB	3,555.0	59	59	JD10	192	QSL VIA...	OGASAWAR...	JP110F	C	AS-27			T	LOTW=OK				AS-031

## ◎ 各項目間の表示幅の設定方法

ソート番号	項目(20 Byte以内)	設定データ【この場所のみ登録・変更可】 (100 Byte以内)	説明(150 Byte以内)
1000020	Width_CALL	125	(1)CALL 標準:125 ←の幅
1000021	Width_DATE	170	(2)日付時間 標準:140 ←の幅
1000022	Width_MODE	60	(3)モード 標準:60
1000023	Width_FRQ	80	(4)FRQ 標準:80

- ・ 一時的な変更: 上の様に境界線をドラッグして変更します。
- ・ 常時変更: 環境設定の数値を変更してください。
- ・ 大きくなった場合は上の様に水平スクロールバーが自動で現れます。この場合は他の項目を小さくしてください。
- ・ 標準はタカオフォントでの当方の好みの数値ですので適宜変更してください。
- ・ 幅が小さい場合で文字が入り切らない場合は「...」で表示されます。全文を見たい場合は、マウスをその上に合わせるとツールチップで表示されます。

目次1へ

## ◎ アイコムリグコントロールの設定方法

アイコムのリグについては2つの系列(IC-7800系、IC-7700系)があり、違いは「07」(メイン・サブの設定)コマンドが異なります。  
BGALOGを使用する場合は、リグのアドレスと環境設定のアドレスが一致する必要があります。特に「IC-756-PRO-3」についてはリグのアドレスをIC-7800のアドレス「6H6A」として登録すると使用できます。その他の機種は、マニュアルに記載されているリグ固有のアドレスのとしてください。

項目(20 Byte以内)	設定データ【この場所のみ登録・変更可】 (100 Byte以内)
RIG	IC-756-PRO3はIC-7800のアドレスに設定 無線機のアドレスも変更が必要です。
RIG_No1	<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)
RIG_No2	<7>[9600,N,8,1](IC-&H70)

注: IC-756-PRO-3  
IC-7800系については全てIC-7800の「IC-&H6A」に環境設定とリグアドレスを設定し、その他の機種はリグ固有のアドレスまたはIC-7700のアドレス「&H74」に設定します。

## ◎ BGALOGでの使用ファイル

(赤色 = 重要、緑色 = 未使用の場合も必要、青 = メンテナンス用、未使用の場合のみ不要)

- ・ **BGALOG.exe** : プログラム本体です。(最新のバージョンをインストールし、次のデータとマッチしている必要があります。)
- ・ **BGA\_JIP.exe** : ダウンロードしたファイルをBGALOGへコピーするためのプログラム、(setup.exe=全く使用しませんので存在する場合は削除)
- ・ **BGALOG.ACcdb** : ①業務日誌、②環境、③DXCCカントリーリスト、④JCC(G)リスト、⑤学習ファイル、⑥IOTA管理、⑦マネージャリスト、⑧ペディションリスト、⑨テルネット取込、の各データを1本にしたものでマスターデータベース
- ・ **CONFIG.TXT** : プルダウン等の環境設定補助ファイル
- ・ **QSLFORM\*.TXT** : QSLFORMの文字で始まるTXTは、カード印刷のフォーマット設定ファイル
- ・ **RSYUCHI.TXT** : JCC、温泉地、道の駅、ZA、区町村管理ファイル
- ・ **TELNET.TXT** : テルネットのフィルター抽出用ファイル(自動的に作成されます。)
- ・ **CW.TXT** : アイコムのCWのラバースタンプを提起したファイル
- ・ **KEYPAD.TXT** : アイコムの外部キーボードでの送信内容を切り替えるファイル
- ・ **MSG.TXT** : メッセージをクリアすると作成される一時ファイル(不要であるが適宜作成されますので要無視)
- ・ **WABUNMEMBER.TXT, J\_CLUSTER.TXT** : 和文メンバー管理ファイル、J-CLUSTER用
- ・ **QSLMANAGER.TXT** : QSLマネージャファイルアップデート用、
- ・ **BGAGAKU.TXT** : 学習ファイルアップデート用
- ・ **DXCCLIST.TXT** : DXCCカントリーリストファイルアップデート用
- ・ **KANKYOU.TXT** : 環境ファイルアップデート用(不足する場合は自動で追加されます。)
- ・ **各ADIファイル** : JA5BGA.ADI(LOTW、グローバルMQSO等用に出力したデータ)、lotwreport.adi(LOTWからダウンロードしたファイル)
- ・ **IPA\_Font\_License\_Agreement\_v1.0.txt** : タカオフォント使用に関する使用許諾説明ファイル

・ 最低限の保存が必要なファイル、赤色、緑色、のみを保存してください。  
・ 2015/6月現在、ここに非表示のファイルは不要、状況変化に伴い必要となった場合は、EDXGホームページより「KANKEI.zip」をダウンロードしその中から必要ファイルを取り込んでください。

念のためそのまま保存しておいてください。

## ◎ 不要ファイルの自動削除

※ 時々実施してください。  
(削除実施ファイルごとに問い合わせ等の確認が有ります。)

オプション・その他

不要テキスト削除 (過去に使用していた不要となったファイルの削除)

## ◎ CONFIG.TXTの修正

このファイルは周波数、モード、等のプルダウンメニューを設定します。

各自の好みに合わせて修正してください。

訂正はノート等で修正できます。(データ部分は半角でなければなりません。)

このファイルが同一フォルダにある場合はプルダウン等をこの値に変更設定を行います。

注意事項:

プルダウンの順番は読込順となります。

先頭の1文字目で記号(コマンド)とREM(注釈)文を判断します。

「<」は記号とみなし「スペース」又は、「」の場合はメッセージとみなして無視します。

各コマンドの最初にプルダウン項目の初期化記号「<FRQ>CLS」の様に「CLS」を書いた文字を入れてください。この記号がない場合は、標準データに追加されません。

周波数は3ケタ以上でメガヘルツにドットを入れてください。「1.9」「7.0」「14.」「14.1」「28.0」

このファイル「CONFIG.TXT」は皆さんの要望に対応するため適宜変更していきます。

アップデート内に添付しますのでアップデート時に各自の作成分に上書きされないように注意し念のため別の場所に保管してください。

アップデートの判断はこのファイルの変更日付で確認し新しいものがあつた場合は、ワード等で内容を確認して各自の内容を変更してください。

次の判定記号の後に続けて記入してください。

周波数=<FRQ>、モード=<Mode>、RST=<RST>(相手、自局用兼用)、無線機=<RIG>、入力=<INP>

途中のデータは各自が使いやすくするように適宜増減してください。



## 一例表示

「FRQ」データ

```
<FRQ>CLS
<FRQ>14.074.0,FT8
<FRQ>14.076.0,JT65
<FRQ>14.080.0,FT4
<FRQ>1.8
<FRQ>1.9
<FRQ>3.5
<FRQ>3.7
<FRQ>3.8
<FRQ>7.0
<FRQ>7.1
```

モード指定周波数例

```
<FRQ>10.136.0,FT8
<FRQ>10.140.0,FT4
<FRQ>10.138.0,JT65
```

※ <FRQ>FRQ+SP+,+モード でモードを指定できます。

「Mode」データ

```
<Mode>CLS
<Mode>CW
<Mode>SSB
<Mode>RTTY
<Mode>PSK31
<Mode>PSK63
<Mode>PSK125
<Mode>PSK
<Mode>FM
<Mode>SSTV
<Mode>ROS4
<Mode>ROS8
<Mode>ROS16
<Mode>JT65A
<Mode>OLIVIA
<Mode>DV
<Mode>DD
```

「RST」データ

```
<RST>CLS
<RST>599
<RST>589
<RST>579
<RST>569
<RST>559
<RST>549
<RST>539
<RST>59
<RST>58
<RST>57
<RST>56
<RST>55
<RST>54
<RST>53
<RST>44
```

「RIG」データ

```
<RIG>CLS
<RIG>IC-7800
<RIG>TS-990
<RIG>FT-9000
<RIG>FT-5000
<RIG>TS-950
<INP>CLS
<INP>2KW
<INP>1KW
<INP>500W
<INP>400W
<INP>300W
<INP>200W
<INP>100W
<INP>50W
<INP>10W
<INP>5W
```

「Power」データ

「CWラパースタンプ追加文例

10個まで文章をメイン画面のラパースタンプ送信欄に追加登録できます。

```
<CW_TEXT>BK DE JA5BGA
<CW_TEXT>NAME IS SHIN SHIN
<CW_TEXT>QTH IS 3801 3801 IYO CITY IYO CITY IN EHIME
<CW_TEXT>73 CU AGN E E
<CW_TEXT>TU E E
```

全データエンド

<END>

表示させたくない周波数の設定、環境設定に移動しましたので不要

```
<NoFRQ>160
<NoFRQ>80
<NoFRQ>40
<NoFRQ>30
<NoFRQ>20
<NoFRQ>17
<NoFRQ>15
<NoFRQ>12
<NoFRQ>10
<NoFRQ>06
```

この項目は環境ファイルへ変更のため  
不要に付き削除してください。  
チェック時間の無駄となるのみです。



## ARRLのDXCCリストとの整合方法例 P-22

## ◎ DXCCリストとの整合方法例 (BGALOGに登録漏れの例)

次の様にARRLリストとBGALOGのリストが不一致の場合の修正例を表示します。(24MHzがBGALOGで登録されていない。)

1 ARRLリスト

Prefi x	Entity (Sort by)	Delet ed	Mix	Ph	CW	RT	SAT	160	80	40	30	20	17	15	12	10	6	2
5Z	KENYA		X	X	X	X				X	X	X		X	X			

2 BGALOGリスト

プリフィックス	DXno	ゾーン	カントリー	GL	時差	KM	SP	LP	MIX	SSB	CW	RTY	19	35	7	10	14	18	21	24	28	50	備考	
5Z	430	AF-37	KENYA	KI88JS	-6	10609	272	92	R	R	R	R				R	R	T	R	T				

## 3 LOTWへログオン

DX情報等  
LOTW(ログオン) ⇒ アワード ⇒

View:  Pending credits  All credits  All entities

12M Select DXCC Award to View

Sort list by:  Name  Prefix

5X - UGANDA 5X1P  
5Z - KENYA 5Z4DZ  
6W - SENEGAL

Worked Station  
Worked 5Z4DZ  
DXCC KENYA (430)  
Date 2002-10-10  
Mode CW (CW)  
Band 12M

クリックでその内容が表示

## 4 漏れの対象局を確認

5 5Z4DZを検索  
登録漏れの場有為は  
追加登録

完全一致 検索	部分一致 先頭一致	5Z4DZ	CW	18.076.1	599	599	5Z	430	PA1AW	ALEX	KENYA
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5Z4DZ	<input type="checkbox"/>	18.076.1	599	599	5Z	430	PA1AW	ALEX	KENYA

QRZ.COM HAMQTH IK3QAR 5Z4DZ LOTW=OK QSLマネージャ=PA1AW

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	アワード	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	ゾーン	T	R	L
	5Z4DZ	2004/05/03 14:10	CW	14.023	599	599	5Z	430	KENYA	PA1AW	AF-37	T	R			
	5Z4DZ	2004/08/08 07:43	CW	24.890	599	599	5Z	430	KENYA	PA1AW	AF-37	T	T			
	5Z4DZ	2004/08/28 06:08	CW	21.022	599	599	5Z	430	KENYA	PC1A	AF-37	T	R			
	5Z4DZ	2005/03/27 06:59	RTTY	21.079	599	599	5Z	430	KENYA	PC1A	AF-37	T	R			
	5Z4DZ	2005/04/16 21:57	CW	10.115	599	599	5Z	430	KENYA	PC1A	AF-37	T	R			
	5Z4DZ	2005/12/18 07:38	CW	18.076.0	599	599	5Z	430	ALEX	KENYA, ...	PA1AW	AF-37	T	T		

QSO処理が誤っている場合は修正  
もれの場合は上記を追加登録  
この場合は日付等を修正登録  
をする

## 6 QSLをチェックして「R」に変更

## 7 DXCCメンテを実施

名前等 検索 住所検索

ALEX KENYA

5Z DXCCマネージャ T R LOTW

## 8 結果を確認

DX	430	M	F	C	D	19	35	7	10	14	18	21	24	28	50
5Z		R	R	R	R				R	R	R	R	R	R	

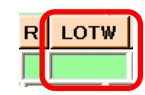
UTC:15 03:05 JST : 12/15 12:05:04  
AF-37 5Z : 12/15 06:05:04

KENYA

IOTA	CW	FONE	DIGITAL	P
1.9				GL地図
3.5				KI88JS
7	5Z4LS		5Z4/DL8N	10609 Km
10	5Z4DZ	430		
14	5Z4DZ	5Z4YV		
18	5Z4HW	T		272
21	5Z4DZ	5Z4YV	5Z4DZ	
24	5Z4DZ			92
28				DXC保存
50				JCC保存

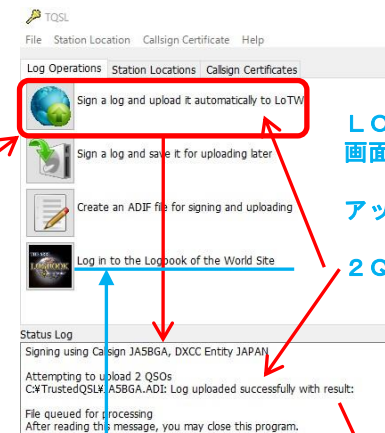
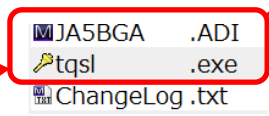
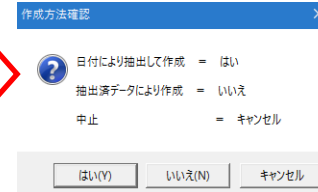
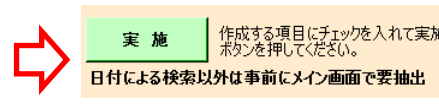
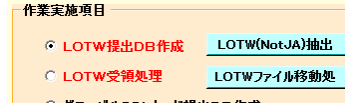
# LOTWデータ処理 P-23

② の抽出方法 (未提出データを作成) 例: メイン画面ワーク欄の「LOTW」欄に半角の「スペース」を入れて上のボタンをクリックでLOTW未送信のデータが抽出される ⇒



## ◎ LOTW (データ作成処理) (コール呼. ADI例)

- ARRLへ提出するデータ作成  
LOTW提出DB作成 ⇒ 実施をクリック
  - 日付指定による作成 (はいを選択)
  - 抽出済のデータから作成 (いいえを選択)
- ①②を選択した後、各質問に回答しながら進む  
①の場合は開始日～終了日を確認しながら進む  
②の場合は抽出件数の確認要
- 発送済の記号: 極力「はい」を選択  
「はい」を選択で作成した場合に発送済の「L」が記載される
- 以上で「各コール呼. ADI」が作成されます。
- このテキストを「tqsl.exe」を起動して送る



LOTW画面等画面とその結果画面参考

アップロード

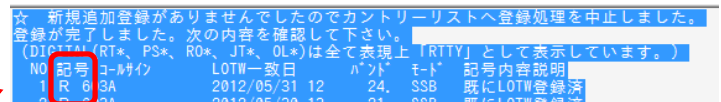
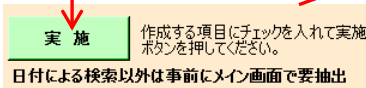
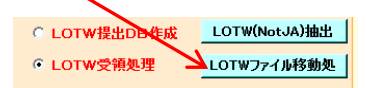
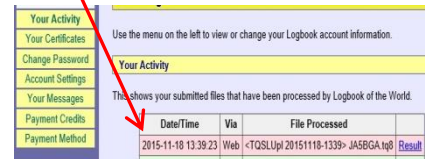
2 QSOがアップされました。

Your Activity でアップ確認

## ◎ LOTW (データ受領処理) (lotwreport. adi処理例)

- ダウンロード前の準備  
ダウンロードフォルダーに「lotwreport. adi」のデータが無いことを確認  
存在する場合は事前に削除を行っておく
- LOTWよりダウンロードを実施する  
「lotwreport. adi」がダウンロードフォルダーに取り込まれる  
サイトへの接続⇒右の「TQSL画面」or「WWW接続⇒LOTW (ログオン) 等
- 「LOTWファイル移動処理」ボタンをクリックして「lotwreport. adi」をBGA LOGフォルダーへ移動する
- 「LOTW受領処理」にチェックを入れて「実施」ボタンをクリック
- 以上で処理が完了: 結果はヘルプ画面、MSG.TXT に出力される

DX情報等  
● LOTW (ログオン)



結果の記号内容説明に注意  
エラー等のメッセージがあれば、その内容を確認して処理を行う必要があります。  
処理が完了すれば、「R 日付」が登録される

T	R	L
/	R 20151106	
G		

※ 処理に当たっては、ツールチップヘルプを確認しながら実施してください。  
LOTW画面等については部分的な画面のみを表示し説明を省略させていただいています。

# LOTWデータ処理 P-24

## LOTW受領処理 (チェック不良 (記号欄が「C」要Check) となった場合)

「C」表示は、日付 (時間)、モード、周波数、の一部が不一致でありBGA LOG内での受領処理が未実施のものです。  
この場合すぐ下の行にコメントが表示されています。

これについては次のいずれかの方法で処理を行う必要があります。  
いずれの場合もLOTWのダウンロードに不一致部分を合わせてから次を実施してください。

### 補正方法

- 1 モードや周波数等の不一致部分を修正して再度受領処理を実施してください。  
この場合、初回は「登録しました」とのメッセージ項目は既にLOTW登録済と表示されます。
- 2 登録データ (業務日誌) から「DXCC保守」ボタンにより補正
  - A 交信データのLOTW欄に「R」を記入
  - B 該当局を検索等によりワーク欄のDXCC番号をそのカントリーとして表示させる
  - C 「DXCC保守」ボタンクリック
- 3 手作業の場合
  - A 業務日誌の「L (LOTW)」欄に「R」を書き込みます。
  - B カントリーリストの内容がニューとなる場合は、  
ニューとなる部分に (MIX～バンド別の場合は「R」、ハンド別・モード別Newの部分にコールサイン) を記入する  
(ニューとならない場合は受領マークの「R」の記入のみでカントリーリストは修正を行う必要はありません)



### 表示例 (メッセージ欄及び「MSG.TXT」に出力)

登録が完了しました。次の内容を確認して下さい。

(DIGITAL (RT \*, PS\*, RO\*, JT\*, OL\*)) は全て表現上「RTTY」として表示しています。)

記号: R=処理済、C=コールサイン、周波数、モード、時間、不一致、(直接手動で修正が必要です。)

NO	記号	コールサイン	LOTW一致日	バンド	モード	記号内容説明
1	R	YB71RI/4	2016/08/17 07	21.	SSB	登録しました
省略						
11	R	5H1XX	2016/08/16 07	18.	CW	登録しました
12	R	ON8DM	2008/12/10 22	3.	SSB	既にLOTW登録済
13	R	YB71RI/5	2016/08/13 09	21.	SSB	登録しました
省略						
21	R	DU9/RC5A	2015/11/05 05	21.	CW	登録しました
22	C	YB71RI/7	2016/08/16 14	14.	DATA	日付 (時間)、モード、周波数、の一部が不一致
上の番号「22」に一致するデータがQSOデータ (業務日誌) 内に有りませんでした。 (次の内容をチェックして手動で修正してください。)						
	日付	=	日付～時間までが不一致 (分は無視します)			
	モード	=	CW、SSB、RTTY、以外			
	交信周波数	=	29.M以上、51.M 以上、「.」の無いもの			
省略						



# LOTW、等データ(ADIF)作成処理 P-25

## 標準のLOTW送信用「ADIF」作成方法

★ LOTWへの未発行データを自動抽出

[1:] = 未発行データ[スペース]まみ抽出方式

未送信=スペース、未送信=/、送信済=L、  
受領済=R(例:R日付)、その他の記号は記入不可

T	R	L	e
/			/

1:の標準を使用すると日付管理が不要となり、送信漏れ、重複送信を未然に防げます。

## LOTWデータ作成(1、2の違い)

いずれも同じデータを作成しますが、1については、当方の推奨するLOTW専用の管理方式です。

T	R	L	e	送信済	OTA	IPC	CI	Q	電送	DX
/			/	LOTW=OK	AS-007	080101	PM970V			M F C D 18 25 7
/		L	E	LOTW=NO			QK25UE			UTC : 12-05-13.02 JS

### 1: LOTW等、提出用DB作成

LOTWが未提出の物を自動で抽出して作成した局のLOTW欄に「L」を書き込みます。

(LOTWがスペース(未記入)の物のみを抽出し、[R]、[L]、[/]の記号の有るものは抽出しません。)

### 2: LOTW等、提出DB作成

日付を指定してLOTW形式のデータを他の場所に送付したい場合に使用します。

### ※ 1を途中から使用するための実施方法

未送信としたい場合、LOTW欄を[L、R、/]の文字で埋める必要があります。

・ 未送信確認ボタンで抽出

そこへ「L:送信済」または「/:未送信」の記号で書き換えます。

その後は、1で自動抽出して作成します。

### ※ 1で送付後に再送したい場合

再送したいデータの「Lotw」欄を「スペース」に変更すれば次回の1での抽出時に自動で抽出します。

ツールチップヘルプ等  
を確認してください。

抽出件数 = 1

#### ① ADIF等ファイルへ出力

1: LOTW等、提出DB作成 (おすすめ標準出力方法)  
未送信行のみ抽出、「L」書き込み処理有り  
LOTW欄が空白の部分のデータを抽出して処理します。  
(コール+日付+時間+モード+バンド+周波数)

標準

2: LOTW等、提出DB作成: (作成データは1に同じ)  
日付抽出可、記号処理は不可 (各自で書き込んでください)

#### ③ LOTW受領処理(ADIF)

□=QSL欄未記入 レ=「/」記入 (ヒット未発行)  
タウロードフォルダ等に「lotwreport.adi」があるものとして処理

4: カード印刷用DB作成 (MMQSL、等)  
(作成データ: LOTW+RST (送受)+マネージャ)  
発送済処理実施確認有り

5: クラブログDB提出DB作成 (LOTW+QSL受領)

6: EQSL提出 (LOTW+RST (送受))

7: 全項目をADIF形式に出力

8: CQ誌提出(A1クラブ)DB作成 (TXTファイルへ出力)

Thanks Nice QSO 73 CU AGN ]内容比較表

実施

LOTW OK局 チェック

以降  
2000

lotwUsr\_ファイル  
ダウンロード25

未送信確認

# LOTW作業の流れ(標準) P-19-4

## ★ アップロード

抽出件数 = 4

### ① データ作成

① ADIF等ファイルへ出力

- 1: LOTW等、提出DB作成  
未発行分のみ抽出、「L」書き込み処理有り  
(コール+日付+時間+モード+バンド+周波数)
- 2: LOTW等、提出DB作成: (作成データは1に同じ)  
日付抽出可、記号処理は不可 (各自で書き込んでください)

途中省略

JA5BGA  
.ADI  
作成

コールサイン、ADI内容

<ADIF VER:3>1.0

Program : BGALOG.NET(BGALOG)

http://www.dokidoki.ne.jp/home2/ja5bga/

<EOH>

<CALL:5>B7CRA<QSO\_DATE:8>20170627<TIME\_ON:4>1304<MODE:2>CW<BAND:3>40m<FREQ:7>7.017.2<eor>

<CALL:7>8J1C70Y<QSO\_DATE:8>20170626<TIME\_ON:4>2249<MODE:3>SSB<BAND:3>40m<FREQ:7>7.134.0<eor>

<CALL:6>8J8VLP<QSO\_DATE:8>20170626<TIME\_ON:4>2241<MODE:4>RTTY<BAND:3>40m<FREQ:7>7.040.0<eor>

<CALL:5>B7CRA<QSO\_DATE:8>20170626<TIME\_ON:4>1124<MODE:3>SSB<BAND:3>20m<FREQ:8>14.260.0<eor>

### ② 作成データ確認 BGALOG側終了

### ③ LOTW側 接続



BGALOGから  
自動で起動

途中省略

途中省略

ログに署名し、LoTWに自動的にアップロード

ログに署名し、後でアップロードするために保存

署名とアップロード用 ADIF ファイルを作成

Logbook of the World サイトにログイン

ステータスログ

コールサイン JA5BGA、DXCC エンティティ JAPAN を使用して署名

これより 4 件のQSOをアップロードする結果として、4件のQSOがアップロードされました。

File queued for processing  
このメッセージを確認したら、このプログラムを終了してもかまいません。

### ④ データUP ⑤ UP確認

DX情報等

LOTW(ログオン)

途中省略

途中省略

Home Your QSOs Awards Find Call Upload File Your Account Help

Logbook Web Account Menu

Your Activity

Your Certificates

Change Password

Account Settings

Your Messages

Payment Credits

Payment Method

Your Logbook Account

Use the menu on the left to view or change your Logbook account information.

Your Activity

This shows your submitted files that have been processed by Logbook of the World.

Date/Time	Mode	File Processed	Result
2017-07-03 02:40:37	Web	<TQSLUpI 20170703-0239> JA5BGA.tq8	Result
2017-06-26 08:16:47	Web	<TQSLUpI 20170626-0816> JA5BGA.tq8	Result
2017-06-26 05:06:47	Web	<TQSLUpI 20170626-0506> JA5BGA.tq8	Result

### ⑥ 登録確認で終了

## ★ ダウンロード

### ① LOTW側 接続



途中省略

ログの操作 局の所在地 コールサイン証明書

ログに署名し、LoTWに自動的にアップロード

ログに署名し、後でアップロードするために保存

署名とアップロード用 ADIF ファイルを作成

Logbook of the World サイトにログイン

途中省略

### ③ 日付指定ダウンロード

QSOs Menu

Query

Download Report

Statistics

Your QSOs

Download Report

Here you can download a report of QSLs received. The report file

Show QSLs received since: 2017-05-28 (YYYY-MM-DD)

Include QSL details:  (May make the downloaded file a lot bigger)

Include QSO station details ("my" station location fields):  (M)

Your Call Sign: - Any -

Download report

途中省略

④ lotwreport.adi  
作成、LOTW側終了  
BGALOGフォルダーへ  
コピー

### ① BGALOG側

- 2: LOTW等、提出DB  
日付抽出可、記号処理
- 3: LOTW受領処理
- 4: グローバルQSL、  
(作成データ: LOTW  
発送済処理実施確認)

途中省略

### ② RIREKI.TXT 作成

登録が完了しました。次の内容を確認してください。

NO	記号	コールサイン	LOTW一致日	バンド	モード	記号内容説明
1	N	YB4IR/8	2014/02/07 08	21.	SSB	登録しました
2	N	XW1B	2010/12/21 07	21.	RTTY	登録しました
3	N	XW1B	2008/11/30 08	7.	CW	登録しました
4	N	XW1B	2008/11/03 08	18.	RTTY	登録しました

途中省略

### ③ RIREKI.TXT の内容確認 エラーを確認して終了

メッセージ欄にも表示されています。

# モード上限設定、ウォンテット登録、システムエラー P-27

## ◎ Mode上限周波数 (CW、PSK、RTTY)

次の様に各周波数毎のモードの周波数を環境に設定することが出来ます。

項目(20 Byte以内)	設定データ【この場所のみ登録・変更可】 (100 Byte以内)	説明 (150 Byte以内)
CwUpFrq	3.525 7.033 10.130 14.070 18.099 21.070 24.920 28.070 50.119	CWの上限周波数を設定します。未記入の場合はJARLの設定周波数となります。
PskUpFrq	14.080 21.080 28.080	PSKとRTTYの区別が必要な周波数のみPSKの上限周波数を設定します。設定周波数は CW_FRQ <= PSK_FRQ <= RTTY_FRQ <= SSB_FRQ となります。
RttyUpFrq	3.530 7.045 10.130 14.112 18.111 21.125 24.930 28.150	RTTYの上限周波数を設定します。未記入の場合はJARLの設定周波数となります。

## ◎ ウォンテット登録

特定の局を管理したい場合にそのコールサインを記載すればその局がテルネットにアップされた場合に音で知らせるとともにバンドスコープに「C・P」に続き「W」記号を付けて上位の位置に表示し局別星取表で個別管理が出来ます。

ソート番号現在の場所目(20 Byte以内)	設定データ【この場所のみ登録・変更可】 (100 Byte以内)	説明 (150 Byte以内)
0000046 Wanted	YB4IR/7	記入例「5N7M ZK2C FWONAR HU2DX」: 求める局をスペース区切りで登録します。レポート時に音で知らせます。(要再起動)
0000047 Wanted2		上記「0000046 Wanted」で収まらない場合にはこちらへも記入してください。(要再起動)

## ◎ データグリッド (DBG) 既定のエラーダイアログ

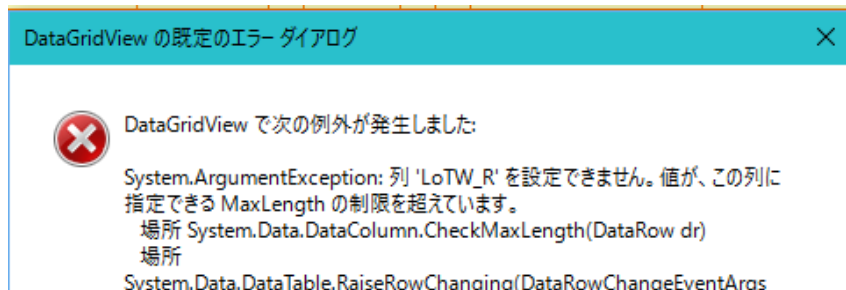
データベースのDBグリッドを訂正中等に次のようなエラーが発生することがあります。

これは、データベースのレコードの最大入力数をオーバーした場合に発生されます。

この場合は、入力した項目の入力文字を少なくする必要が有ります。

(データベースには各項目の最大入力数が定められており一定の余裕を見て設定しています。

ボタン等をクリックで登録や修正を行っている場所についてはプログラムで最大数以下となる様にしていますが、DBグリッドを直接修正する様な場所では、DBをマスターに登録をする時点で次の様なエラーが表示されます。)



※ プログラム実行上で発生した場合はその画面を含めて状況をレポート願います。  
(プログラムで制御可能な場所においては発生をしない様にプログラムを修正いたします。)

名前等 検索		住所検索		P	ゾーン
DEAN A. LIOI		FIGI IS.			OC-32
		T	R	LOTW	相
		0			
マナー	P	ゾーン	T	R	L
7UBA	:		0	0	2001/07/10 15:1
7VOG	:		0	0	2004/03/18 08:0
7VOG	:		0	0	2004/03/18 08:4
	:		0	0	2007/07/16 02:0
EGD	:		0	0	R 20150807
	:		0	0	R 20151031
	:		0	0	R 20150807
	:		0	0	R 20150807

# データの検索 (or修正方法) (特殊例参考) P-28

## ◎ データの検索 (or修正方法) (特殊例参考)

- 右図1の様に不正データ (P欄「:」、T・R欄「0」) をまとめて検索して修正の方法

### P欄修正 (図2)

- ①検索する文字へ「:」を記入、②検索場所に「P」を選択、③書換場所選択へ「半角のスペース」を記入、④DB書換処理実施、⑤件数確認後「はい」をクリック、
- ⑥以上で「:」が全て「半角スペース」に変更済 (図3)

図2

各種検索  
複合検索 | 期間指定検索 | 定型検索 (QSL) | 定型検索 (その他)

条件等クリア 抽出開始 DB書換処理

検索する文字  完全、レ前方 検索場所  書き換え場所選択

書き換える文字

図3

マナー	P	ゾーン	T	R	L
7UBA			0	0	2001/07/10 15:1
7VOG			0	0	2004/03/18 08:0
7VOG			0	0	2004/03/18 08:4
			0	0	2007/07/16 02:0

- 個別に判断して修正 (図4)

### 先頭に「R」記号が無い場合の特殊検索

LOTW欄等の部分一致としている場所については、「R」の無い検索はできません。

この場合も、複合検索画面で検索を行う必要が有ります。(図4)

- ①検索する文字へ「20」を記入、②検索場所に「LOTWR」を選択
- ③先頭一致とするためにチェックを入れます。

この後、個別に修正をする必要が有りますが、LOTW欄については、最大入力数の15バイトを超えないようにしてください。

最大入力数を超えた場合は、前ページの「データグリッド (DBG)

既定のエラーダイアログ」が表示されます。

この参考の画面では、日にち以後の (時分) データを削除する必要が有ります。

なお、] OTW欄は1文字目の「R」記号のみが重要であり日付は参考値であり不要

図4

条件等クリア 抽出開始 DB書換処理

検索する文字  完全、レ前方 検索場所  書き換え場所選択

書き換える文字

図5

L
2001/07/10 15:1
2004/03/18 08:0
2004/03/18 08:4
2007/07/16 02:0
2012/06/07 14:3
2012/06/09 05:5
2012/06/09 12:1
2012/11/22 22:2

## 検索時の注意事項

- ※1 個々での検索はスペースも文字データとして認識を行います。  
(ヌルについては、文字でないために検索そのものが実施不可)
- ※2 抽出した内容について、修正を行うとその検索条件と一致しくなりますので、修正直後にフィルター画面に非表示となります。  
日付 (2001/03/18 08:0) を削除した場合の例 (図6)

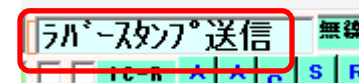
図6

マナー	P	ゾーン	T	R	L
DL7UBA			0	0	2001/07/10 15:1
DL7VOG			0	0	2004/03/18 08:4
			0	0	2007/07/16 02:0
IK1FRA			0	0	2012/06/07 14:3

# 特殊キーの活用、キーボードのみでのQSO方法（メイン画面アクティブ時） P-29

## ★ アルト（Alt）キーの活用－1（メイン画面アクティブ時）

「アルトキー」＋「テンキーの数字等」を押下すると右の画面の表示の有無にかかわらず送信されます。



テンキーの数字等はテキストの左に表示されている記号です。

自局コールサイン、相手コールサイン、RST(9はNに変換)、はワーク欄等から自動で取り込みます。  
自由に文章を変更可能です。

登録はシングルクリックで直接書換

手順：読込 ⇒ 直接修正 ⇒ 登録

送信は「アルトキー」＋「テンキーの数字等」または「ダブルクリック」

## ★ アルト（Alt）キーの活用－2

「アルトキー」＋「業務日誌（DBグリッド）」をクリック押下するとその項目の内容が、ワーク欄に書き込まれ、クリップボードにも取り込まれます。

## ★ コントロール（Ctrl）キーの活用

「アルトキー」＋「業務日誌（DBグリッド）」をクリック押下するとその項目の内容が、ワーク欄に書き込まれ、クリップボードにも取り込まれます。

## ★ シフトキーの活用（メイン画面アクティブ時）

機種等には関係なく使用できます。

下記はコールサインがバッファに取り込まれている場合の例です。  
バッファメモリーの内容「E51XGI」が確認できます。

この組み合わせで簡単にコピー&ペーストが実施できます。

コピー = コントロールキー活用

ペースト = シフトキーの活用

終了	キーボード送信
①	TU
②	JA5BGA
③	BK UR 5NN TU
④	DE JA5BGA UR 5NN TU
⑤	DE JA5BGA JA5BGA UR 5NN TU
⑥	I5ECW DE JA5BGA UR 5NN MY NAME
⑦	I5ECW DE JA5BGA UR 5NN MY QTH
⑧	TEST1
⑨	TEST2
⑩	TEST3
/	TEST4
*	TEST5
-	TEST6
+	TEST7

○数字 = 「Alt」＋「テンキー数字、記号」で送信  
シングルクリック = 訂正、ダブルクリック = 送信

読込  
登録

## ★ 完全キーボードのみでのQSO方法（ラバースタンプ画面表示時）

右の図の様にラバースタンプの状態にしておくとキーボードから直接送信（キーボード押下で文字送信）を実施しながら前記（「Alt」＋「テンキー数字」）送信が可能

（また、キーボード送信とマウスクリックでのラバースタンプ直接送信も可能）

# リグコントロール設定 P-30

## ★ リグコントロール設定 (環境設定)

- 機種名：IC、TS、FTで機種名を判定 (ICについては、「&H\*\*」の機種別のアドレス要、TS、FTについては、AIコマンド使用が必須条件)

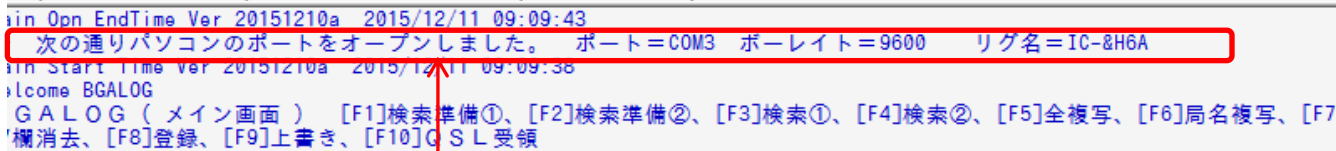
02030010	RIG	1	スタート時のリグ使用設定です。0=使用しない 1~3=初期のリグを設定します。「AI」コマンド等自動でデータを送ってくる機種にのみ対応しています。
02030030	RIG_No1	<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)	入力例「<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)」:1台目のリグ設定、ポート等記録します。<ポート>[ボーレート](リグ判別記号TS-990 FT-5000)
02030050	RIG_No2	<4>[9600,N,8,1](TS-990)	=> 以下2台目以降を記入します。 注意 ボーレートの区切りは半角のコロン「:」です。各種それぞれの括弧で区切ってください。
02030070	RIG_No3	<5>[9600,N,8,1](FT-5000)	=> 記入内容 <ボーレート>[パリティ,ビット,ストップビット](リグ名リグ判別記号等)アイコムについてはアドレスを記入

モードのコントロールは「P-52」を確認してください。

- リグ側での注意点
  - ボーレート：リグにAUTO機能が有る場合は、環境設定のボーレート（例：9600）固定に設定  
アイコムはAUTOが有るので注意（リニア等に合わせた設定となり使用不可となる）
  - ポートの設定：<\*>正しく設定されている必要有り  
パソコン（右図）と設定が一致している必要有り
- 次の画面が出ればBGALOGとパソコン間は設定終了



“!”マークや“ほかのデバイス”が表示されている場合は、問題があります。



- 動作不良の場合：パソコンとリグ間の設定を確認する必要有り  
USBから無線機のCOMポートへ正しく接続されているかを確認要

### パソコン

- デバイスエラーは発生していないか
- USB変換器とリンクが取れているか

### BGALOG環境設定 (正しい環境設定が出来ているか)

- RIG使用番号が“0”以外となっているか、
- RIG\_No1~3が次の設定となっているか、記号に注意 => <[,,,](-)>
- <COMポート>[ボーレート,パリティ,ビット,ストップビット](リグメーカー名-リグ名)
- 例：<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)
- リグメーカー名-リグ名=(IC、TS、FT)+(-)+(IC-&H\*\*, 以外=990等適宜)

接続、  
PC⇔無線機

USB⇔COMポート  
変換器

- WIN10等に対応し正しくCOM番号が取れているか

### 無線機

- ボーレートが正しいか(AUTO設定不可)(9600等)アイコムの場合は注意
- アイコム以外は「AI」設定となっているか

アイコムはHEX、その他はASCIIでデータのやり取りをしています。



④ 学習管理    ⑤ DXCC管理    ⑥ マネージャ管理    ⑦ LOTW等DB処理    ⑧ 複合検索

② 業務日誌出力 (テキスト、CSV ファイルへ出力)

レ=出力項目、項目名:最大登録レコード数、テキストボックス内数字=印刷する最大指定文字数

<input checked="" type="checkbox"/> コールサイン:15	14	<input type="checkbox"/> IOTA:10	6	<input type="checkbox"/> 無線機:20	20
<input checked="" type="checkbox"/> 日付・時間:20	16	<input type="checkbox"/> QSLT:5	1	<input type="checkbox"/> ハワリ:10	10
<input checked="" type="checkbox"/> モード:10	6	<input type="checkbox"/> QSLR:5	1	<input type="checkbox"/> 文字間の区切り記号 (カンマ、コロン、スペース等)	
<input checked="" type="checkbox"/> 周波数:10	9	<input type="checkbox"/> LOTW:15	1	<input type="checkbox"/> 日付・時間:分割オプション	
<input type="checkbox"/> HRST:4	3	<input type="checkbox"/> JCC:15	6	<input type="checkbox"/> 日付・時間:JST変換オプション	
<input type="checkbox"/> MRST:4	3	<input type="checkbox"/> GL:10	6	<input type="checkbox"/> 周波数:KHz未満削除	
<input type="checkbox"/> プリフィックス:15	10	<input type="checkbox"/> IOTA:10	6	MMQSL(JA)用項目選択	
<input type="checkbox"/> DXCC番号:3	3	<input type="checkbox"/> 申請:20	5	<input type="checkbox"/> □=固定長、レ=非固定長	
<input type="checkbox"/> 名前等:30	12	<input type="checkbox"/> 相手移動:30	10	<input type="checkbox"/> 拡張子:□=.TXT、レ=.CSV	
<input type="checkbox"/> 住所:60	20	<input type="checkbox"/> 自局移動:20	10	QS0data	出力開始
<input type="checkbox"/> マネージャ:15	12	<input type="checkbox"/> 備考1:60	20		
<input type="checkbox"/> ペディション:1	1	<input type="checkbox"/> 備考2:240	20		
<input type="checkbox"/> ゾーン:8	5				

## ★ 交信済のデータ出力方法

### 印刷の流れ

- 1 メイン画面、または、左にある各種検索で事前に印刷したい内容を検索しておきます。
- 2 右図の様に印刷したい項目にチェックを入れる
- 3 その項目を何文字まで印刷するかをその項目の最大文字数以下でテキスト欄に記載します。  
例：日付のみで時間が不要な場合は、「16」⇒「10」に変更印刷しない場所（チェック無）の項目は無視
- 4 文字間の区切り記号  
「, (カンマ)」「: (コロン)」「 (スペース)」などを指定未入力の場合は自動でスペースが追加される
- 5 出力ファイル名を指定  
標準は「QS0data.TXT」
- 6 出力開始を押下で実行  
出力例（右画面で区切り記号を「カンマと」）  
S79RJ , 2004/10/11 14:39, CW , 10.107 ,  
XR2T , 2014/10/09 05:37, CW , 18.0 ,  
XR2T , 2014/10/09 08:32, CW , 10.1 ,  
XR2T , 2014/10/09 08:34, CW , 7.0 ,
- 7 ペーパーに印刷したい場合  
出力されたテキストをワードやエクセルに取込印刷

## ★ エクセルに取り込む場合

文字列の区切りを「,」として、拡張子にチェックを入れて「.CSV」として出力します。

## 各オプション設定

### 文字列の区切りオプション

区切り文字を適宜な記号に指定できます。

### 日付・時間：分割オプション

日付と時間のあいだを区切って出力できます。

### 日付・時間：JST変換オプション

日付をJSTに変換して出力します。

### 周波数：KHz未満削除オプション

「14.123.4」の様にドットが2つある場合には、「14.123」として出力します。

### MMQSL(JA)抽出オプション

クリックで一般的な項目にチェックが入りますのでその後必要な項目をチェックします。

### 固定長、非固定長オプション

固定長 : 指定文字列の項目が少ない場合はスペースを付加します。

非固定長 : 項目に入力の通り出力します。

(未入力の場合は半角スペースが1文字出力されます。)

### 拡張子オプション

テキスト(.TXT)、CSV(.CSV)のいずれかが自動で付加されます。





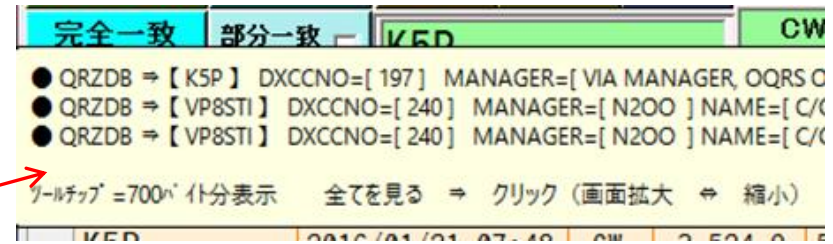
# 各種ヘルプ P-34

## ★ 各種ヘルプ

ヘルプについては次の様にいろいろなヘルプを使用しています。  
次の様に使い分けていきたいと思えます。

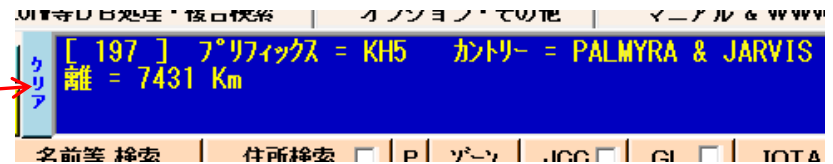
### 1 ツールチップヘルプ

カーソルを当てると約1秒後に黄色で表示され数秒間表示します。  
その項目に対して主に隠れているデータ内容の表示、簡易項目の説明  
プログラムの作成は簡単ですが、文字が小さくて見にくい欠点があります。  
表示までのタイム、表示しているタイム、が固定されていること  
この為、読み切れず、内容が理解できないなどの問題があります。  
今後徐々に「3のメッセージボックス」に切り替えていきます。



### 2 メッセージ欄へのブルー表示ヘルプ

保存が不要な分析やデータを含めた情報表示  
カーソルが移動すると即メッセージ欄に表示し、文字が大きく  
見やすくしています。  
一定タイム経過で自動クローズします。  
早期に表示を終了 = ブルー画面上を左クリック、OR クリア  
ボタン上にマウスが通過



### 3 戻る or センターボタンクリック (メッセージボックス)

ツール (ボタン、テキストボックス等) に対する使用方法説明  
文字の一部を押下するまで表示し続けますので、ゆっくりと確認  
が出来ます。

また、  
マニュアル  
をクリックで直接次の  
の該当のページを表示  
します。

ヘルプマニュアルを見る

をクリックで直接次の  
の該当のページを表示

### 4 マニュアル (本書のとおり)

マニュアルとしての全体的で詳細な説明  
画像を用いて一般的な使用方法や質問事項など総合的に作成して  
います。  
その画面の全体的な説明や使用方法を含め作成していきいます。

このボタンが表示されていれば

直接マニュアルの該当のページを表示

(上位の位置に統一して表示)

BGA LOG メッセージ ボックス (画面クリック or エンターキーで終了)

1 文字入力毎の先読み検索実施  
ここにチェックが有れば次の場所で1文字入力毎に先読みを実施します。  
先読み中はバックカラーが「黄色」になります。

- ★ 先読み時の局選択 & 検索方法
  - キーボード利用  
上下カーソルキー「↑↓」で取込局を選択 ⇒ エンターキー
  - マウス利用
    - ・ 「コールサインシングルクリック」 ⇒ 「局名複写」 ⇒ 「完全一致検索」
    - ・ コールサイン等をダブルクリック (全複写)  
⇒ 完全一致検索クリック or エンターキー
- ★ 先読み途中からの抜け出し  
その局を検索するには「スペース」を追加しリターンキーを押します。
- ★ コールサイン欄  
1文字入力を実施することに業務日誌欄に交信済の局から一致した局を抽出します。  
ファジー検索欄のボタンのチェック状況により次の様になります。  
□ = 前方一致で検索  
レ = 部分一致で検索  
先読みの抽出データ取込 : 対象の局をダブルクリックでワーク欄に取り込みます。  
(注意 コールサイン入力途中でのリターンキーは完全一致検索実施となり、取り込むことが出来ません。)
- ★ 注意 ★  
先読み中に「エンターキー」 ⇒ 「カレントディレクトリー」 ⇒ 「コールサイン取込と検索」 を実施します。
- ※ 特殊な検索  
「JA5ABC」が登録されている場合に「JA5AB」を検索する場合  
「JA5AB」+「スペース」でエンターキーを押す

先読みに関するマニュアル P-36-1~3  
IEが「C:\Program Files\Internet Explorer\iexplore.exe」にインストールされている場合は直接そのページを表示できます。  
その他は、目次のページを表示します。

'----- 次のボタンでマニュアルの「P-36-1」を表示します。

ヘルプマニュアルを見る

# 良く使用するボタン P-35

## よく使用するボタン(コールサイン欄への移動)

### 上書きボタン

カレントディレクトリーへ上書後、データベースの同期を実施しますが、コールサインは、削除しないでそのまま残ります。カーソルはコール欄へ

### 受領ボタン

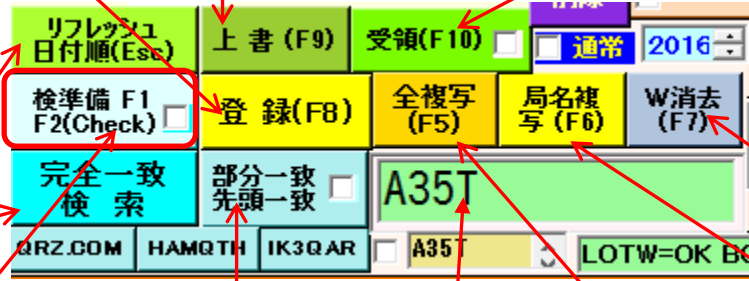
カードの受領をした場合に使用します。  
□=カード受領(QSL-R欄)処理  
レ=LOTW欄を個別に整理する場合はチェックを入れる(通常は自動のため使用しません。)次を処理します。  
・DXCCカントリーリストをチェック補正  
・受領登録日を備考2へ自動書込み  
・コールサインを削除して次のカード処理の準備  
処理後カーソルはコール欄へ

### 登録ボタン

登録後、データベースの同期を実施しますが、コールサインは、削除しないでそのまま残ります。処理後カーソルはコール欄へ

### Escボタン

データベース、ソートをRefreshしますが、コールサインは、削除しないでそのまま残ります。処理後カーソルはコール欄へ



### 完全一致検索ボタン

先頭から最後の文字までが完全に一致するデータを抽出します。処理後カーソルはコール欄へ

### ワーク欄消去ボタン

コールサインを含めワーク欄に記載されているものを全てを消去します。

### 検索準備1、ボタン

コールサインを削除して各欄を初期化します。お勧めです。コールサインを削除したり不要な記載データを削除したりする必要がありません。登録処理、受領処理、検索などを行った後、に利用してください。初期化の方法は下記によります。

### 部分一致ボタン

□=先頭一致検索  
レ=部分一致検索  
コールサインは、削除しないでそのまま残ります。処理後カーソルはコール欄へ  
(完全一致は「/5」なども不一致であれば検索できません。移動局などを検索する場合に便利)

### 局名複写ボタン

カレントディレクトリーのコールサインのみをワーク欄へ取り込みます。処理後カーソルはコール欄へ

### 全複写ボタン

カレントディレクトリーのすべてをワーク欄へ取り込みます。処理後カーソルはコール欄へ

## F 1、F 2 動作の違い

検索準備 検索を行うためのワーク欄をリフレッシュします。

①チェックオフ (F 1) ②チェックオン (F 2)  
差異 (F 1) (F 2)

コールサイン	消去	未変更 (未処理)
時間	現時間	〃
モード	最終データ	〃
周波数	最終データ	〃
H(M)RST	5 9 9等固定	〃
リグ、入力	未記入時最終データ	〃

モード、周波数=リグコントロールの場合はリグ優先  
※ 登録時の時間については、オプションの選択が優先します。  
(オプションを登録時間の扱いをそのまま設定にする必要があります)

検索前やコールサインなどのリフレッシュは検索準備「F1」「F2」が便利です。

コールサインの入力誤りの場合は、「Esc」でカーソルをコールサイン欄へ移動

## コールサイン欄での検索 P-36

## コールサイン、等を入力・検索

## 先読み検索チェック「ON、OFF」及び「入力後のリターンキー検索」により異なります。

## ★ 先読み検索OFFの場合の検索内容は次の通りです。( )内は入力例です。

「コールサインまたは日付入力」＋「Enter (orマウスでの検索)」

- ・ 日付 (6桁以上: 2016/、2016/、) 入力で一致する日付までをファジー検索  
(2016/0 (01~09月まで抽出)、2016/09 (月まで一致の局を抽出)、2016/09/05(日付が一致する局を抽出))
- ・ コールサインを入力で完全一致を行います。

先読みの関連は「P-36-1~3 先読みチェックボタン」をご覧ください。

## ★ 先読み検索ONの場合の検索内容は次の通りです。

( )内は入力例です。

コールサイン : (下記パターン以外の場合で2文字以上) その都度一致するコールサイン検索  
(部分一致、先頭一致のチェックにより抽出が異なります。)

日付検索	: 「4文字の数字」＋「/」 6文字以上入力した時点でその都度日付検索	(2010/01、2016/06/05)
ZONE	: 「2文字の英記号」＋「-」＋「2文字の数字」 & 計5文字	(AS-25)
LOTA	: 「2文字の英記号」＋「-」＋「3文字の数字」 & 計6文字	(AS-076)
ZA	: 「ZA＋4文字の数字」 & 計6文字	(ZA1562)
道の駅	: 「2文字の数字」＋「-」＋「2文字の数字」 & 計5文字	(01-10)
温泉地	: 最初の1文字が「#」＋「全ての文字」	(#足寄湖)
	: 「YU-」＋「4文字の数字」	(YU-1431)
	: 最初の1文字が「\$」＋「全ての文字」	(\$湿原温泉)
市区町村名	: 「5文字の数字」＋「1文字の英字」	(01002A)
	: 最初の1文字が「!」＋「全ての文字」	(!阿寒郡鶴居村)
JCC番号	: 全て数字で4文字～5文字	(3801)
郵便番号	: 「3文字の数字」＋「-」＋「4文字の数字」	(799-3111)
	(KEN_ALL.TXTが必要です。)	

※ 漢字にはパターンがありませんので文字の前に「記号」が必要です。

## ★ 入力後リターン時の処理

- ・ 業務日誌欄に過去の交信状況を抽出  
結果の赤枠 : コールサイン入力欄に赤い枠が有る場合は検索結果、未交信の局
- ・ QRZ.COM (契約者)、HAMQTH (未契約者) へ接続し登録データを取得  
DX番号、マネージャ、名前、住所、等々を取得
- ・ DXCCリストとチェックしカントリーの状況表示  
ワーク欄へ必要事項の表示、カントリーリスト (星取表) 表示、画像の有無、位置情報、等々

CQ誌 (2016年間DXCC) P-37

特別賞データの作成

「指定年検索」ボタンによりDXCCリストを基にDXCC発信状況「DXCCdata.TXT」を作成できます。

その流れ

この場合は専用ボタンが有りますので「P-26」の作業は行いません。この説明の順に実施してください。

- 1 結果を印刷したい場合は、事前に図の様に印刷したい項目にチェックを入れておきます。  
この場合、JST印刷、日付と時間を分割したい場合は、事前にチェックを入れてください。

- 2 年を指定します。(通常は当該年になっています。)
- 3 「指定年検索」ボタンをクリックします。

以上で終了です。

DXCCリストの結果を「DXCCdata.TXT」へ出力する

DXCCリストにDXCC番号を出力する。

DXCCリストにMIX局のコールサインを出力する。

DXCCリストにMIX局の日付を出力する。

JSTに変換し、日付と時間を分割する

DXCCリストにMIX局の周波数、モードを出力する。

MIX～バンド別 発信状況を表示しない。

レ=未発信カントリーを出力しない。 □=出力する。

2016 指定年検索

LOTWヒット分検索 (W)

LOTWヒット分検索 (JA除く)

良く使用する検索をこの画面でも実施可とするためボタンを作成しています。

リフレッシュ (検索前の総データに戻す)

「検索済DB」によるDXCCカウント開始

DXCCリストの結果を「DXCCdata.TXT」へ出力する

DXCCリストにDXCC番号を出力する。

DXCCリストにMIX局のコールサインを出力する。

DXCCリストにMIX局の日付を出力する。

JSTに変換し、日付と時間を分割する

DXCCリストにMIX局の周波数、モードを出力する。

MIX～バンド別 発信状況を表示しない。

レ=未発信カントリーを出力しない。 □=出力する。

\* テキストへ出力する場合は、「LOTW等DB処理・複合検索」のDXCCリストの出力項目を事前に設定してください。

18 21 24 28 50 (単純計)

チェックを入れて出力の例 (ファイル名 = 「DXCCdata.TXT」)

JA	, 339, 8N2KCJ/3	, 2016/01/24, 09:24	7.011.6 , CW	,
JD1M	, 177, JD1YAA	, 2016/02/04, 18:39	14.250.0, SSB	,
JD10	, 192, JD1BMH	, 2016/01/01, 10:00	28.030.0, CW	,

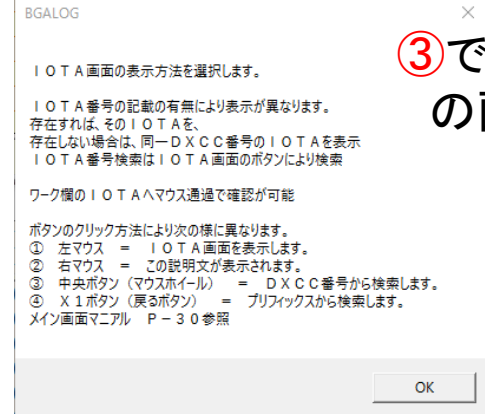
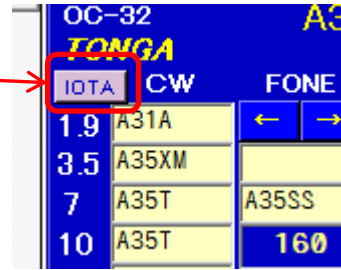
チェックを入れないで出力の例

JA	, 339, 8N2KCJ/3	, 2016/01/24, 00:24	7.011.6 , CW	,
JD1M	, 177, JD1YAA	, 2016/02/04, 09:39	14.250.0, SSB	,
JD10	, 192, JD1BMH	, 2016/01/01, 01:00	28.030.0, CW	,

# IOTA検索 P-38

## IOTA検索

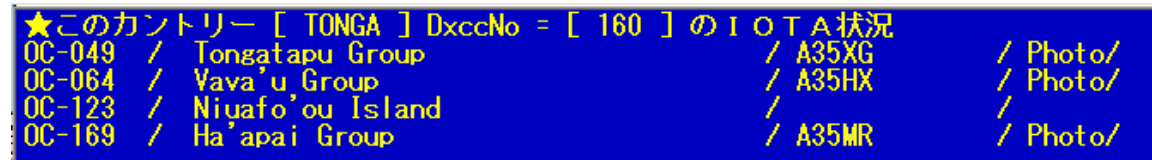
クリック等の方法により異なった検索が実施できます。  
内容を理解して使い分けてください



③で表示の画面

## ②で表示の画面

DXCCをまたがったものは表示されない  
(情報量小)



## ★ I O T A 交信状況の確認方法

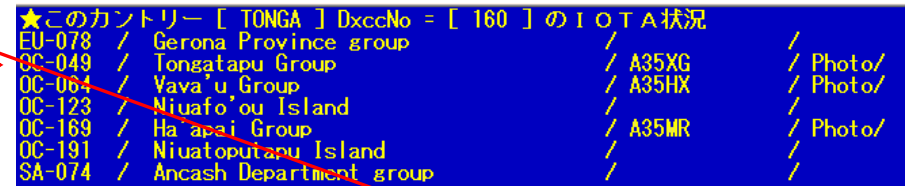
「I O T A」ボタンのクリック方法により表示内容が異なります。(5ボタンマウスが使用できない場合は使用できません)

- ① 左マウス = I O T A 画面を表示します。
- ② マウス通過 = D X C C 番号から検索します。例: D X C C 番号 1 6 0 で検索  
星取表内の D X C C 番号から I O T A リストの D X C C 番号を抽出します。
- ③ 中央ボタン (マウスホイール) クリック = 説明文表示。
- ④ 戻るボタン = 星取表のプリフィックスに基づき I O T A リストのカントリー名を部分一致で検索します。  
B G A L O G のカントリーリストと異なるスペルで登録されている場合は抽出されません。  
また、ファジー検索のため不要な抽出が有る場合もあります。(参考程度に使用してください。)

注: ②と④ではDXCC番号とファジープリフィックス名での検索で検索場所も異なるため一致しません(IOTA登録のプリフィックス)

## ④で表示の画面

IOTA名の事項が(下のA3~TON... Group)ファジー検索でA3を検索のため不要なものも表示されます。  
(情報量多)



①で表示の画面

IOTAno	IOTA名	QSOCallsign	DXCC番号	プリフィックス	申請用カード型
OC-049	A3 Tongatapu Group	A35XG	160	A3	Photo/
OC-064	A3 Vava'u Group	A35HX	160	A3	Photo/
OC-123	A3 Niuafo'ou Island		160	A3	
OC-169	A3 Ha'apai Group	A35MR	160	A3	Photo/
OC-191	A3 Niuatoputapu Island		160	A3	

# 処理スピード改善 P-39

## ★ 周波数の登録、モード、の登録が不正、等

テルネットのデータがアップされる都度過去のデータをチェックしてその局との通信状況をチェックしますが、この時、周波数やモードが正しくない場合は、エラー状況をERR. TXTに記録するための時間をなくす。

### 対応策

#### ① ERR. TXTの送付と削除

登録件数が極端に多くなりますとその処理に多くの時間がかかるようになり全体の処理スピードにも影響します。

これは、当方がどのようなエラーが発生しているかを突き止めそのエラーが発生しない様に対応するためのものですので、このテキストが存在すれば当方へ送付してその後、削除してください。

### その他の対応策

#### ② 不正データの抽出と不正データの補正

(オプション画面 ⇒ メイン画面メンテナンス。)

周波数やモードの不正なものを抽出し、補正します。

#### ③ 不要テキストの削除

不要となった各テキストを削除してください。

定期的を実施すれば肥大化したものも削除できますし、フォルダー内のごみも減らすことが出来ます。

また、BGALOG内にはフォルダーは有りませんので不要フォルダーを取り込んでいる場合は削除することをお勧めします。

#### ④ メッセージテキストの削除

メイン画面、テキスト画面に参考データを表示しますが、画面のテキストの書き換えは、他の作業に比べて非常に遅いものです。

適宜、システムでも自動で削除していますが、これを手動でクリアボタンを押して削除してみてください。

#### ⑤ テルネットの取得件数を少なくする。

テルネットから取り込んでいるデータ件数を少なくしてテキストの書き込み時間を短縮します。

## ★ その他 (WINDOWS)

上記を実施しても遅いと感じる方はシステムのバージョンアップ等をチェック

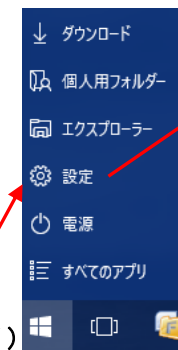
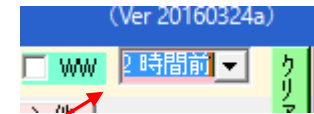
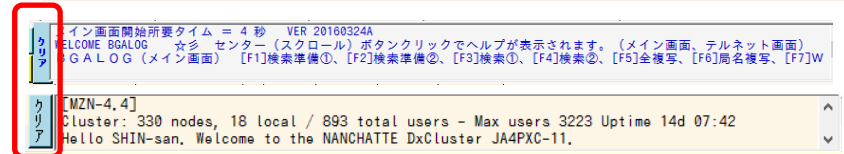
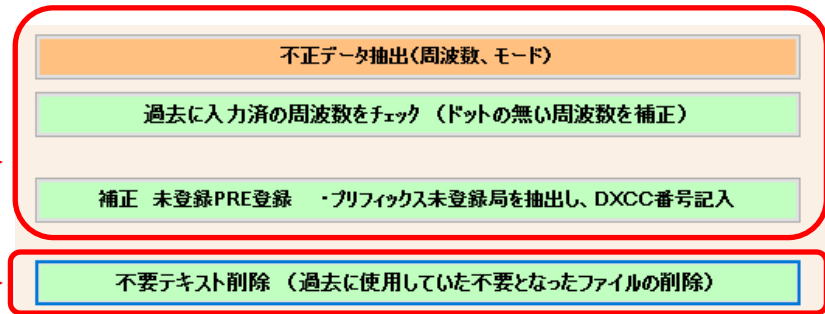
Windowsのシステムがアップデート中：強制的にアップデートを実施して早く終了させます。

HDDのレジストクリーナ、などがウエイト中に自動で実施：少しの間待つしかありません。

バックグラントアプリの整理 (WINDOWSの設定 ⇒ プライバシー ⇒ バックランドアプリ)

※ 不要なアプリを停止させます。

BGALOG	. ACCDB	10.3 MB	16/03/25 10:57:29
登録分DT Backup	. TXT	1 KB	16/03/25 09:57:08
Err	. TXT	4.94 KB	16/03/25 09:54:17
BGALOG	. exe	40.4 MB	16/03/24 16:25:02



バックグラウンド アプリ



Windows Update

お使いのデバイスは最新の状態で。最終確認日時: 昨日、14:29

更新プログラムのチェック

39

## WINシステムタイマー設定 P-40

## ヘルプ表示

## (WINシステムタイマー設定)

システムの設定でタイマーを次の様に設定してください。(WIN10の例)

「時刻の短い形式」が「05:31」でなく「5:31」の様に「0」のつかない形式にしていますとシステム内で日付の取り出しに失敗しますので注意が必要です。

(桁がずれて、正しい計算が出来なくなります。)



## 操作順序

- ① WIN (スタート) ボタンクリック
- ② 設定
- ③ 時刻と言語
- ④ 日付と時刻
- ⑤ 日付と時刻の形式変更

(戻る⑤orセンターボタン③でヘルプ)

システムの設定でセンターボタンを右の様に設定してください。

ロジクール等のマウスの一部では、それぞれのボタンを別の機能に割り当てることが出来ます。

BGALOGのヘルプは、「戻る」or「中央」ボタンに設定していますので他の機能に充てている場合は、ヘルプが使用できなくなりますので注意願います。





## ヘルプ、期間指定検索 P-41

マウスの「進む」 or 「センター」 ボタンでヘルプ

メイン画面、テルネット画面等で有効  
各ボタン、DBG、テキストボタン、等

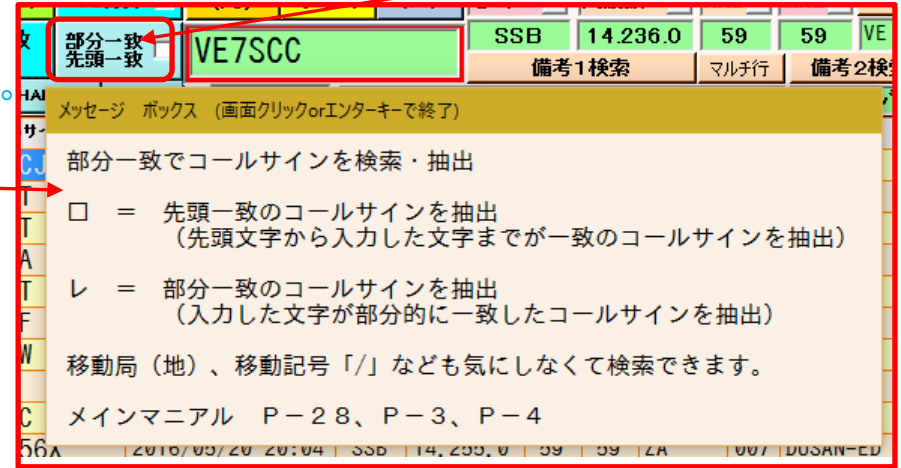
(一部、文字のメッセージの多い画面では、設定を行っていません。)

前頁 -32 説明により各ボタンやテキストをクリックで  
右の様なツールに設定されている機能等が表示されます。

画面終了方法

肌色部分をマウスでクリック

or Enterボタン (Enterボタンはヘルプ画面がアクティブ時)

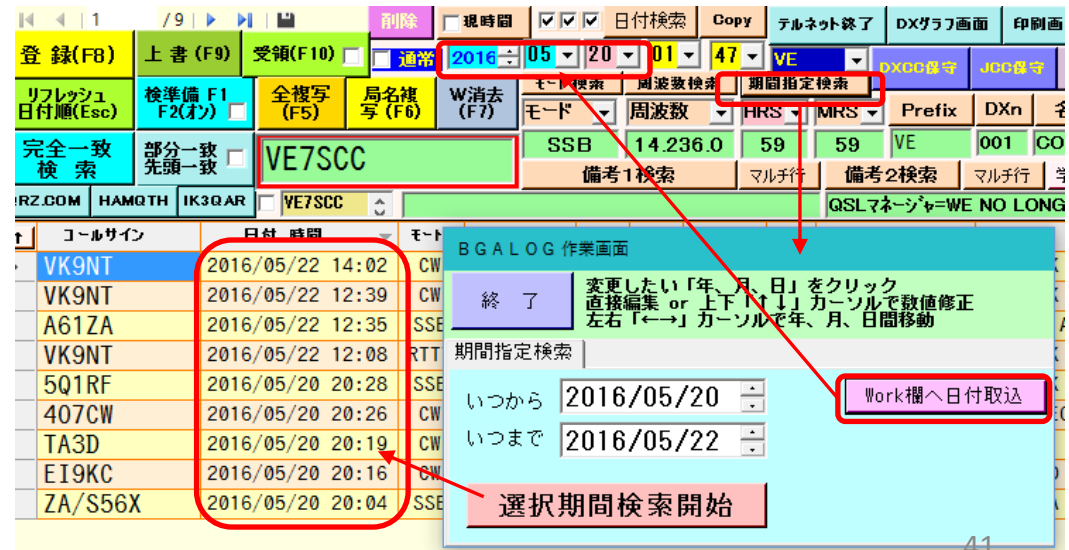


## (期間指定検索)

画面終了時の位置を環境に書き込んでいますので次回も同じ位置に表示されます。



- いつから~いつまでの検索を容易にします。  
(複合検索ではこれよりも複雑な各種検索が実施できます。)  
簡単に日付を設定できるようにしています。  
(上のメッセージ欄を確認してください。)
- ここで設定した内容をワーク欄の日付  
の位置に取り込むことができます。



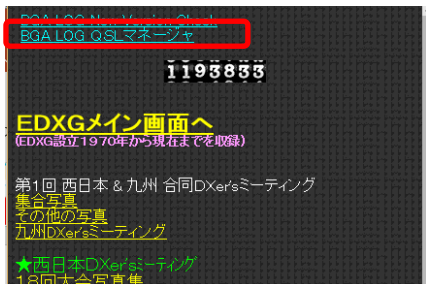
## フォントの設定 P-42 (タカオフォントについて)

タカオフォントは、「(0、0)ゼロ」と「(O、O)オー」の間違いをなくすことができます。  
BGALOGはコールサイン等を表示する場所にはタカオフォントを用いた画面を設定しています。  
正しくインストールされていない場合は、MSゴシック等のWindows標準のフォントが使用されます。

完全一致 検索	部分一致 先頭一致	XR0YS	CW
QRZ.COM	HAMQTH	IK3QAR	XR0YS
			LOTW=OK BORN=19
↑	コールサイン	日付 時間	モード 周波数
	XR0YS	2016/05/31 11:03	CW 10.116.0
	XR0YS	2016/05/30 04:45	CW 14.029.0

### インストール方法

- 1 <https://launchpad.net/takao-fonts>より右のボタンをクリックしてダウンロードします。
- 2 ダウンロードした「takao-fonts-ttf-003.02.01.zip」を解凍して「takao-fonts-ttf-003.02.01」の中の「①TakaoGothic.ttf」をダブルクリックします。  
(VUPの「KANKEI」フォルダー内にも添付されています。  
その表示されたフォントを見てゼロにスラッシュが付いているか確認をしておいてください。
- 3 フォント名の上の「②インストール」をクリックします。  
以上でインストールは完了です。
- 4 正しくインストールされていれば、BGALOGから自動でタカオゴシックが使用されます。



ja5bga.com - /edxg/QSL\_M/

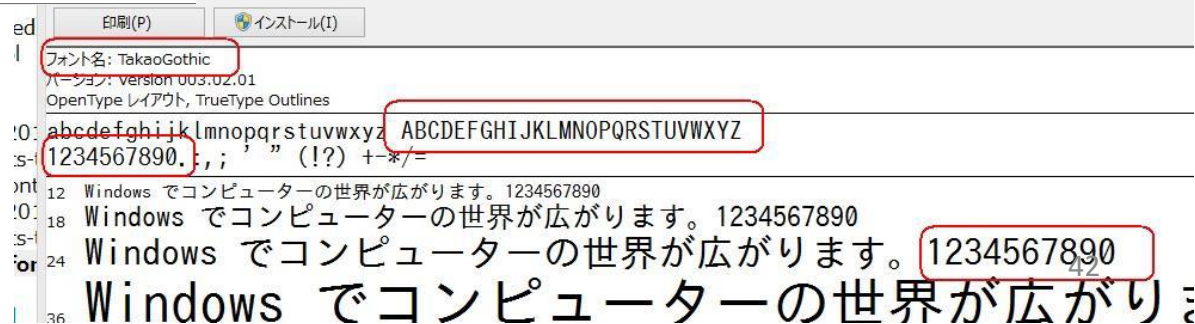
[To Parent Directory]

2013/11/29	11:15	26568364	ACCDB_engine.zip
2015/07/31	16:39	12200	BGA_JIP.zip
2014/09/23	17:46	92762	BGA_TERM.zip
2015/06/10	18:23	2559366	BGARTC.zip
2013/09/14	21:54	2854246	LUSO_RTC_ALL.zip
2013/09/14	21:55	1206390	LUSO_RTC_VUP.zip
2013/09/16	17:10	2175568	LUSORTC.zip
2015/11/16	12:25	99008	QSLMANAGER.TXT
2014/03/30	8:50	4288094	TAKAO.zip
2014/02/27	2:09	168	web.config
2011/12/19	17:43	242426	XP_WAV.zip

TakaoPGothic.ttf	5.94 MB	2010/03/05 11:49:32	TrueType フォント ファイル	4.08 MB 無
TakaoGothic.ttf	5.94 MB	2010/03/05 11:49:30	TrueType フォント ファイル	4.08 MB 無
TakaoExMincho...	7.39 MB	2010/03/05 11:49:28	TrueType フォント ファイル	5.26 MB 無
TakaoExGothic.ttf	5.73 MB	2010/03/05 11:49:28	TrueType フォント ファイル	3.90 MB 無
ChangeLog	512 バイト	2010/03/05 01:24:22	ファイル	292 バイト 無
IPA_Font_Lice...	20.0 KB	2009/04/20 10:03:42	テキストファイル	6.57 KB 無

**EDXGホームページ**  
からもダウンロードが出来ます。

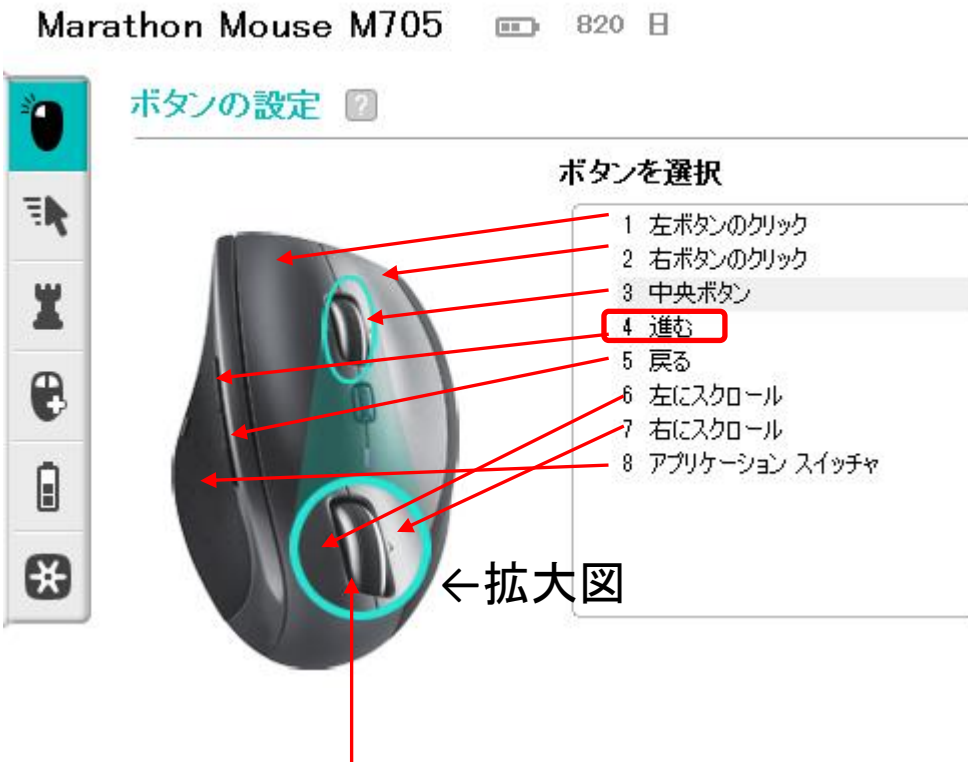
[BGA\\_LOG QSLマネージャ](#)  
2014/03/30 8:50 4288094 [TAKAO.zip](#)



## マウスについて（各ツール機能説明の表示方法） P-41

マウスには極力多機能のものを使用願います。  
当方ではそれぞれの機能を次により割り当てています。

当方のマウスを基に機能を記載しておきます



### BGALOGでの特殊機能動作

#### 1 ひだりボタン

各コマンドの実行

メイン画面での特殊組み合わせ

- ・ CTRL+左ボタン（テキスト&d b 欄）  
コピー
- ・ CTRL+右ボタン（テキスト&d b 欄）  
貼り付け
- ・ ALT+テンキーの数字（参考）  
CW送信

#### 3 中央ボタン

- ・ 下にクリック★重要★  
そのツールに設定されている機能の説明表示  
(その他、上下スクロール、左右スクロール機能が有ります。)

#### 4 進むボタン

ヘルプ画面、画像等表示

3の中央ボタンクリックで設定されている場所を確認してください。

メイン画面次の各テキストボックス欄

I O T A 欄

徐々に機能追加をしていきます。

**機能説明**を表示させるには、「**進むボタン**」を上から下にクリック or 「**スクロールボタン**」でクリックをします。

中央ボタンには、上下、左右、前後スクロールが設定されています。

# 先読み P-44 (P-45~46を参照)

(先読みチェックボタン)

コールサイン1文字入力の都度該当局を抽出します。  
(設定状況は環境設定に登録されます。)

DXCCクラフ分析		印刷画面	オプション
<input type="checkbox"/> 絞込検索	<input checked="" type="checkbox"/> 先読検索	<input type="checkbox"/> マニュアル	
<input type="checkbox"/> 条件設定	学習登録		

次の部分一致のチェックが「=ON(部分一致)」、「=OFF(先頭一致)」により抽出内容検索が異なります。

部分一致  先頭一致  JA5

部分一致  先頭一致  JA5

完全一致検索 部分一致  先頭一致  JA5

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数
▶	DL/JA5AQC	2012/07/11 08:43	SSB	14,163.
	DL/JA5AQC	2012/07/08 20:40	SSB	14,165.
	JA5BZL	2011/11/05 01:57	SSB	28,397.
	OH/JA5AUC	2009/08/09 08:43	SSB	14,147.
	OH/JA5AQC	2009/08/09 07:59	SSB	14,147.
	OH/JA5AUC	2009/08/08 20:22	SSB	3,797.
	OH/JA5AUC	2009/08/08 08:32	SSB	14,223.
	JA5PEU	2008/08/24 08:42	SSB	18,164.

完全一致検索 部分一致  先頭一致  JA5

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数
▶	JA5BZL	2011/11/05 01:57	SSB	28,397.
	JA5PEU	2008/08/24 08:42	SSB	18,164.
	JA5BMF	2007/12/29 06:03	SSB	3,561.
	JA5ARO	2007/12/29 05:58	SSB	3,561.
	JA5CTW	2007/12/29 05:56	SSB	3,561.
	JA5XAE	2007/11/10 08:25	RTTY	50,092.
	JA5XAE	2007/11/10 08:21	RTTY	28,088.
	JA5QJD	2007/11/10 08:16	RTTY	24,928.

「▼(降順)、▲(昇順)」クリックで検索結果のソート「昇順・降順」(ダブルスイッチ)が実施されます。  
コールサイン以外のすべての項目でソートできます。(上記例は日付でソートしたものです。)

先読み P-45 (P-46 次ページについても同様に実施可能です。)

(業務日誌欄の行間移動、先読み時の便利な検索方法) 【「F12」キーの活用】

★ 「Shift」+「F12」

1つ前の行へカレントキーを移動させます。

★ 「Ctrl」+「F12」

1つ次の行へカレントキーを移動させます。

★ 「F12」(単独で他のキーとの組み合わせなし)

カレント行のコールサインをコールサイン欄に取り込み完全一致検索を実施します。

キーボードのみでの先読み中からの抜け出し

先読みがヒットしている間は続き先読み(黄色)の状態ですが、ヒットしな  
中止して検索モード(緑or空色)になります。

強制的に中止するには「スペース」を最後に入力します。

(検索時には自動でスペースは削除されますので検索に影響は在りません)

## 使用方法例

先読み中にVK9Aまで検索した場合のVK9ANの取り込み方法

※ 該当局をマウスのダブルクリックで取り込み検索を行う方法もありますが、ここでは「F12」キーの使用方を参考で記載します。

① 「VK9A」までコールサイン入力で該当局が現れたとします。

※ そのままNを続けても同様で、この場合(該当局がカレントキーとなっている場合)は次に③を実施します。

② 「Ctrl」+「F12」を3回押す

※ カレント行が下に移動しVK9ANの局にカレント行が移動します。

③ 「F12」を押す

※ 「VK9AN」のコールサインが取り込まれてその局が抽出されます。

① 「VK9A」入力

完全一致 検索		部分一致 先頭一致	VK9A
QRZ.COM	HAMQTH	IK3QAR	VK9NZ
↑	コールサイン	日付	時間
▶	VK9AA	2004/11/28	00:48
	VK9AA	2006/11/23	00:23
	VK9AA	2009/03/24	09:09
	VK9AN	2014/09/19	07:23
	VK9AN	2014/09/22	08:02
	VK9AN	2014/09/26	07:54
	VK9AN	2014/10/01	08:53
	VK9ANH	2007/11/04	07:34



② 「Ctrl」+「F12」を3回押す

完全一致 検索		部分一致 先頭一致	VK9A
QRZ.COM	HAMQTH	IK3QAR	VK9NZ
↑	コールサイン	日付	時間
	VK9AA	2004/11/28	00:48
	VK9AA	2006/11/23	00:23
	VK9AA	2009/03/24	09:09
▶	VK9AN	2014/09/19	07:23
	VK9AN	2014/09/22	08:02
	VK9AN	2014/09/26	07:54
	VK9AN	2014/10/01	08:53
	VK9ANH	2007/11/04	07:34



③ 「F12」を押す

完全一致 検索		部分一致 先頭一致	VK9AN
QRZ.COM	HAMQTH	IK3QAR	VK9AN
↑	コールサイン	日付	時間
▶	VK9AN	2014/10/01	08:53
	VK9AN	2014/09/26	07:54
	VK9AN	2014/09/22	08:02
	VK9AN	2014/09/19	07:23

## 先読み P-46

## 先読み時の局の選択(「↑、↓」キーの活用)

キーボードの「UP・DUN」ボタンで表示局を選択できるようにしました。

選択後に「エンターキー」を押すとそのコールサインを読み込み検索を実施します。

(検索モード(黄色)ではリターンキーでカレントキーレコード行を読み込みます。(検索モードを抜けるには最後にスペースを入れる))

- 1 「TA」入力後に「↓」下矢印キーを4回押した状態 (カーソルキーで局を選択できます。)

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	7ツリ...	DX...	名前等	住所	マ...	P
	TA0/F5SNY	2003/08/29 15:08	SSB	14.263	59	59	TA	390		TURKEY		
	TA0/Z31MM	2002/05/22 12:09	RTTY	21.087	599	599	TA	390		TURKEY		
	TA0S	2001/07/21 22:49	SSB	18.122	59	59	TA	390		TURKEY	DL6DB	
	TA1/DJ8QP	2004/09/04 19:26	CW	10.115	599	599	TA	390		TURKEY		
▶	TA1A	1988/10/09 07:19	SSB	28.	59	59	TA	390	MUSTAFA	イスタンブ...		
	TA1C/2	2012/02/25 05:17	CW	21.021.0	599	599	TA	390		TURKEY		
	TA1C/2	2012/03/07 07:25	CW	14.020.4	599	599	TA	390		TURKEY		

- 2 エンターキーを押した状態 (黄色の状態ではエンターキーを押すとそのコールサインを取得して検索を実施します。)

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	7ツリ...	DX...	名前等	住所	マ...	P
▶	TA1A	1988/10/09 07:19	SSB	28.	59	59	TA	390	MUSTAFA	イスタンブ...		

★ 重要テクニック ★

スペース挿入

★ キーボードのみでの先読み中からの抜け出し(先読み該当局が無ければ検索モードへ移行)

先読みがヒットしている間は「黄色」の状態ですが、ヒットなくなると先読みを中止して検索モードになります。

強制的に中止するには「スペース」を最後に入力します。(検索時には自動でスペースは削除されますので検索に影響は在りません)

上記1で「TA1A」の局を検索する場合、「TA1A」を抽出してしまいます。(この場合は「TA1A」+「スペース」としてください。)

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	7ツリ...	DX...	名前等	住所	マ...	P
▶	1A0C	2012/07/02 13:55	CW	21.028.5	599	599	1A	246	THE	MALTA, S...		
	1A0C	2012/07/02 14:24	SSB	18.145.0	59	59	1A	246	THE	MALTA, S...		
	1A0C	2012/07/02 16:01	RTTY	14.080.0	599	599	1A	246	THF	MAI TA. S...		

# ファイル内容確認 P-47

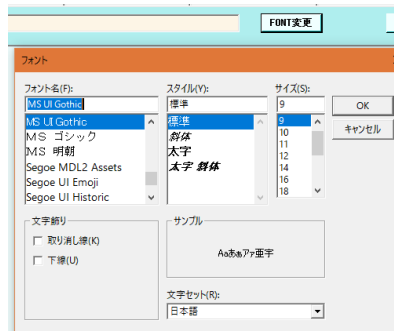
(\*.TXT、\*.ADI の修正方法)

## 各テキスト等の修正方法

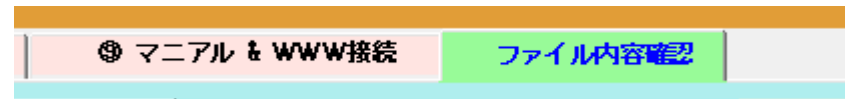
- ① 「取込ファイル選択・取込」をクリック
- ② 取り込みたいファイルを選択して「ダブルクリック」または、「シングルクリック」+「開く」ボタン
- ③ ファイル名が取り込まれてそのテキストが表示される  
内容の確認・修正を行う
- ④ 書換登録で元のファイルに書込み  
ファイル名を変更すれば新規ファイルとして登録可能
- ⑤ 確認のみの場合はそのままOKです。

※ ファイルはオープンしてテキストに取込後ただちにクローズしていますので書込みまでは元のファイルには影響がありません。

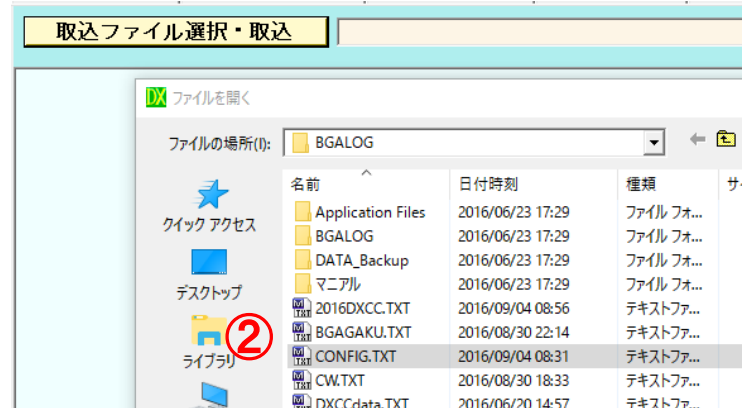
※ 修正方法は「P-16 ② CONFIG.TXTの修正」を参考にしてください。



フォントは初期表示「14ポイント、ゴシック」で表示されますが、「font変更」での変更が可能です。



①



取込ファイル選択・取込 C:\¥BGALOG¥CONFIG.TXT

このファイルが同一フォルダーにある場合はプルダウンの順番は読込順となります。

注意事項：  
プルダウンの順番は読込順となります。

先頭の1文字目で記号（コマンド）とREM（注釈）「く」は記号とみなし「スペース」又は、「'」の場合

各コマンドの最初にプルダウン項目の初期化記号「この記号がない場合は、標準データに追加されます」周波数は3ケタ以上でメガヘルツにドットを入れて

ファイル内容確認

④

書換登録

① メイン画面 ② IOTA管理 ③ JCC管理 ④ 学習管理 ⑤ DXCC管理 ⑥ マネージ+管理 ⑦ LOTW等DB処理 ⑧ 複合検索と書換 ⑨ マニュアル&WWW接続 ⑩ ファイル内容確認

取込ファイル選択・取込 C:\¥BGALOG¥MSG.TXT 書換登録 FONT変更 取込クリアー shift\_jis:932 ファイル削除

定型テキスト直接表示 MSG.TXT 登録分DT\_Backup 業務日誌修正履歴 エラーテキスト BGAMANAGER.TXT BGAGAKUSUYO.TXT 当年DXCC.TXT eDSL\_ADI lotreport\_adi 白鳥CALL\_ADI

下記テキスト内の文字列検索（入力後エンターキー）

登録が完了しました。次の内容を確認して下さい。  
(DIGITAL(RT\*, PS\*, RO\*, JT\*, OL\*, FT\*)は全て表現上「DATA」⇒「RTTY」として表示しています。)  
記号：R=処理済、C=コールサイン、周波数、モード、時間、不一致、(直接手動で修正が必要です。)

NO	記号	コールサイン	LOTW一致日	時間	バンド	モード	記号内容説明
1	R	ZP5DNB	2018/01/29	00:30	14.074.0	RTTY	登録しました
2	R	N7GYL	2018/01/29	00:42	14.074.0	RTTY	登録しました

## 業務日誌修正 P-48

## 業務日誌（DBグリッド）欄の修正

色の違いにより修正、非修正が異なります。

修正モード(マウスクリック時)

修正可能 (黄色+空色)

T	R	L	備考1	JCG	GL
			LOTW=OK		CG55UN
			LOTW=OK AA-TEST-40		OL62RF
			LOTW=OK		CG55UN
			BORN=1952		PJ77GL
			LOTW=OK ?QSO		CG55UN
					OJ11NT
			LOTW=OK		OL62RF

非修正モード(マウスがDBGから離れた場合)

修正不可(黄色+オレンジ色)

T	R	L	備考1	JCG	GL
			LOTW=OK		CG55UN
			LOTW=OK AA-TEST-40		OL62RF
			LOTW=OK		CG55UN
			BORN=1952		PJ77GL
			LOTW=OK ?QSO		CG55UN
					OJ11NT
			LOTW=OK		OL62RF

※ これは不用意に項目の内容を修正・削除しないために設定しています。

修正を行うには、マウスでその項目を選択した後は、DBG（データグリッド）内から移動しない様にしてください。

項目内の位置を修正（挿入・削除）する場合

項目選択後に再度その位置をクリックしますとリバーズ状態（項目全体書換モード）から次の様にリバーズが外れてその位置にカーソルが表示されます。

リバーズ無しの挿入モード ⇒

			LOTW=OK		
			LOTW=OK AA-TEST-40		
			LOTW=OK		
			BORN=1952		



## 質問の多い内容 P-49

### ★ システム全体のバージョンアップ方法等

データについては終了時等に日付別等のバックアップを取っています。  
このため、すべてのデータが飛んでしまうことはないと思います。  
しかし、プログラムと環境設定のバージョンが異なるとエラーが発生します。  
極端な場合はハングアップしてしまいます。  
そのような場合に対応するためフォルダごとのバックアップを実施してください。

### ★ システム全体のバックアップ

- ① バージョンアップ案内のメッセージ ⇒ はい
- ② コピー確認 ⇒ はい
- ③ BGA\_JIPにより バージョンアップ

### ★ 環境設定に失敗した場合等、動作不全時の対応

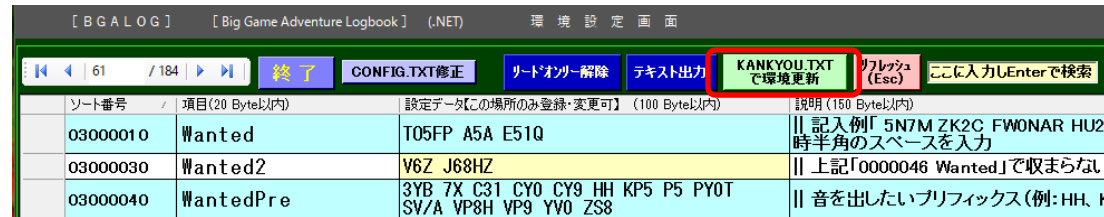
- A B G A L O GフォルダーをUSB等の異なるメディアに「移動」
- B 退避している「BGALOG\_BK」を「BGALOG」に変更で元に戻ります。
- C この時アップデートを行わないで継続使用してください。
- D 状況をJ A 5 B G Aまでレポートしてください。

### ★ 単独での全バックアップの方法 全バックアップにより実施



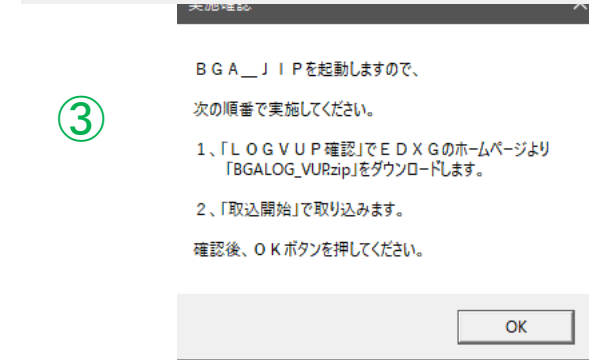
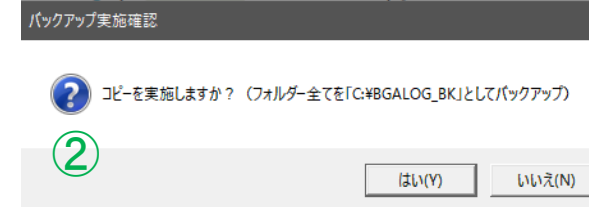
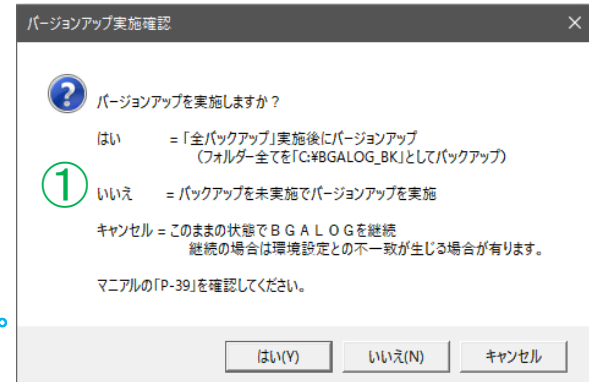
### ★ 環境設定の自動バージョンアップ

右により実施してください。  
通常は自動で実施されますが、必要に基づき実施してください。



### ★ 音声発生中の作業について

別のタスクで実施しています。音声が続いている場合、音声のタスクでの待ち行列に入っているだけで気にしないで次の作業を実施してください。(単に音声のみが待ち行列となっているのみです。)



# 質問の多い内容 P-50

## ★ 各バックアップの特徴

現在バックアップには「①全バックアップ」、「②日付別バックアップ」、「③通常バックアップ」、「④別フォルダーバックアップ」があります。その内容をここに整理しておきます。

### ① 全バックアップ

「BGALOG」を「BGALOG\_BK」に名前を変更してフォルダーそのものをバックアップします。

※ アップデートを失敗した場合に「BGALOG\_BK」を「BGALOG」とリネームすることによりそのまま使用できます。

### ② 日付別バックアップ

「BGALOG.ACCDB」をプログラム終了後に「BGALOGbackup」フォルダー内に日付をつけてバックアップします。

※ データファイルが壊れた場合や誤って作業をした場合にその時点までさかのぼりますがデータの復旧が可能です。

### ③ 通常バックアップ

「BGALOG.ACCDB」をプログラム終了後に「BGALOGbackup」フォルダー内にバックアップします。

※ 絶えずオーバーライトして保存され、ファイルが壊れた場合や誤って作業をした場合にデータの復旧が可能です。

### ④ 別フォルダーバックアップ

「BGALOG.ACCDB」を環境に指定の別のUSB等のドライブへバックアップします。

※ 絶えずオーバーライトして保存され、ファイルが壊れた場合や誤って作業をした場合にデータの復旧が可能です。

## ★ 補足説明

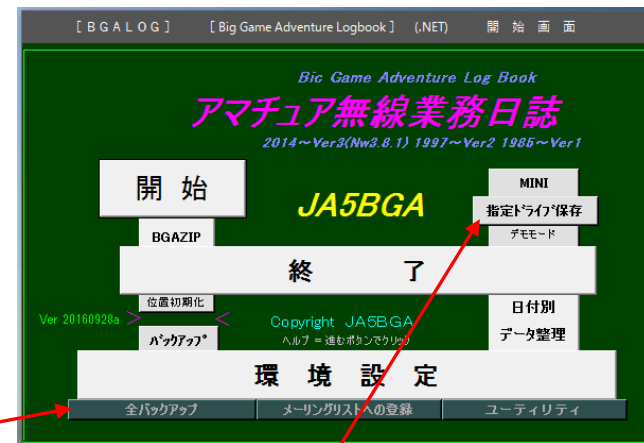
②③については終了時に登録方法（保存・非保存）を選択して実施されます。

ミスをした場合には「保存しない」を選択してください。

※ 特に①③については、絶えずオーバーライトしますので作業ミスに対しては保存を行うとミス分を上書きされ保存の意味がなくなります。

※ ②については、翌月の初回BGALOG起動時に一定件数以上の古い保存を自動的に削除します。

※ プログラム内で検索して自動書き換えなどを実施する場合は、①、④などで実施前のデータを保存しておくことをお勧めします。



# 質問の多い内容 P-51

## ★ メイン画面でのカラー

## ★ ボタンのバックカラー

- ピンク** : ボタン上のマウス位置
- オレンジ** : 業務日誌内各項目検索 : 非選択状態
- その他** : 各ボタンを区別し、説明を容易にするための色
- ※ 極力類似のものとし、重要度に合わせた色にしています。

## ★ テキストボックスのバックカラー

- ライトイエロー** : 交信済みのコールサイン先読み中 : ワーク欄、星取表、プリフィックス等は未検索の状態です。
- 水色** : テキスト選択書き込み中等作業中の状態 : ワーク欄、星取表、プリフィックス等是不完全な場合があります。
- グリーン** : テキストボックスの上記以外の状態 : 登録はこの色の状態で登録してください。
- その他** : テキストを目立たせて区別し、説明を容易にするための色 : 極力類似の色としています。
- ※ アップデートを失敗した場合に「BGALOG\_BK」を「BGALOG」とリネームすることによりそのまま使用できます。

## ★ データベースグリッド (DBG) のバックカラー

- 黄色&オレンジ** : 通常の状態と誤記入を防ぐための込み禁止状態
- 黄色&水色** : DBGクリックした場合の書き込み修正モードです。(直接編集モード)
- 水色反転** : 「▶」カレント行、カレント位置
- ※ 直接編集モードでの削除は半角のスペースを入れてください。削除するとヌル状態でその後の検索に失敗します。

HRS ▾	MRS ▾	Prefix	DXn	名前
599	599	H4	185	
マルチ行	備考2検索	マルチ行	学習	




↑	コールサイン	日付 時間
▶	H44GC	2016/10/03 09:13
	H44GC	2016/10/03 07:20
	VK9NZ	2016/10/03 07:13
	H44GC	2016/10/02 23:25
	VK9NZ	2016/10/02 23:25

↑	コールサイン	日付 時間
▶	H44GC	2016/10/03 09:13
	H44GC	2016/10/03 07:20
	VK9NZ	2016/10/03 07:13
	H44GC	2016/10/02 23:25
	VK9NZ	2016/10/02 23:25

GC	2016/10/02 02
備考2	SOLOMON ISLANDS

データベース連動表示部分

無線機	パワー	相手移動地	自局移動地	M off
IC-7800	400		51	

# 使用ファイル P-52

## ★ BGALOGでの使用ファイル

### EXEファイル（プログラムファイル）

- BGALOG.exe BGALOGのプログラムファイル
- BGAZIP.exe BGALOGバージョンアップ用ファイル
- BGAZIP\_UP.exe バージョンアップ用ファイルのアップデート用ファイル

### フォルダー（バックアップ用）

- C:\¥BGALOG¥backup (BGALOG.ACCDBの保存先、その他 毎回自動で保存される場所)
- C:\¥BGALOGbackup (終了時に日付選択時の保存先)
- C:\¥BGALOG\_BK (全バックアップの保存先)

### ACCDB（アクセスデータベース形式ファイル）

- BGALOG.ACCDB (メインのデータベースで最重要ファイル、\* 9)
- 業務日誌、カントリーリスト、JCCリスト、IOTAリスト、パデーション、環境ファイル・等9本の集合ファイルで構成

### TXT（作業用：BGALOGフォルダー内）

- コールサイン.TXT (各種レポート報告用ファイル、\* 0)
- 20\*\*DXCC.TXT (年間DXCC管理ファイル、等概念\* 1 9、前年度分は、\* 0)
- BGADXCCLIST.TXT (DXCCファイル修正用、\* 2)
- BGAGAKUSYU.TXT (学習ファイル修正用、\* 2)
- BGAMANAGER.TXT (メッセージファイル修正用、\* 2)
- CONFIG.TXT (環境設定用プルダウンメニュー等設定、\* 9)
- CW.TXT (CWラバースタンプ設定用、\* 7)
- DXCCdata.TXT (DXCCレポートとして作成したファイル、\* 0)
- HENKAN.TXT (GMT、JST変換時に確認用として作成したファイル、\* 0)
- iotaBGA.TXT (IOTAファイル修正用、\* 2)
- KANKYOU.TXT (環境ファイル修正用、\* 8)
- KEN\_ALL.TXT (郵便番号変換ファイル、\* 9)
- KEYPAD.TXT (ICOMリグキーパッド変更用ファイル、\* 6 9)
- MSG.TXT (メッセージファイル確認用、\* 0)
- QSLFORM\*.TXT (QSLカード作成用フォーマットファイル、\* 6 9)
- Recall.TXT (検索履歴保存ファイル、\* 0)
- RIREKI.TXT (業務日誌修正履歴ファイル、\* 0)
- RSYUCHI.TXT (JCC関係市町村、温泉地等、確認用に必要なファイル、\* 9)
- WASAHF.TXT (WASAHF管理用ファイル、\* 3)
- 登録分DT\_Backup.TXT (データ追加経歴ファイル、\* 4)



### ファイルの後の記号「\* 数値」の意味

- \* 0 : 一時ファイル  
使用確認後は不要なファイル
- \* 1 : 自動作成されます
- \* 2 : メンテナンス用一時ファイル  
バージョンアップ時に配布
- \* 3 : 管理をしている方のみ必要なファイル
- \* 4 : 業務日誌に登録時に自動作成&追加されますが  
正常に終了後は不要なファイル
- \* 6 : 使用する方のみ必要なファイル  
自分で作成したもの以外は不要
- \* 7 : 使用する方のみ必要なファイル  
使用しない場合でも残しておいてほしいファイル
- \* 8 : 使用確認後は不要であるが、メンテナンス管理  
上必要なファイル。バージョンアップ時に配布
- \* 9 : 作業用で必ず必要なファイル

### ADI（作業用：BGALOGフォルダー内）

- コールサイン.ADI (QRZ.COM等への転送用ファイル、\* 0)
- BGALOG.ADI (ユーティリティでの出力ファイルでメインオプション  
で取り込みます。\* 0)
- lotwreport.adi (LOTWからの取込ファイル、\* 0)

※ 基本的にADIファイルは処理終了後不要なファイルです。

# 複合検索 P-53

## ★ メイン画面での複合検索

### AND検索の例

条件例: 「21」メガの「CW」で「ZL7」を検索

- 1 絞込にチェックを入れる
- 2 周波数に「21.」を入れ「モード検索」をクリック
- 3 モードに「CW」を入れ「周波数検索」をクリック
- 4 プリフィックスに「ZL7」を入れ「Prefix」をクリック
- 5 絞込のチェックを外す



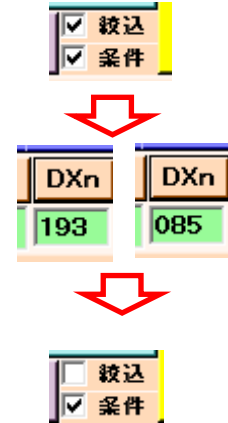
名簿 (F6)	W消去 (F7)	モード検索	周波数検索	期間指定検索		DXCC番号	DX...	名前等
		モード	周波数	HRS	MRS		Prefix	
		CW	21.	599	599		ZL7	
		備考1検索		マルチ行	備考2検索		マ	
モード	周波数	HRS	MRS	7777...	DX...	名前等		
CW	21.024.0	599	599	ZL7	034	SIX GS CHA... CI		
CW	21.007.0	599	599	ZL7	034			
CW	21.024.0	599	599	ZL7	034			
CW	21.030.0	599	599	ZL7	034			
CW	21.000.0	599	599	ZL7	034			

### OR検索の例

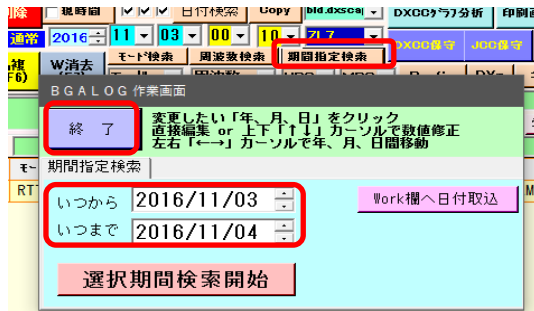
条件例: 消滅した「KR6」及び「PJ2」を検索

- 1 絞込にチェックを入れる
- 2 DXCC番号に「193」を入れ「DXn」をクリック
- 3 DXCC番号に「085」を入れ「DXn」をクリック
- 5 絞込のチェックを外す

(通常このような検索はしないと思いますが、参考例です。  
このように同じ場所に異なるデータを入れて検索することもできます。)



7777...	DX...	名前等
・PJ2	085	2010/10消
・PJ2	085	2010/10消
・PJ2	085	2010/10消
・PJ2	085	2010/10消
・KR6	193	SEIZI
・KR6	193	SEIZI



← 期間を含み設定できます。(終了ボタン押下で条件に取込)  
条件はいつから(以上) ~ いつまで(以下)

★ 検索の条件数に制限は在りません。  
より複雑な検索は複合検索にて直接コマンドを記入して実施してください。

★ ここでの検索は複合条件のテキストに書き込みますのでAND、OR、NOT、等を含めた複雑なコマンドに変更して活用してください。

# データベースの修復方法 P-54

目次1へ

この例は11月1日までの業務日誌は正しい、11月2日以降のデータが問題であった場合復帰方法を記載します。 **[全てUSB等にバックアップを取っておいください。]**

## 1 ユーティリティで11月2日以降のデータをADIFに取り込み

- 開始画面 ⇒ ユーティリティ ⇒ 「初期化・インポート・エクスポート」  
いつからに「2016/11/02」、いつまでに「9\*\*\*/」を記入 ⇒ ボタンをクリック  
以上で「BGALOG.ADI」が作成されるので確認をしておく

## 2 正しい11月1日のデータをBGALOGフォルダーに上書きする

## 3 メインやオプション画面の外部ソフトからの取込を実施

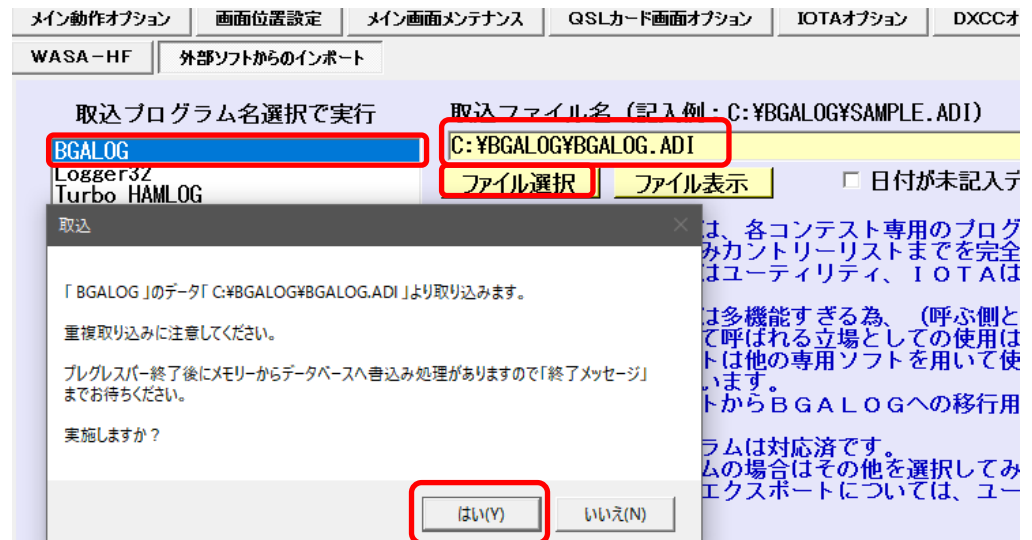
- メイン画面 ⇒ 外部ソフトからのインポート ⇒ ファイル選択  
⇒ 「C:¥BGALOG¥BGALOG.ADI」を選択  
⇒ テキストのBGALOGをクリック  
⇒ 「はい」をクリックで取込が終了

## 4 取り込んだ内容を確認

LOTW処理、QSL発送、などデータを確認して修正が必要な場合は補正してください。

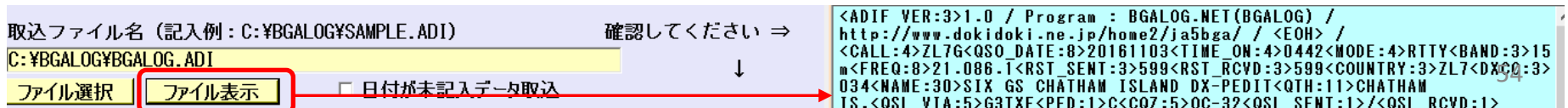


日付はBGALOG  
への記載と同じ  
2016/11/09  
06:48 形式



## 参考

ファイル確認でADIFの中身を確認ができます。



```
<ADIF VER:3>1.0 / Program : BGALOG.NET (BGALOG) /
http://www.dokidoki.ne.jp/home2/ja5bga/ / <EOH> /
<CALL:4>ZL7G<QSO_DATE:8>20161103<TIME_ON:4>0442<MODE:4>RTTY<BAND:3>15
m<FREQ:8>21.086.1<RST_SENT:3>599<RST_RCVD:3>599<COUNTRY:3>ZL7<DXCC:3>
034<NAME:30>SIX GS CHATHAM ISLAND DX-PEDIT<QTH:11>CHATHAM
IS.<QSL_VIA:5>G3TXF<PED:1>C<CQZ:5>OC-32<QSL_SENT:1>/<QSL_RCVD:1>
```

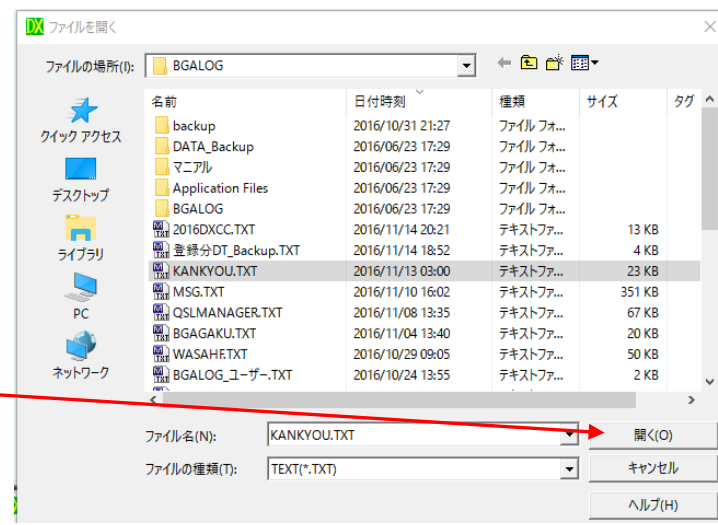
# 質問の多い内容 P-55

## ★ テキストファイルの内容を確認したい

- 1 取込ファイル選択・取込をクリック  
表示したいファイル名をクリックします。  
初期は「TXT」となっていますのでその他のファイルは、ファイル名をクリックしてファイルの種類を変更してください。
- 2 開くボタンでデータを表示します。

## ★ 専用ボタン

よく使用されるとされるものについては、専用ボタンを設けています。



NO	記号	コールサイン	LOTW一致日	時間	バンド	モード	記号	内容説明
1	R	ZP5DNB	2018/01/29	00:30	14.074.0	RTTY		登録しました
2	R	N7GYL	2018/01/29	00:42	14.074.0	RTTY		登録しました
3	R	KK6NON	2018/01/29	01:33	14.074.0	RTTY		登録しました
4	R	RZ3DX	2018/01/14	20:16	1.840.0	RTTY		登録しました
5	R	UR5LAK	2018/01/21	19:55	1.840.0	RTTY		登録しました
6	R	A71AM	2018/01/21	13:52	10.136.0	RTTY		登録しました
7	R	HB9JNM	2018/01/15	07:52	10.136.0	RTTY		既にLOTW登録済

## ★ 元のファイルを修正して書き込む

- 3 テキストボックスの内容変更  
適宜変更します。
- 4 書換登録ボタンで上書きします。
- 5 別名で登録  
ファイル名を適宜変更して書換登録ボタンをクリックします。



# カントリーリスト P-56

## ★ カントリーリストの印刷

カントリーリストの印刷には2つの方法があります。

### ★ マスターカントリーリストの印刷

- 1 「⑤ DXCC管理」
- 2 カントリーリスト印刷



### ★ 検索結果カントリーリストの印刷

- 1 「DXCCグラフ分析」
- 2 「DXCC・QSO カウント」
- 3 「DXCCリスト印刷」にチェックを入れるボタンをクリック



## 以下出力サンプル

### DXCC カントリーリスト

プリフィックス	カントリー	M	S	C	R	1								
		I	S		T	6	8	4	3	2	1	1	1	0
		X	B	W	Y	0	0	0	0	0	7	5	2	0
7O	YEMEN	R	R	R						R	T	R	R	R
7P	LESOTHO	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R
7Q	MALAWI	R	R	R	R		R	R	R	R	R	R	R	R
7X	ALGERIA	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	T	T	T
8P	BARBADOS	R	R	R	R		T	R	R	R	R	R	R	R
8Q	MAIDIVE IS	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	T



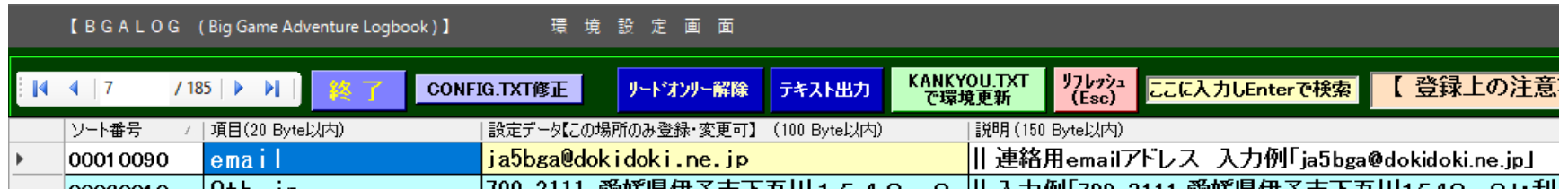
# 自動エラーメッセージ P-57

## ★ 自動エラーメッセージ送信設定方法

これを設定するには、環境設定の（00010090 email）にメールアドレス、を設定する必要があります。

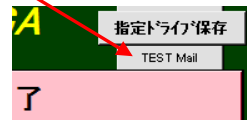
## ★ 設定場所

次に自局のメールアドレス、を設定するのみで完了です。



## ★ 設定した内容の確認

完了確認「TEST Mail」をクリック  
で「送信しました」の音声が入れば完了です。



## ★ どのようなときに送信されるか、

- ・ エラーが発生した場合にその内容を自動で送信します。  
今後の安定性の向上に向けてそのエラーを修復していきます。  
ユーザーの方のデータが壊れた場合などにも早期発見ができます。
- ・ 学習登録を行うと自動で送信します。  
バージョンアップ時に全員が正しいプリフィックスを共有できます。
- ・ 今後有効な内容があれば拡大していきます。

# 消滅カントリー P-58

DXCCリストについては、消滅、追加時に「BGADXCCLIST.TXT」により自動補正されます。

## 消滅カントリーの扱い

プリフィックス	DXno	ゾーン	エンティティ	GL	時差	KM	SP	LP	MIX	SSB	CW	RTY	19	35	7	10	14	18	21	24	28	50	備考
・KH5K	134	OC-31	KINGMAN REEF	EM25TI	-20	7306	98	278	R	R	R				R		R	R	R	R	R		Photo/
・KR6	193	AS-25	OKINAWA						R	R					R								Photo/
・KSA	261	NA-07	SWAN IS																				

消滅カントリーの発信データの自動登録は残念ながら作成していません。(次を例に個々に登録してください。)

判定を行うには消滅月日、学習機能によりチェックして消滅への登録を行う必要がありますが、全ての消滅月日が不明であることとこの機能を取り込むとすべての検索時に消滅チェックを行うこととなり検索時の負担が大きくなることから、作成していません。

ただし、一部のデータについては、学習機能の中にデータを登録しています。

## カントリーの登録

上図の様にプリフィックスに半角の「・」をつけて管理しています。

## 局名の管理

下図の様にプリフィックスには半角の「・」をつけて管理し、DXCC番号に消滅の番号をつけて管理していますが、コールサインについては、その状態で管理します。

(件数等の管理については、このプリフィックスやDXCC番号により分類しています。)

検索準備 F1 F2(Check)  登録(F8) 全複写(F5) 局名複写(F6) W消去(F7) モード 周波数 HRS MRS Prefix DXn 名前等 検索 マネージャ 住所検索 P ゾーン JCC GL IOTA 無線機

完全一致検索 部分一致先頭一致 3B8/DJ7RJ CW 10.108.0 599 599 検索 マルチ行 備考1検索 マルチ行 備考2検索 マネージャ取得先 Edit T R LOTW 相手移動地 自局移動地 申請

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	プリフィックス	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	ゾーン	T	R	L	備考1	JCC	GL	IOTA	申請
▶	AD0S/KH5K	1981/04/17 16:04	SSB	21.	59	59	・KH5K	134		KINGMAN ...			OC-31	T	R	/	KINGMAN REEF			OC-096	
	K5K	2000/10/24 13:04	CW	7.003	599	599	・KH5K	134		KINGMAN ...	K4TSJ		OC-31	T	R	R.				OC-096	
	K5K	2000/10/26 13:00	SSB	14.195	59	59	・KH5K	134		KINGMAN ...	K4TSJ		OC-31	T	R	R.				OC-096	
	K5KLA	1999/06/19 10:33	CW	14.	599	599	・KH5K	134		KINGMAN ...			OC-31	T	R	/	55 * 1			OC-096	
	K5KLA	1999/06/20 23:53	CW	21.	599	599	・KH5K	134		KINGMAN ...			OC-31	T	R	/	55 1			OC-096	

ここへ消滅のDXCC番号を入力してリターンキーで消滅カントリーが表示されます。  
DXCC番号とプリフィックスは連動しています。

# 交済データからカンントリーリストを整備 P-59

## 交済データからカンントリーリストを整備する。

業務日誌に登録しているDXCC番号をもとにDXCCリストを整備します。  
作業は業務日誌が正しく整備されていることを前提に行います。

S	MRS	7777...	DX...	名前等
9	599	40	514	THOMAS M
9	599	0H	224	SANTA CLA
9	599	VK9N	189	IM TILLE
9	599	VK9N	189	IM TILLE
9	599	VK9N	189	IM TILLE
9	599	8Q	159	POLISH DX
9	599	8Q	159	POLISH DX
9	599	ZL7	034	HARU UCHI
9	599	ZL7	034	HARU UCHI
9	599	XX9	152	ALBERTO A
9	599	8Q	159	POLISH DX
9	599	LY	146	ALBERTAS
9	59	8Q	159	POLISH DX

- 1 編集したいカンントリーを選択  
いずれかボタン（プルダウン、カンントリー左右ボタン、等々で選択します。）
- 2 DXC保守（DXCC保守）ボタンをクリック
  - ・ 1カンントリーの未保守：クリックで実施確認があります。
  - ・ 連続保守：右のチェックボタンにチェックを入れます。

※ 消滅カンントリーも作業できます。



全リスト一括保守

直接記入クリック

- フリックス
- S9
- SM
- SP
- ST
- SU
- SV
- SV/A
- SV5
- SV9
- T2
- T30
- T31
- T32
- T33

UTC : 11 07:36 JST : 10/11 16:36:33  
 OC-31 T30 : 10/11 19:36:33  
 WEST KIRIBATI(GILBERT IS.)

JOTA	CW	PHONE	DIGITA	R	P	F	他	P
1.9	T30YA							GL地図
3.5	T30D	T30PY	T					RI69MA
7	T30D	T30PY	T					5719 Km
10	T30D	301	T30D	R				
14	T30KJ	T30D	T30D	R				
18	T30D	T30D	T30D	R				
21	T30D	T30D	T30D	R				
24	T30D	T30D	T30D	R				
28	T30D	T30D	T30D	R				
50	T30SIX							

DXc保守  JCC保守

自動記入

連続保守  
チェックON

当該カンントリーのみ保守

4.0 .FT8 HRS MRS Prefix DXn 名

10.0 59 59 T30 301 YUR

VIA YL2GN EQSL=[ NO ]

S	7777...	DX...	名前等	住所
0	T30	301	YURIS/YL2GM,	WEST KIRIBA
	T30	301	YURIS/YL2GM,	WEST KIRIBA

# 交済データからコントリリストを一括自動整備 P-60

## 交済データからコントリリストを一括自動整備する。

業務日誌に登録しているDXCC番号をもとにDXCCリストを整備します。  
作業は業務日誌が正しく整備されていることを前提に行います。

### ★ 最初にバックアップが実施されます。

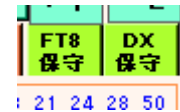
開始を実施すると終了まで止めることができませんので念のためバックアップが実施されます。

作業内容はメイン画面の



「DXcc保守 (P-49-1)」を全リストを自動化したものです。

### ※ 消滅コントリを含めてすべて実施されます。



全リスト一括保守(同一です)

オプション設定画面

メイン動作オプション 画面位置設定 メイン画面メンテナンス IOTA 保守・再構築 DXCC 保守・再構築 読売アワード WASA-HF JCCオプション

ユーティリティ 初期化 外部ソフトからのインポート エクスポート JARL30周年記念

進捗状況表示

★★★ DXCCリストをメンテナンス ★★★

★ ②の処理を行った場合は、④を合わせて実施することによりDXCCリストが交済登録したデータにより再整備されます。

① DXCCファイルメンテナンス  
「BGADXCCLIST.TXT」に基づきDXCCファイルを更新します。  
QSO結果「T」「R」「コールサイン」については、変更を行いません。  
DXCCコントリリストが変更等で新しいテキストファイルがアップされた場合に実施してください。  
(通常は、自動でアップデートされるので使用しません。)

② 消滅登録以外の交済データのDXCC更新  
消滅コントリとして登録しているデータ以外の全ての交済データのDXCCを現在の学習機能により「プリフィックス、DXCC番号」を更新登録します。  
また、学習機能の中の特別局として消滅コントリの場合は、プリフィックスの前に「-」を附して消滅コントリとして登録します。  
※ プレグレスバーの終了後、データ量によりマスターファイルへ書き込むために相当な時間がかかります。  
終了のメッセージまで他の作業を行わないでください。

③ DXCCコントリリストを一括再構築します。  
交済登録局のDXCC番号に基づきDXCCリストを再構築します。  
(「R」「T」「コールサイン」をDXCCリストに登録します。)  
実施時に自動でフォルダーごとのバックアップを実施します。  
念のためUSB等にも「BGALOG.ACCDB」を保存しておいてください。  
(コントリ毎の個別修正はメイン画面の「DXCC保守」で実施)

④ 不正データの抽出  
登録内容不足による不正と思われるデータを抽出して表示します。

⑤ コントリリストをエクスポートします。

① DXCCLIST.TXTファイルによりメンテナンス  
データ部分を除く Prefix、DXCCno、Zone、Country、Gl、Time、Km、Sp、Lp、bureau、Memo を更新

③ DXCCコントリリスト再構築  
登録済業務日誌の全てのデータにより再構築  
作業内容  
(1) DXCCリストを初期化(データ部分の削除)  
(2) 登録済業務日誌のDXCC番号よりDXCCリストを再構築  
※ 処理に数分～数十分を要します。

④ 不正データの抽出  
次の項目にデータが無いものを抽出します。  
コールサイン、日時、モード、周波数、プリフィックス、DXCC番号  
周波数にドットの無いものについては、「メイン画面メンテナンス」の「不正データ抽出(周波数、モード)」を実施してください。

⑤ DXCCLIST.TXTファイルエクスポート  
(JA5BGA用です)

② 消滅登録以外の交済データのDXCC更新  
最新の学習機能によりプリフィックス、DXCC番号を書換  
※ 数分～数十分を要します。  
「全て終了」のメッセージまでお待ちください。

★ 要注意 ★  
消滅コントリ(プリフィックスに「-」のあるもの)についてはそのコントリ、DXCC番号を変更しません。

60

# アクセスによるデータベースによる修復とコンパクト化 P-61

- 1 「BGALOG.ACCDB」をダブルクリックします
- 2 「セキュリティの警告」  
これが出ましたらコンテンツの有効化をクリックします。
- 3 ファイルをクリック
- 4 データベースの最適化/修復をクリック
- 5 すべて終了させる
- 6 結果確認

11.1MB ⇒ 9.19MB  
にコンパクト化されました。

※ ここでの作業は削除したデータの残骸や一時ファイルが削除され、ヘッダー等のデータベースが修復されますが、破壊されたファイルの修復は行いません。

データベースのバックアップ等を各自でUSB等へこまめに作成保管する必要があります。  
プログラム終了時の日付別保存を行うことで最小限の復帰は実施できます。

アクセスそのものはBGALOGには不要です。(ACCDBエンジンが代用します。)  
アクセスのデータベースと同じDB形式をしているのみですので、お持ちの場合にのみ実施してください。  
ただし、2017以降のものが重要です。  
お持ちでない場合は当方へお送りください。

## 実施前

BGALOG	.exe	40.2 MB	15
BGALOG	.ACCDB	11.1 MB	15
...	...	...	...

## 実施後

BGALOG	.ACCDB	9.19 MB	15
...	...	...	...

セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。 **コンテンツの有効化**

すべての Access...

Callsign	DateTime	Mode
JA7	1963/09/11 19:00	AM
JA4COO	1964/01/02 00:55	AM
JA6DBE	1964/01/04 14:20	AM
JA5RHF	1964/03/00 02:00	AM

BGALOG : データベース- D:\YBACKUP\日付別W2015

情報

**BGALOG**  
D: > BACKUP\日付別 > 201512 > BGALOG

**最適化と修復**  
最適化/修復は、データベース ファイルの問題の予防や修正に役立ちます。

パスワードを使用して暗号化  
パスワードを使用してデータベースへのアクセスを制限します。2007 Microsoft Access 以降のファイル形式を使用しているファイルは暗号化されています。

# 時間、期間、関連検索 P-62

## 日付検索

「検索対象」に一致した日付を検索  
 年月を抽出＝「年月」にチェック  
 その日を抽出＝全てチェック

現時間

クリックで現在時間に更新  
＝登録時に現時間で登録  
＝そのままの時間で登録

### 注意:

- ・FT8等のコールサイン取込時には取込時の時間で取込
- ・全複写ボタンをクリックするとONに設定
- ・上書きボタンではONとしそのまま取込

## 検索対象

左から「年、月、日」  
 を検索対象に指定

## 適宜な日付範囲指定検索

「いつから」「いつまで」にチェックして検索  
 開始で検索します。  
 各項目数値は「↑↓←→」キーで移動変更  
 出来ます。



このスクリーンショットは、検索対象の年、月、日を選択するためのインターフェースを示しています。2019年12月9日（09）が選択されています。検索モードとして「W消去」、「モード検索」、「周波数検索」、「期間指定検索」が利用可能です。

BGALOG 作業画面

このダイアログボックスは、検索期間を指定するためのものです。検索開始日（いつから）は2016/11/17、検索終了日（いつまで）は2016/12/16に設定されています。検索を開始するには「選択期間検索開始」ボタンをクリックします。

## 年～分

直接書換又はプルダウンメニュー  
 から選択して登録

## その他の時間処理

### 複合検索

期間と条件を複合的に  
 加えて検索できます。

このダイアログボックスは、検索条件をさらに絞り込むためのものです。検索期間（いつから～いつまで）は2016/01/01～2016/12/16に設定されています。検索場所（どこが）として「検索条件」が指定されています。また、「先頭に「\*」を入れる」と「末尾に「\*」を入れる」のオプションがあります。

## 適宜ワーク欄の各項目に書き込み

「いつから」「いつまで」にチェックして検索  
 開始で検索します。

このスクリーンショットは、検索モードを選択するためのボタン群を示しています。現在「複合検索」モードが選択されています。

## 絞込検索活用検索

これを込み合わせて各種の項目が検索できます。62

# モード、周波数使用時の注意事項 P-63

(及び、モード、周波数欄の活用)

## テキストボックスのモードにより検索

## 周波数により検索

バンドを検索する場合は下のテキスト欄へ「3. 5(3.5Mhzのみ)」、「3. (3.メガMhz 全て検索)」、「5 (50メガMhz全て検索)」の・・・様に入力  
各検索は前方一致となります。

## リグがコントロールされる場合の条件

テキスト欄に正しい周波数が入力された場合にのみテキストボックスから抜け出す瞬間(水色⇒緑色)にリグをコントロールします。  
正しくない状態で抜け出すと訂正モードから通常モードに変更されますので、結果としてリグの周波数に戻ります。  
リグコントロールを行っていない場合は、最低入力を満たしていれば入力どおりとなります。

モードを選択  
リグをコントロールしていれば自動的にリグのコントロールも変更になります。

JT65Aを選択またはJT65の周波数を入力すると次の様にデータモードが設定され、リグがUSB-D1となります。(アイコムのみ)



周波数検索	
7.074.0 .FT8	
7.074.0 .FT8	
7.075.0 .FT8	
10.136.0 .FT8	
14.074.0 .FT8	
18.100.0 .FT8	
21.074.0 .FT8	
24.915.0 .FT8	
28.074.0 .FT8	
50.313.0 .FT8	
7.041.0 .FT8	
3.575.0 .FT4	
7.047.0 .FT4	
10.140.0 .FT4	
14.080.0 .FT4	
18.104.0 .FT4	
21.140.0 .FT4	
24.919.0 .FT4	
28.180.0 .FT4	
50.318.0 .FT4	
50.310.0 .FT4	
7.076.0 .JT65	
10.138.0 .JT65	
14.076.0 .JT65	
18.102.0 .JT65	
21.076.0 .JT65	
24.917.0 .JT65	
28.076.0 .JT65	
50.326.0 .JT65	

## F T 8等を運用する場合

「CONFIG.TXT」に左の周波数を追加すればリグのモード変更などが容易になります。

「CONFIG.TXT」の修正登録方法は、「P-20」 CONFIG.TXTの修正を参照

環境は次を参照

```
02030110 rigModeRoff
02030130 rigModeRTTY
02030150 rigModePSK
02030170 rigModeSSTV
02030190 rigModeROS
02030210 rigModeJT65A
02030230 rigModeOLIVIA
```

## 周波数の入力(入力中の色、入力後の色)

周波数のメガHzを入力するまでこのテキスト欄からは抜け出すことができません。

正しい入力= 1 4 . 1 2 3 . 4

最低限入力= 1 4 . (ドット必須)

ホーク欄の各テキスト欄の色はフォーカスのある場所は水色、その他は緑色としています。

リグコントロールの状態(□=通常の状態・レ=訂正モード)

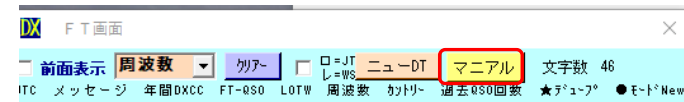
訂正モードの場合はリグをコントロールせず、リグからの情報をキャンセルします。

これらの設定は環境設定の状態により異なります。他の機種の場合はコマンド等を通知いただければ検討します。

## J T D X、W S J Tからのデータリンク等（通信データの取込）

次の別マニュアルをご覧になってください（FT8-JT65. pdf）

「FT画面」「F t O P t（FTオプション）」内からマニュアルをクリック



# FT「4・8」マニュアル

- 1 目次（このページ）
- 2 起動、終了、概要
- 3 オプション設定画面表示例
- 4 J T D X等からのログデータ自動取込
- 5 FT 8画面表示例
- 6 B G A L O G連携のためのJ T D X、W S J T-X設定例
- 7 J T D X、W S J T-X（異なるパソコン間転送、自宅内に2台のP Cがある場合の設定）
- 8 e Q S L、C Cとの連携
- 9 J T D X (W S J T-X)からのL O G取込に失敗した場合
- 10 J T D X、W S J T-XのL O Gマージ方法
- 11 J T D X、W S J T-Xのデータの場所、F T 8カラー等の設定例と表示例（P-21関連）
- 12 自分のI Pアドレスを調べる方法
- 13 デジタルモードの内訳確認（検索後の確認）
- 14 デコード時、検索時のD X C C内訳確認（デコードデータの内容確認）
- 15 F T 8を使用するためのデータベースの準備
- 16 J T D Xの設定と相互の表示例比較（P-11関連）
- 17 J T D X画面表示例
- 18 J T D X設定例
- 19 J T D X等のデータ内検索（デコードデータ、L O Gデータ、等々・・・）
- 20 J T D Xの並べてD X C C、過去のQ S O等を確認してQ S Oする方法の例
- 21 快適に使用するために

データ内容と追従する必要がありそのシーンの画面が取れないことから実際の画面と一部異なる部分がありますが了承願います。  
サブ画面についてはスピードを優先するため2019年からシンプルに変更しました。  
F T 8はF T「4・8」に読み替えてください。



テルネット画面のFT画面からFTマニュアルをご覧になってください。



DX FT画面

最前面表示 周波数 [クリアー] FT マニュアル 文字数 51

表示内容

---

TIME Message \*# L FRQ PRE 過去更新状況等

---

TIME = 取込時間  
 Message = UDP取込内容  
 \* = 左:年間DXCC(スハ°-ス=New Q=Qso)  
 # = 右:FT8QSO onry DXCC(T=Qso, R=Received, Space=New、 Frq  
 L = L O T W登録局(オプション表示)  
 FRQ = BGALOG(Frequency)  
 PRE = Option (Prefix, Entity, 非表示)  
 過去交信状況等(Option)  
 回 = 過去単純QSO回数  
 ★ = FT8テューブ° (Frq, mode)  
 ● = All DXCCリスト New (Frq, Mode)  
 交信内訳 = Frq, Mode<QSLT, QSLR>

DX FT画面

前面表示 周波数 [クリアー]  JT ニュー-DT マニュアル 文字数 46

UTC メッセージ 年間DXCC FT-QSO LOTW 周波数 カトリ 過去QSO回数 ★テューブ° ●ト°New

2615	JH4BYZ	YB9KA	-12	QR L	14. YB	
2615	JE1POK	<...>	R-19	QR	14.07	
2615	<...>	RU3FM	-20	QR L	14. UA1	2回 : 7.C
2615	VK3XZ	JA0AVS	RR73	QR L	14. JA	
2615	RV6F	BD7LMA	OL63	QR L	14. BY	1回★:14.F
<hr/>						
2630	JA7QM	K7GA	-20	QR L	14. K	
2630	JN4VRW	DU1DA	73	QR L	14. DU	
2630	CQ	BI7JMN	OL62	QR	14. BY	
2630	JI10UZ	KG6JDX	-12	QR L	14. KH2	5回★:50.F
2630	JF3RGS	DS2LOE	+02	QR L	14. HL	1回★:14.F
2630	JA1GLM	UA0JFG	P030	QR L	14. UA0	
2630	CQ	RA9H	N026	QR L	14. UA0	

# 複合検索 P-68

## 複合検索（ツール利用検索）

### 条件（検索する文字）

検索したい文字列を記入します。

### 完全一致等

完全一致検索

前方一致検索

（部分一致検索とする場合は検索後、②の検索する文字の前に「\*」を記入して検索実施を行います。例 LIKE '\*BGA\*'）

### 検索場所

プルダウンから選択します。

### 条件

プルダウンから選択します。

Like演算子：任意の一文字と一致する場合に使用します。

「?\*」を使用する場合に使用

### 検索場所

前後の条件文のつながりを設定します。

プルダウンから「AND、OR」選択します。

コマンド直接記入検索は次ページ「P-54-2」

複合検索 & 書換

条件等クリア 抽出開始

① 複合条件	検索する文字	完全一致等	検索場所	条件	結合条件(AND OR)
条件1	2017/01/01	<input type="checkbox"/> 完全一致 <input checked="" type="checkbox"/> 前方一致	DateTime	>=	AND
条件2	339	<input type="checkbox"/> 完全一致 <input checked="" type="checkbox"/> 前方一致	DXCCno	<>	AND
条件3	R	<input checked="" type="checkbox"/> 完全一致 <input checked="" type="checkbox"/> 前方一致	LoTW_R	LIKE	AND

注 1 場所は1から順に設定し、使用しない項目は検索場所を初期値（検索場所\*）に設定してください。  
 2 前方一致を選択した場合、条件は「LIKE」に自動的に設定されます。  
 3 部分一致とする場合は一旦前方一致で検索後、コマンド直接記入検索で検索文字の前に「\*」を追記検索してください。



----- コマンド直接記入検索 -----

DateTime >= '2017/01/01' AND DXCCno <> '339'  
 AND LoTW\_R LIKE 'R\*'

②

前方一致は、データの後ろに「\*」アスタリスクをを記入、  
 部分一致は、データの前後ろに「\*・・・\*」を記入  
 ○ かつこで囲み「AND、OR」を選択が可能  
 記入例：QSL未発行、LoTW未受領、JA以外の局を抽出  
 QSLR = \* And LoTW\_R = \* And DXCCno <> '339'

各ボタンを押してコマンドの入力方法を学び応用して書き換えれば、全ての項目から検索を自由に行うことができます。

環境へ読出・保存

検索実施

③ 次も①に同じ結果が得られます。

複合条件	検索する文字	完全一致等	検索場所	条件	結合条件(AND OR)
条件1	2017/01/	<input checked="" type="checkbox"/> 完全一致 <input checked="" type="checkbox"/> 前方一致	DateTime	LIKE	AND
条件2	339	<input type="checkbox"/> 完全一致 <input checked="" type="checkbox"/> 前方一致	DXCCno	<>	AND
条件3	R	<input checked="" type="checkbox"/> 完全一致 <input checked="" type="checkbox"/> 前方一致	LoTW_R	LIKE	AND

DateTime LIKE '2017/01/\*' AND DXCCno <> '339'  
 AND LoTW\_R LIKE 'R\*'

# 複合検索 P-69 (コマンド直接記入検索)

ここへコマンドを記入することでどのような複雑な検索でも実施できます。

## 検索前の準備

直接記入するには記入ミスも多く複雑になりますので事前に類似した内容の検索を実施しておきます。

例：2017年の1月から5月22日までの間のQSOにおいてLoTWとカードを受領した局を検索する場合の例

1 日付検索で① 事前準備の様に事前に検索を行います。  
※ LoTWは「R 20170501」の様に日付が付与されますので末尾に「\*」を入れるにチェックをしておきます。

2 「DateTime >= '2017/01/01' And DateTime <= '2017/05/22' And LoTW\_R LIKE 'R\*'」がテキスト欄に記入されます。② 事前準備結果

3 LoTW R LIKE 'R\*' 部分を次に置き換えます。  
(LoTW\_R LIKE 'R\*' OR QSLR LIKE'R')

※ AND、ORを相互に使用する場合は次の様に「()カッコ」でくくることに注意してください。

かっこの例  
(\*\*\*\*\*文\*\*\*\*\* OR \*\*\*\*\*文\*\*\*\*\*) AND (\*\*\*\*\*文\*\*\*\*\* OR \*\*\*\*\*文\*\*\*\*\* OR \*\*\*\*\*文\*\*\*\*\*)  
かっこはかっこの中にカッコでくくることもOKです。

日付検索

いつから ~ いつまで  
2017/01/01 2017/05/22

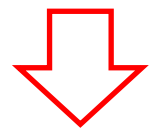
どこが (検索場所) 検索する文字  
16 LoTW\_R R

先頭に「\*」を入れる  
 末尾に「\*」を入れる

- 検索場所が「検索条件」または検索する文字が「\*」（未入力）の場合は期間のみの条件となります。
- 検索する文字は「スペース」も文字として認識します。DB欄の未記入を検索する場合は、「」（半角のスペース）を入力してください。（DBグリットのデータ未入力部分=半角のスペースが入力済）
- \* = ワイルドカードです。（先頭末尾に入れると部分文字列検索になります。）

検索実施 「期間」 + 「QSL未発行」の条件で検索  
(「QSL\_T」欄に文字未記入の局)

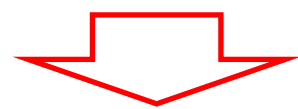
① 事前準備  
ページ内の適宜なツールやボタンで事前に検索を実施すると、コマンド記入欄のテキストボックスにコマンドが記載されま



----- コマンド直接記入検索 -----

DateTime >= '2017/01/01' And DateTime <= '2017/05/22' And LoTW\_R LIKE 'R\*'

② 事前準備結果



③ コマンド書き換え ⇒ 検索実施

DateTime >= '2017/01/01' And DateTime <= '2017/05/22' And (LoTW\_R LIKE 'R\*' OR LoTW\_R LIKE 'R')

④ 結果はメイン画面で確認

# 業務日誌修正 P-70

## 業務日誌欄修正履歴

業務日誌を修正した場合に直前のデータが何てあったかを把握して、不慮の修正を行ってしまったときに元に戻すことが出来る様に履歴を残すようにしました。

履歴は「メッセージ欄 (オプション)」、  
「C:\¥BGALOG¥RIREKI.TXT (必須)」の双方に残せます。

## 登録のタイミング

別の行へカーソルが移動した時点で記録を行います。

## メッセージ欄オプション

「Crpt」にチェックがあるとここへは表示しません。

## 業務日誌修正履歴欄での確認

この場所で履歴が確認できます。

「C:\¥BGALOG¥RIREKI.TXT」は常時記録されます。

## 項目内文字置換

### 項目内全置換

★ 済項目全文字書換(事前抽出が必要)

- 1 置き換える場所をを選択
- 2 置き換前文字を記入
- 3 ピンクの「抽出DB書換」クリックで終了  
検索済のデータベースの項目を全て指定内容で書き換

### 一致文字(文字列)のみ修正

★ 文字(文字列)のみ置換(事前抽出不要)

- 1 置き換える場所をを選択
- 2 置換後の文字を記入
- 3 置換前の文字を記入
- 4 ピンクの「書換文字」に変換をクリックで終了  
全データベースの指定項目内の文字(文字列)を指定文字に書換

[ JASBEN ] の [ Memo1 ] を変更 : [ ] ⇒ [ 3 ]									
[ 8J249HAM/2 ] の [ Memo1 ] を変更 : [ ] ⇒ [ 2 ]									
[ 8N20GWEW ] の [ Memo1 ] を変更 : [ ] ⇒ [ 1 ]									
☆ 次の通りパソコンのポートをオープンしました。 ポート=C0									
マネージャ	住所検索	P	ゾーン	JCC	GL				
JAPAN					AS-25				
メッセージ取得先	✓ Edit	T	R	LOTW	相手移動地	自局移動地			
<input checked="" type="checkbox"/> Crpt									
P	ゾーン	T	R	L	備考1	JCC	GL	IO	
	AS-25				1	1901			
	AS-25	/			2	2108			
	AS-25				3			PM63	
	AS-24							OM91	
	EU-15							JN65	

修正例

① メイン画面 | ② マニュアル & WWW接続 | **③ ファイル内容確認**

取込ファイル選択・取込

定型テキスト直接表示 | MSG.TXT | 登録分DT\_Backup | **業務日誌修正履歴** | エラーテキスト

```
[ 8N20GWEW ] の [ Memo1 ] を変更 : [ ] ⇒ [ 1 ]
[ 8J249HAM/2 ] の [ Memo1 ] を変更 : [ ] ⇒ [ 2 ]
[ JASBEN ] の [ Memo1 ] を変更 : [ ] ⇒ [ 3 ]
```

----- 抽出済データ 書換 (項目内 完全入替) ----- 抽出&書換 (項目内 特定文字入替) -----

済項目全文字書換 (事前抽出が必要) ← 書換場所選択 書換先 [ ] → 文字(文字列)のみ置換 (事前抽出不要)

← 書換文字 [ ] →

----- 以下約けけ入用の暫定やり方 -----

↑

書換前文字 [ ]

★ ミスをするとう修正できませんので、念のためバックアップを取ってください。

# EQSL P-71

## eQSL. CCとの連携

新規の未処理データ(2件)を処理します。

QSL処理

EQSL一致 文字記入 **終了**

ADIFへ追加 eQSL.cc 接続

eQSLファイル削除 ADIファイル一括取込

eQSL記号無抽出

登録時eQSL自動登録 **画像取込ボタン**

受信トレイ  
未読のeQSL一覧

アーカイブ  
既読・アーカイブ済みのeQSL一覧

		AG + Non-AG		
バンド	15M	2		
モード	CW	2		
年月	1999 July	2		
カントリー	ROMANIA	AG	Non-AG	Combined
<b>Entire InBox</b>		2		All

検索ツール

画像表示

未読のeQSL

検索条件	処理	コールサイン	QSO日時 (UTC)	バンド	モード (伝搬モード)	カントリー	AG	RST, コメント	処理
	DISPLAY	YO8BIG	11Jul1999 07:36	15M	CW	ROMANIA	AG	599	<input type="checkbox"/> Archive
	DISPLAY	YO8BIG	11Jul1999 08:16	15M	CW	ROMANIA	AG	599	<input type="checkbox"/> Archive

Check All | Check All Confirmed | Uncheck All

Move checked eQSLs to ARCHIVE

BGALOG側の処理

コールサインをコピーしてBGALOGに貼り付け  
検索実施

完全一致検索	部分一致検索	先頭一致	Y08BIG	FT8	14.074.0	Y0	Z/S	ADAM GRECU	ROMANIA
DIGITAL_NEW=[R] / QSLマネージング=BUREAU.									
コールサイン	日付	時間	モード	周波数	HRS	MRS	パワー	DX...	名前等
YO8BIG	1999/07/11	08:16	CW	21.000	599	599	Y0	275	
YO8BIG	1999/07/11	07:36	CW	21.000	599	599	Y0	275	

L	e	備考1	IOTA
L	R		
L	R		

QSL処理

EQSL一致 文字記入

### 一括処理

BGALOG側は処理できますが、EqSL. CC側の処理は行うことが出来ません。  
また、受信トレイにあるものはダウンロードができないため、BGALOG側を処理できません。

一致処理を行った後チェックを入れて登録で終了

未読のeQSL

検索条件	処理	コールサイン	QSO日時 (UTC)	バンド	モード (伝搬モード)	カントリー	AG	RST, コメント	処理
	DISPLAY	YO8BIG	11Jul1999 07:36	15M	CW	ROMANIA	AG	599	<input checked="" type="checkbox"/> Archive
	DISPLAY	YO8BIG	11Jul1999 08:16	15M	CW	ROMANIA	AG	599	<input checked="" type="checkbox"/> Archive

Check All | Check All Confirmed | Uncheck All

Move checked eQSLs to ARCHIVE

# QSLカード管理 P-72

## QSLカード管理画面(DXCC、JCC)

DXCC	IOTA	CW	PHONE	DIGITAL	Q
					P
1.9					
3.5			P5RS7		PM39A
7		P5RS7			836
10			344		
14		P5RS7	P5RS7	P5/4L4FN	
18					
21		P5RS7	P5/4L4FN	P5/4L4FN	316

QSLカード表示画面 (DXCC・IOTA)

標準画像 | 表表示 | 裏表示 | 抽出件数 = 2 | P5\_4L4FN-F\_344F | 縦横比変換

コールサイン | P5\_4L4FN | DXCC | 344 | IOTA | 画像検索 | マニュアル | マウスホイールクリック=HELP

部分クリックで  
画像が検索できます。  
メイン画面、画像画面  
等で操作できます。

GL	Q
	F
BG08	
NJ07BD	
	F

QSLカード表示画面 (JCC)

標準画像 | 表表示 | 裏表示 | 抽出件数 = 1 | 縦横比変換

コールサイン | BJ2A\_2 | JCC | 2004 | 画像検索 | マニュアル | マウスホイールクリック=HELP

### 浅野公園開園100周年・つつじ祭

# 8J2A

いちのみやし  
一宮市  
ICHINOMIYA CITY

愛知県

浅野公園

浅野長政公

一宮市公式マスコット  
キャラクターいちみん

Photo	Bureau	DXCC管理	各画面の (Photoの文字)
Photo		IOTA管理	
Photo		JCC管理	
Photo			

IOTA	JCC	GL	Q
	0915	QF560E	F
AS-037		IK52X0	
		PF95HJ	F
OC-011		QJ57VK	

画像が登録されていれば各  
枠内の記号等  
クリックで画像  
が表示されます。

# 画像取込 P-73

## eQSLから画像の取込 画像写真とBGALOGの連携

- DX 4画面クラスター
- e-QSL
- コンテストカレンダー
- DX情報掲示板



コールサイン:パスワード入力  
ログイン

## INボックス



## 目次1へ

[バンド] [モード] [年月] [カントリー] [すべて]

区分	ページ	すべて
バンド	2M	AG + Non-AG
	6M	1
	10M	52
		185

途中省略(椅子れか選択で次の画面)  
リストは下の他のログソフトへの移行用の  
こちらをクリックで取得できる

ZIMBABWE

Entire InBox 2103

写真画像を表示

処理	コールサイン	QS (L)
DISPLAY	4K6FO	15N 21:0
DISPLAY	A45XR	10D 14:5
DISPLAY	A45XR	29N 14:5
DISPLAY	BA4RF	29J a

表示画像を切り取りファイル名を「コールサイン. Jpg）」に変更



ファイル名  
5W1SA

コールサイン  
↓  
5W1SA-F OC-097F 190F.JPG  
に変更し「C:¥QSLCARD¥」  
へ移動

検索ツール

ここで条件を設定して検索することもできます

コールサイン:

バンド:

モード:

年月: from:  (MM/DD/YYYY) to:  (MM/DD/YYYY)

カントリー:

免許権状態:  All  AG  Non-AG

Note: このアカウントでは、下記の期間に該当するeQSLだけを表示しています:  
11-Sep-1964 00:00 - 03-Dec-2017 00:00  
この期間の変更や修正が必要でしたら、[My Profile](#)に進んで下さい。

※Archive内の全データをADIF形式でダウンロードするには[こちら](#) (他のログソフトへの移行用)

## BGALOGとの連携

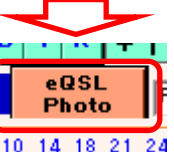
QSO状況を確認して交信画像とBGALOGの行を対象のデータしておきます。  
Fot (Photo) ボタンをクリックすると登録が完了となり、各DB内を自動整理します。  
(TEMPフォルダー内の画像は自動で外カード内へ移動)

名前	サイズ	更新日時
ひとつ上へ		
bu2ai-F .jpg	99,276	17/09,
5w1sa-F .jpg	84,922	17/09,

[ -F ] は不要 [ 5W1SA. JPG ] でOK

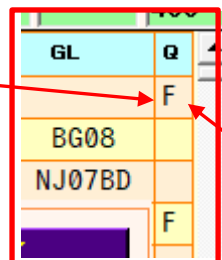
呼号	日時	モード	距離	方向	名前	住所	バンド	モード	距離	方向	呼号	日時	モード	距離	方向	名前	住所	バンド	モード	距離	方向		
ON4VT	2017/12/07 08:31	FT8	14,074.0	-14	-17	ON	290	BELGIUM	KJANT	EU-14	R	R											
ES190	2017/12/07 08:47	FT8	14,074.0	-01	+07	ES	234	SOUTH CO...		OC-32	L	E											
4S7AB	2017/12/04 01:27	FT8	14,074.0	-02	-03	4S	315	KAMAL EDI...	SRI LANKA	AS-22	L	E	BORNH-1973	0914	AS-083								
LA1KUA	2017/11/30 09:31	FT8	14,074.0	+04	-07	LA	266	KIM STANLE...	NORWAY	EU-14	R	R	LOTH-										
EAS80	2017/11/30 08:28	FT8	14,074.0	+06	-01	EAS	629	MANUEL ANG...	CANARY IS.	AF-33	R	R	LOTH-										
HA7TM	2017/11/30 08:14	FT8	14,074.0	-14	-14	HA	239	TIBOR TIB...	HUNGARY	EU-15	R	R	LOTH-										
UA0FO	2017/11/30 08:01	FT8	3,573.0	+01	-12	UA	015	SERGEY LIT...	ASIATIC C...	AS-17	R	R	LOTH-										
3D2AG	2017/11/30 04:40	FT8	14,074.0	+01	+01	3D2	176	ANTOINE DE...	FIGI IS.	OC-32	L	E	BORNH-										
5M2ART	2017/11/22 07:10	FT8	14,074.0	-18	+01	5M2	290	BAN ABO RA...	TADOU RE...	AS-28	L	E	LOTH-										
PD7JW	2017/11/22 06:57	FT8	14,074.0	-15	-13	PA	263	JEROEN VAN...	NETHERLANDS	EU-14	R	R	LOTH-										
VK9MA	2017/11/09 07:20	RTTY	21,064.0	599	599	VK9M	171	ROBERT FAN...	MELLISH ...	OC-36	L	E	LOTH-										
VK9AR	2017/11/08 23:57	CW	10,890.0	599	599	VK	150	ISA OC-21...	AUSTRALIA	VK3CE	P	OC-26	L	E	LOTH-								

「EQSL一致」文字書き込み



名前	サイズ	更新日時
TEMP		
5W1SA-F OC-097F 190F .JPG	84,922	17/09,
5W0RR-F OC-097F 190F .JPG	129,746	17/09,

※ 最新版ではTEMP欄への記入は[-F]は無視され不要でコールサインのみでよくなりました。  
例:[5W1SA. JPG]のみで登録可能



画像は前頁の様にいつでも簡単に表示できます。

QSL処理

EQSL一致 文字記入

ADIFへ追加

eQSLファイル削除

eQSL記号無抽出

登録時eQSL自動登録

# 画像ファイル作成 P-74

EQSLと一致処理、取り込んだ画像の処理送り込むADIFファイルの作成などの処理を行います。

## eQSL(画像、ファイル作成)処理



クリックで作業画面が表示

クリックで「e」欄に「E」の文字が書き込まれます。

R	L	e
		E
		E

e Q S L 送信方法の選択  
「次ページ」を参照

e Q S L . C C への送信  
上の送信方法に従い直接送信または  
A D I F ファイルへ出力

・ e Q S L 記号無抽出  
期間限定をしてADIFファイルを作成

・ 「eQSL.ADI」ファイルを削除します。  
eQSLへ送付後に削除してください。

・ ADIFファイル一括取込。  
期間を限定して一括取込の処理「Q」欄  
へ「R」書き込みを行います。  
※ 以前の処理の名残でありお勧めでき  
ません。



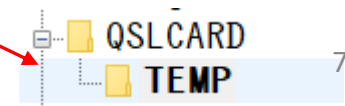
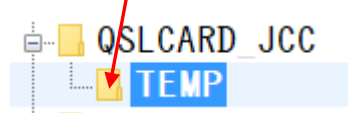
・ 画像一括取込ボタン  
「C:¥QSLCARD¥TEMP」に取り込まれて  
いる画像「例:CP6CL.jpg」をBGALOG  
画像として見える様に変換して  
「C:¥QSLCARD¥」フォルダーへ移動取り込  
を行います。  
取込前例 : 「CP6CL.jpg」

※ 記号自動付加  
取込後例 : 「CP6CL-F 104F.JPG」  
※ DXCC番号IOTA番号等を自動的に  
付加し「Q」欄へ画像有りの記号を登  
録します。  
画像有りの記号クリックで画像が表示  
されます。

eQSLホームページへ接続します。  
接続時には自分のコールサインを  
クリップボードへ登録しています。

・ フォルダ一移動事前準備  
取り込んだファイルを事前に「TEMP」フォルダへ  
「DXコールサイン.JPG」としてコピーしておく必要があります。  
J A の場合 : D X の場合

次ページ、各ボタンのヘルプも参考にし  
てください。





# eQSL. CCとの連携 P-75

## eQSL直接送信を選択

右図のように「eQSL直接送信」を選択していると自動的にeQSL. CCへアップロードが行われ「e」欄に送信済記号が書き込まれます。

また、eQSL. CCからは登録済のレポートが帰ってきます。

## 利用するための環境設定

環境設定の次の場所にeQSLログインパスワードを登録します。

34000630 eQSLpassword \*\*\*PSW\*\*\*

eQSLautoへは右の送信方法選択時に自動登録されます。

34000610	eQSLauto	eQSL直接送信
34000630	eQSLpassword	*****



Result: 1 out of 1 records added  
 Information: From: JA5BGA To: WA9ONY/KH6 Date: 20180203  
 Time: 0133 Band: 20M Mode: FT8 RST: -15 SatMode: PropMode:

L	e	
	E	

## DXCCカントリーリストの一括補正 P-76

(交信登録済の業務日誌による自動登録)

登録済の業務日誌から一括でDXCCカントリーリストを補正します。

## 作業内容

- ① DXCCリストのデータの「T・R」部分を一旦全て削除します
- ② 更新して投入している全てのデータの更新状況を基にカントリーリストを補正していきます。  
「T・R」の書き込み  
カード受領欄、LOTW受領の場合は「R」書き込み「R」の書き込みの無い部分は「T」書き込み  
最初に「R」書き込みの局名を星取表に記載します。

## 注意内容

- ・不正DXCC番号がある場合  
DXCCカントリーリスト登録されていないDXCCがある場合はそのカントリーはエラーとなり登録されません。
- ・途中でエラーメッセージが出た場合  
周波数、プリフィックス、モード、DXCnoに不正があればそのカントリーは正しく登録されていません。  
右の下の各ボタンにてそれらの不正を取り除く必要があります。
- ・事前データチェック  
コールサイン、モード、プリフィックス、DXCCnoに未入力があると致命的エラーとなります。  
それらの項目欄をクリックして昇順・降順にソートさせて不自然な状況があれば修正してください。(先読みチェックを外してから実施)  
下の図はその不自然な例です。

コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	プリフィックス	DX...
YB8RW/P	2014/09/28 08:49	SSB	21.0	59	59		321
OE3XMA	2014/11/25 21:23	CW	3.5	599	599		
YB4IR/8	2014/12/26 10:40	CW	7.0	599	599		
V25A	2014/12/28 23:19	CW	21.0	599	599		094
TI5/N4YDU	2015/03/05 22:33	CW	28.0	599	599		308
TI5/KL9A	2015/03/05 22:35	CW	21.0	599	599		308
D0B	2015/03/14 20:18	CW	10.3	599	599		
YB8RW/P	2015/05/01 22:19	CW	21.0	599	599		
YB8RW/P	2015/05/07 04:32	CW	21.0	599	599		
5V7MI	2015/09/05 23:10	SSB	18.0	59	59		

削除中 IOTAオプション DXCCオプション 読売アワード JARL30周年記念

## メインオプション(DXCCオプション)

- ④ DXCCカントリーリストを再構築  
登録済業務日誌の全てのデータにより再構築  
作業内容  
① DXCCリストを初期化(データ部分の削除)  
② 登録業務日誌のDXCC番号よりDXCCリストを再構築  
※ 処理に数分~数十分を要します。

## メインオプション(メイン画面メンテナンス)

不正データ抽出(周波数、モード)

過去に入力済の周波数をチェック(ドットの無い周波数を補正)

補正 未登録PRE登録 ・プリフィックス未登録局を抽出し、DXCC番号記入  
(他のプログラムから移行した場合に使用します。)

「不正データ」のピックアップ:結果メイン画面表示  
結果はメイン画面に表示されます。

DXCC番号の整合性

それぞれの項目の文字をクリックします

たいていの不正なデータは行の先端か末尾に表示されますので不正なものを修正していきます。  
例では、プリフィックスをクリックしてそのプリフィックスが未登録のものが表示されています。  
プリフィックスとDXCC番号を補正します。  
この状態が残っていると各所でいろいろなエラーが発生します。

## JT65、FT8設定 P-77

FT8(参考画像、設定場所)  
(BGALOG関係関連部分)

項目	設定データ (Max2)
rigModeRoff	2
rigModeRTTY	0/01/00/02/0
rigModeJT65A	1/01/01/01/0
rigMode-D1	JT65
JT65EXE_Name	2
WSJT_NameFolder	shinichi
JT_Link	1
JT_Port	52001
JT_Wait	1000
FT8_Wait	0
JT_Add	1
FT8_DelayTime	0
JtTorikomiSentaku	30
Tel_NoFT8	0
JT_FT_Sort	1

FT オプション画面

**JTDX、WSJT LOG未登録チェック実施**  □=JTDX レ=WSJT

FT8のLOGデータ共有 (BGALOGのFTデータをJTDX、WSJTと共有)

① FT8データ作成 JTDX用ログデータ「wsjtx\_log.adi」の作成

② JTDX C:%Users%shinichi%AppData%Local%JTDX%wsjtx\_log.adi

③ WSJT C:%Users%shinichi%AppData%Local%WSJT-X%wsjtx\_log.adi

④ 環境登録 & 作成DT上書 上記作成DT & アドレスを登録  
上記アドレス ⇒ 環境ファイルへ登録  
作成データ ⇒ JTDX、WSJT

この画面の他、メイン画面に「⑩ ファイル内容確認」が有ります。

LOTWチェック レ=実施 □=未実施

FT画面フォント設定 = 14 (標準14ポイント)

過去交信状況表示 レ=非表示 □=する

エンティティ等表示 レ=非表示 □=する  
 表示内容 レ=エンティティ □=プリフィックス

時間変更時のライン[-]挿入 レ=非表示 □=する

未登録ファイル選択 下記以外のファイル選択 or 削除

検索対象場所 = C:%Users%shinichi%AppData%Local%JTDX%201910 ALL, TXT

検索文字 = + Enter = 検索実行

FT マニュアル

FT8画面自動起動

FT8画面表示位置初期化

UDPソースDT取込(分析用) JASBGA専用

General Radio Audio Sequencing Tx Macros Reporting Frequencies Notifications Filters Scheduler Advanced

Soundcard

Input: マイク (4- USB Audio Device) Mono

Output: スピーカー (4- USB Audio Device) Mono

全般 無線機 オーディオ 順序 Tx マクロ レポートリング 周波数 通知・色付け フィルタ ス

交信記録

Log OSO ウィンドウを表示する

OSOの自動的な記録を可能にする

RTTYモードへ変更

dBレポートをコメントに追加する

交信距離をコメントに記載

記録の後にコールサインとグリッドをクリアする

DXコールサインとグリッドをクリアして終了

ネットワークサービス

記録されたOSO ADIFデータを送る

TCPサーバー: 127.0.0.1

TCPポート: 52001

TCPサーバーへの送信を有効にする

第2UDPサーバー: 127.0.0.1

UDPポート: 2333

第2UDPサーバーへの送信を許可する

重複設定をしない(いずれかを使用)  
極力udpポートを使用する  
(重複使用をすると2重にデータが取り込まれます。)  
サーバーアドレスと使用ポートに注意願います。

JT、FT マニュアルで詳細を確認してください。

## DXCCリスト その1 P-78

考え方については、しっかり理解しておいてください。

ここが理解出来ていないと今後のBGALOG利用において問題が発生します。

QSOし登録したデータが中心となるために学習ファイルは皆さんからいただいた都度こまめにアップしています。

### 考え方

最新のBGALOGの「DXCC管理の基本は、DXCC番号」になります。

この番号は、「世界で統一され、唯一・無二」となりますのでここさえ合わせておけば、プリフィックスや消滅カントリーを含めエンティティの記載方法が異なっても全て自動で修復する仕組みとしています。

このことは、反面、言い返せばプリフィックスの名前やエンティティを個別に修正してもバージョンアップ時に自動で当方からのリストにより元に戻ってしまいます。

### これまでの経緯

旧(Ver2)まではプリフィックス名が基本でDXCC番号やエンティティ名は参考でした。

このため、ARRLやその他のリストと幾分異なった扱いとなっていました。

Ver3からは唯一無二のDXCC番号が存在することが分かりプリフィックス名中心を改め、DXCC番号中心に移行途中でした。

ただし、移行途中であることから試行錯誤がありました。

DXCCリスト中心からQSOデータ(業務日誌登録データ)のDXCC番号中心への切り替え(DXCCリストさえ合わせておけば、業務日誌は参考 ⇒ 業務日誌を中心としてDXCCリストはその表示である)

Ver4からは完全に業務日誌のDXCC番号中心のものとして作成しています。

基本は、各登録したQSOデータに基づきDXCCリストを作成するとの考え方です。

(DXCCリストは単に表示を行うためのもの)

プリフィックスやエンティティ名は異なっても単に表示のみの問題であり、この表示は簡単に当方からのリストにより変更出来ます。

いつでも訂正依頼があれば修正可能です。

## DXCCリスト その2 P-79

構築

DXCC 保守・再構築

読売

**1 DXCCリストをBGALOG標準に合わせる****BGALOGのカントリーリストに合わせる**

これを異なった場合はBGALOGとはリンクしませんので各自の責任においてその都度修正が必要です。

**2 最初に消滅カントリーのデータを整理する。(必須)**

消滅したカントリーのデータについてその業務日誌に登録している交信データのDXCC番号をきちっと正しく登録  
これを行っていればDXCCリストには消滅のカントリーとして登録されます。

**3 消滅カントリー以外のもの**

ARRLと不一致のカントリーのデータを探し出しその登録データのDXCC番号を修正する。

その方法の一例を次に記載しておきます。

この例は本来は全てのデータのDXCC番号を正しく登録させる必要がありますが、大変であるので手抜き処理を記載しておきます。

**① 現在の業務日誌のDXCCリストを整理していない場合**

これは手抜き処理であり完全にすべてのDXCC番号を整理している場合はこの作業を行わないでください。

DXCC消滅カントリーを整理しておりその他のカントリーを学習機能により自動修正を行いたい場合。

これを実施することにより現行の学習ファイルにより自動的にDXCC番号とカントリーが業務日誌のデータに書き換わります。

**② ARRLのDXCCリストと整合**

ARRLのDXCCのリストをダウンロードします。

BGALOGのDXCCリストと比較して異なる部分をDXCC番号により業務日誌のデータを抽出します。

その異なる部分のDXCC番号及びカントリーリストを修正します。

**① DXCCLIST.TXTファイルによりメンテナンス**

データ部分を除く Prefix、DXCCno、Zone、Country、Gl、Time、Km、Sp、Lp、bureau、Memo を更新

**② 消滅登録以外の交信済データのDXCC更新**

最新の学習機能によりプリフィックス、DXCC番号を書換

※ 数分～数十分を要します。  
「全て終了」のメッセージまでお待ちください。

★ 要注意 ★  
消滅カントリー(プリフィックスに「・」のあるもの)についてはそのカントリー、DXCC番号を変更しません。

プリフィックスに「**・**」が付いている必要があることに注意してください。

消滅カントリーも特別局として登録していますが、全てではありません。

プリフィックスに「**・**」が付いていれば無条件でそのデータは修正を行いません。

## DXCCリスト その3 P-80

## ③ BGALOGのDXCCリストの一括作成

以上業務日誌のデータが修正されれば、右のボタンで自動的にDXCCリストが一括で修正されます。

## 日常のリスト補正

業務日誌のDXCC番号を変更した場合やリストがおかしく感じた場合に使用

## ④ その後のDXCCリスト部分補正

業務日誌へのDXCC登録誤りや個別にそのカントリーを修正したい場合この作業は登録済の業務日誌の内容や修正は行いません。

DXCCカントリーリストのみを修正します。

そのカントリーを下のプリフィックス又はDXCC番号に記載してリターンキーを押しますと相互連動しています。

右の「DXCC保守」をクリックでそのカントリーの業務日誌の登録DXCC番号により自動補正されます。

※ チェックボタンにチェックがあると個々の操作時に確認なく連続で操作ができます。

## ③ DXCCカントリーリスト再構築

登録済業務日誌の全てのデータにより再構築

作業内容

(1) DXCCリストを初期化(データ部分の削除)

(2) 登録業務日誌のDXCC番号よりDXCCリストを再構築

※ 処理に数分～数十分を要します。

RS	Prefix	DXn	名前
	HS	387	

UTC : 11 08:52 JST : 10/11 17:52:24  
 OC-31 T30 : 10/11 20:52:24  
**WEST KIRIBATI(GILBERT IS.)**

IOTA	CW	PHONE	DIGITA	R	P	F	他	P
1.9	T30YA							GL地図
3.5	T30D	T30PY	T			T		RI69MA 5719 Km
7	T30D	T30PY	T	T		T		← →
10	T30D	301	T30D	R		T		124
14	T30KJ	T30D	T30D	R		T		304
18	T30D	T30D	T30D	R		T		
21	T30D	T30D	T30D	R		T		
24	T30D	T30D	T30D	R				
28	T30D	T30D	T30D	R				
50	T30SIX							

DXCC保守   
 JCC保守

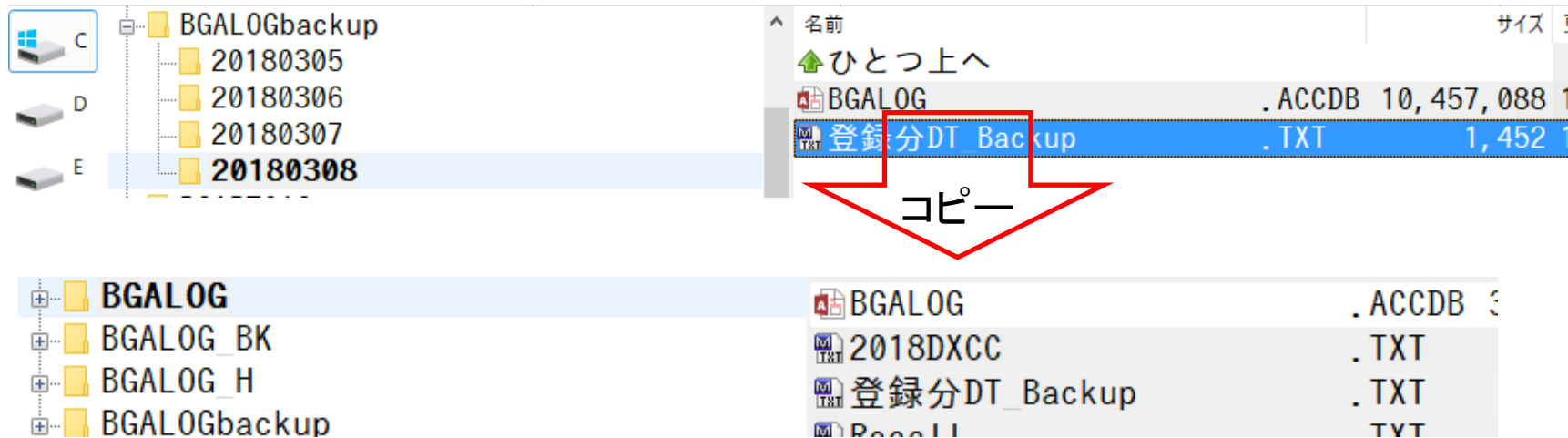
## 投入データが消えてしまった場合の復旧方法－1

復旧方法には3種類の方法があります。

(その1)

### 日付バックアップデータよりの復旧方法

次の場所 (C:\%BGALOGbackup) に日付別のフォルダーが作成され、その日の最終データ「BGALOG.ACcdb」がバックアップ保存されています。  
保存データの「BGALOG.ACcdb」をBGALOGフォルダーへコピーしてください。



### 注意事項等

日付別バックアップを行っていない場合は取得できませんので安全のため終了時に日付別バックアップを実施するようにお願いします。

「BGALOG.ACcdb」は当日の最終データのみのバックアップとなりますので、不正終了時に日付別を実施しますとその不正分が最終データとなることに注意してください。

不正であることが明確な場合は、BGALOG終了時に日付別バックアップを実施しないでください。  
書き込んでしまいますと、その前日のデータから復帰する必要があります。

この方法によりバックアップ付した場合はそのまま使用が出来ます。

## 投入データが消えてしまった場合の復旧方法－2

### (その2)

#### 登録分DT\_Backup.TXT よりの復旧方法

BGALOG内で「登録ボタンにより登録の都度、登録分DT\_Backup.TXTへ自動保存」する仕組みをとっていますのでこれから復旧を図ってください。

#### 保存場所

保存フォルダーは「C:¥BGALOG¥登録分DT\_Backup.TXT」及び「C:¥BGALOGbackup¥保存日¥登録分DT\_Backup.TXT」

#### ファイル内容の確認方法

BGALOG内からは「登録分DT\_Backup」ボタンで確認右図のように確認できます。

内容は次の通りです。

これを基に再度投入をする必要があります。

取込ファイル選択・取込		C:¥BGALOG¥登録分DT_Backup.TXT		
定型テキスト直接表示	MSG.TXT	登録分DT_Backup	業務日誌修正履歴	エラー
	eQSL.ADI	lotwreport.adi	自局CALL.ADI	
CE2AWW	2018/03/02 23:01 FT8	24.915.0	+00	-19
V85T	2018/03/02 22:47 CW	10.107.0	599	599
A92AA	2018/03/02 22:23 FT8	10.136.0	-16	-19
3C3W	2018/02/28 22:00 CW	10.125.0	599	599
3D2EU	2018/02/28 21:56 CW	18.080.0	599	599
W1LAC	2018/02/02 00:25 CW	21.020.0	500	500

#### 注意事項等

日付別バックアップを行っていない場合は取得出来ません。

「登録分DT\_Backup.TXT」へはBGALOGでの業務日誌への追加登録ボタン押下の都度、自動で復旧用として登録されます。

「登録ボタン押下の都度自動でテキストファイルに自動追記」されますので普段は気にする必要はありません。

(ただし、データの肥大化を防ぐために月の初日に削除確認メッセージは在りますが、自動的に除されます。)

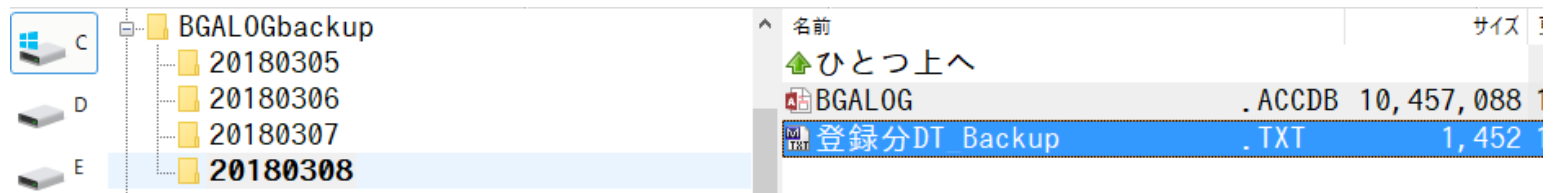
### (その3)

#### 直近データが完全破損の場合の復旧方法

前記、「1、2」が使用出来ない場合は「残念ながらその日のデータを復旧する方法がありません。

その場合は、日付別保存データを探して使用できる最新日付のものをBGALOGフォルダーへコピーしてください。

その入力している日付より後は、最新の「登録分DT\_Backup.TXT」によりその後を投入してください。



#### (番外修復) マイクロソフトアクセスにより修復

業務日誌以外の場所が壊れた場合、や方法不明な場合は、JA5BGAまで相談してください。



# クリップボードの活用 (コピー、貼り付け)、特殊機能

## コントロール+左クリック①~②、⑧

クリックした位置の内容をクリップボードへコピー (コピーしました:音声)

## シフト+左クリック①~②、⑧

クリップボードからの貼り付け

## 文字の範囲を選択

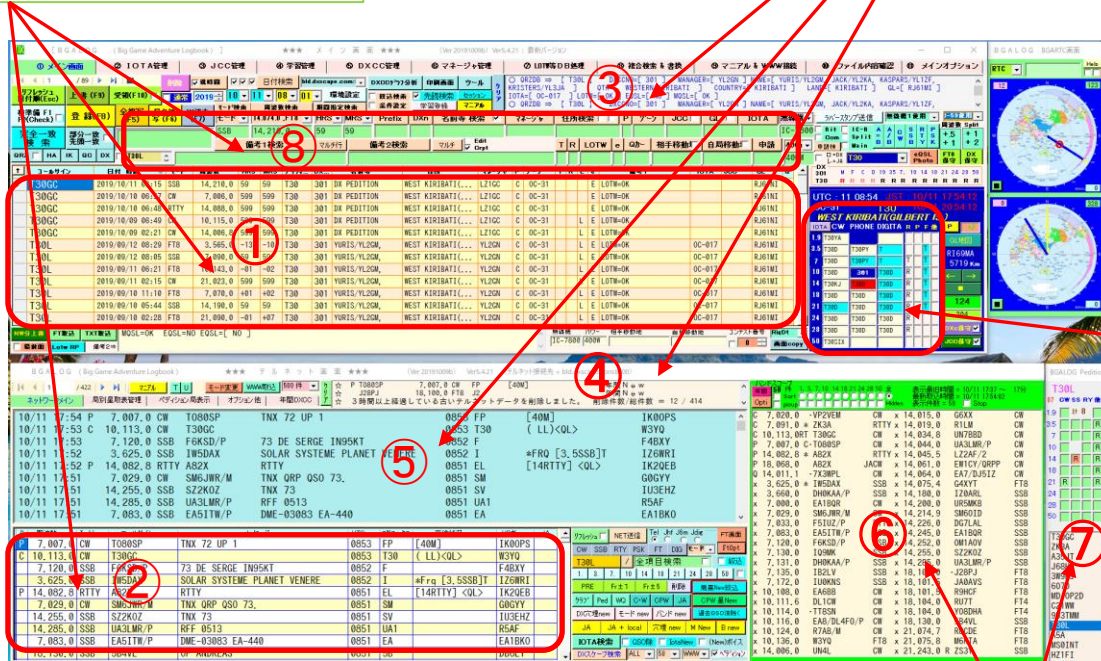
選択範囲をクリップボードへコピー (選択範囲をコピーしました:音声)

## 単純クリック③~⑤

それぞれに与えられている機能を実施

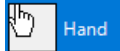
③、④= 画面の拡大⇄縮小

⑤= コールサイン検索



ダブルクリック  
同一コールサインの局を検索し業務日誌へ抽出

周りの文字クリックで該当の局等を抽出 (ハンドマークの場所)  
LOG全体



## ※ アルトキー+左クリック ①⇄⑧ 相互貼り付け

クリックした位置の内容を「①⇄⑧」相互に同一項目の欄にコピーします。

## ※ クリップボードからの「貼り付け」 PC全体

クリップボードへコピーした内容はPC内の全ての場所へ貼り付けを行うことができます。

「CTRL」+「V」で貼り付けが出来ます。(ウインドウ標準機能) (音声無し)

## 単純クリック

同一コールサインをワーク欄へ抽出 & 検索メイン画面



## メイン画面の項目別、注意事項

\* =プログラム上の最重要項目、\* =重要事項

一般的注意事項、「半角の記号は極力使用不可」プログラムと混同した動作をし、検索不可が発生の可能性有り:例["#\$%&'\*等]

項目	注意事項等	最大文字数
インデックス *	同一文字は不可:投入できずその後修正まで次の作業が出来なくなる(通常非表示で自動処理)	20
コールサイン *	空白(未記入)は不可:各種原因不明のエラーが発生	20
モード *	空白(未記入)を含めプルダウンメニュー以外のモード入力は不可、DXCCリストへ影響	6
周波数 *	空白(未記入)を含めMhzにドット(.)が必要、DXCCリストへ影響(正しい記入例:14.123.4、最短記入:14.)	10
相手RST	プログラム動作には影響無し、「カード、LOTW」等の授受に不一致が発生	4
自局RST	プログラム動作には影響無し、「カード、LOTW」等の授受に不一致が発生	4
プリフィックス *	正しいDXCCリストの処理が不可、検索時等の実行時に処理不能の為原因不明なエラーが発生	15
DXCC番号 *	正しいDXCCリストの処理が不可、検索時等の実行時に処理不能の為原因不明なエラーが発生	3
名前等	プログラム動作には影響無し、検索時に抽出できなくなる	30
マネージャ *	プログラム動作には影響無し、検索時に抽出できなくなる、カードの無駄	(13)15
住所等	自由に記載可能	60
ペディション等	自由に記載可能	1
ゾーン	プログラム動作には影響無し、検索時に検索不可	5
カード発送	自由に記載可能(/TJD等)、ただし半角スペースについては未発行	5
カード受領 *	「R」「スペース」以外は記入不可、DXCC整理がNG	5
LoTW送受 *	「スペース」または先頭の1文字は「R」以外は不可(記入例例:[R 2018.....]、or [R]の未記入)	15
eQSL	プログラム動作には影響無し、eQSL送受の記録のみ	
JCC等 *	住所以外に転用可、転用する場合はJCCと等しい番号の使用は不可(住所等が自動で書き込まれる)	(8)15
備考1、備考2	自由に記載可能(備考1:一覧表示をさせたいものを記入、備考2その項目にあてた場合に多くを表示)	245
IOTA *	IOTAリスト、画像表示と連携	

## メイン画面の項目別、注意事項－2

項目	注意事項等	最大文字数
グリットロケータ	プログラム動作には影響無し、検索時に検索不可 (GL使用時は4バイト、6バイトに注意)	(4、6)10
Photo(Q欄)	画像有りは(F:DX、J:JA)のみ記入、プログラム動作には影響無し、画像が表示出来なくなる	10
相手、自局、移動	住所以外に転用可能、転用すると印刷時に指定できない	相30、自20
PREソート*	プログラムには影響無し、印刷時にソート、マネージャの設定実施(印刷直前に実施が必要)	20
無線機	プログラムには影響無し、印刷時に利用される	20
出力・入力	プログラムには影響無し、印刷時に利用される	10
DX申請	プログラムには影響無し、検索時に検索出来なくなる(各種申請用に各自が記号を決めて登録します)	20
YOBI1	未使用非表示(予備)	20
YOBI2	未使用非表示(予備)	20

## データ簡易不正データチェック方法

各ボタンをクリックしてチェックして修正をしてください。

★ エラーチェックを実施(データ寮に合わせて時間がかかります。終了メッセージまで他の作業を行わないでください。)

重要度 (★ = 最も重要 ● = 重要 ▲ = 要修正)

★ コールサイン欄 (データ未記入:2バイト以下のデータ抽出)

● 日付欄 (20バイト以外を抽出)

★ モード欄 (登録のモード以外を抽出)

★ 周波数欄 (JAバンド外ものを抽出、オフバンドは未チェック)

▲ RST欄 (パターンチェックを行います。)

★ プリフィックス欄 (記号、未記入チェックのみでプリフィックスの正当性は未チェック)

★ DXCC番号欄 (3桁数字、[一]以外を検索)

★ カード受領欄 (スペース、R / (NoQSL) 以外を抽出)

★ LoTW受領欄 (スペース、先頭の1文字目が R 以外を抽出)

次の通り不正データが見つかりましたので修正してください。  
修正したい行の先頭から日付までの間をクリックしてください。  
対象のデータがメイン画面に表示されます。

[FAX]	[JA5GJM]	1987/03/08 11:53
[IBOL]	[JA5DM1]	1986/10/29 10:00
[IBOL]	[JR5XNY]	1986/10/29 04:00

ここをクリックでそのデータを表示します。

表示場所はメイン画面です。

# 業務日誌内文字列の置き換え（複合検索）

LOTW等DB処理

複合検索 &amp; 書換

マニュアル &amp; W

各項目内にある特定の不要な文字や記号を削除できます。

備考 2	ABCDEF GHIJKLM
---------	----------------

書き換え前の文字

## ① 項目内の全内容を置き換え

事前に検索をしておく必要があります。

書き換え場所のすべての文字を削除して書換文字の内容

「XYZ」に置き換えます。

備考 2	XYZ
---------	-----

書き換え結果

**注 事前にバックアップが必要です**

「BGALOG.ACcdb」バックアップ backup¥BK¥BGALOG.ACcdb等へ保存

----- 抽出済データ 書換（項目内 完全入替） ----- 抽出 & 書換（項目内 特定文字入替） -----

① 抽出済DB 書換処理  
項目内文字全入替

書換場所選択 19 MEMO2

書換文字 XYZ

② 業務日誌総データから「書換場所選択」  
内にある下の「書換前文字」を抽出し  
「書換文字」に置換

----- 以下の機能は用の暫定機能 -----

書換前文字 CDEFG

①、② 共通設定項目です。  
未記入の場合は文字を削除となります。

② 専用設定項目です。

## ② 項目内の特定文字列のみを置き換え

事前の検索は不要です。

書き換え場所の文字「ABCDEFGH IJKLM」のうち書換前文字「CDEFG」のみを「XYZ」に置き換えます。

結果は「ABXYZHIJKLM」となります。

備考 2	AEXYZHIJKLM
---------	-------------

# ADIFファイルの一覧確認とCSVファイルへの出力方法（参考記載）

ADIFファイルからのデータインポートはBGALOGで簡単に取り込めますが、その内容のみを見たい場合があります。この様な時にファイル内容を確認したりCSVファイルに出力できるフリーソフトを紹介します。

## 【ADIFMaster】

▲ ADIFMaster - C:\BGALOG\lotwreport.adif      **LOTWREPORT.ADIFファイルを表示した例です。**

Line	APP_LOTW_OWNCALL	STATION_CALLSIGN	CALL	BAND	FREQ	MODE	APP_LOTW_MODEGROUP	QSO_DATE	TIME_ON	QSL_RCVD	QSLRDATE	SUBMODE	APP_LOTW_EOF
1	JA5BGA	JA5BGA	JG1TWP	40M	7.04100	FT8	DATA	20191205	045600	Y	20191215		
2	JA5BGA	JA5BGA	4S7DLG	40M	7.07400	FT8	DATA	20191128	170500	Y	20191215		
3	JA5BGA	JA5BGA	V6K	20M	14.08500	FT8	DATA	20191207	054600	Y	20191214		
4	JA5BGA	JA5BGA	V6K	15M	21.07400	FT8	DATA	20191207	024200	Y	20191214		
5	JA5BGA	JA5BGA	V6K	20M	14.04000	CW	CW	20191206	053800	Y	20191214		
6	JA5BGA	JA5BGA	R6FY	30M	10.13600	FT8	DATA	20190329	204600	Y	20191213		
7	JA5BGA	JA5BGA	K5YG	30M	10.13600	FT8	DATA	20191124	011000	Y	20191213		

取り込んだADIFファイルのソース

```

1行 1列 1 Line 41H 1/28,688 Byte テキスト
1 ARRL Logbook of the World Status Report
2 Generated at 2019-12-19 00:39:02
3 for ja5bga
4 Query:
5 QSL ONLY: YES
6 QSL SINCE: 2019-11-12 00:00:00
7
8 <PROGRAMID:4>LoTW
9 <APP_LoTW_LASTQSL:19>2019-12-15 11:08:03
10
11 <APP_LoTW_NUMREC:3>102
12
13 <eoh>
14
15 <APP_LoTW_OWNCALL:6>JA5BGA
16 <STATION_CALLSIGN:6>JA5BGA
17 <CALL:6>JG1TWP
18 <BAND:3>40M
19 <FREQ:7>7.04100
20 <MODE:3>FT8
21 <APP_LoTW_MODEGROUP:4>DATA
22 <QSO_DATE:8>20191205
23 <TIME_ON:6>045600
24 <QSL_RCVD:1>Y
25 <QSLRDATE:8>20191215
26 <eor>
27
28 <APP_LoTW_OWNCALL:6>JA5BGA
29 <STATION_CALLSIGN:6>JA5BGA
30 <CALL:6>4S7DLG
31 <BAND:3>40M
32 <FREQ:7>7.07400
33 <MODE:3>FT8
34 <APP_LoTW_MODEGROUP:4>DATA
35 <QSO_DATE:8>20191128
36 <TIME_ON:6>170500
37 <QSL_RCVD:1>Y
38 <QSLRDATE:8>20191215
39 <eor>

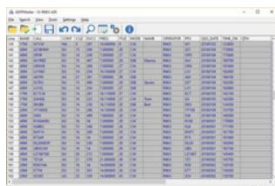
```

ダウンロード先 「 <http://www.dxshell.com/adif-master.html> 」



## ▲ ADIF Master

ADIF Master is a highly user-configurable Windows application for working with HAM accepted format for transferring logs between different Logging programs. ADIF Master logs or a part of it into an ADIF file. Also, you can use ADIF Master to open and modify and remove and modify ADIF tags and entries.



Current version: 3.1  
Size of a file zip: 683 KB  
Date Published: August 18, 2019

The minimal requirements:  
Windows 98/ME/2000/XP/Vista/7/8/10  
640x480 screen and higher  
16bit colour and above  
64Mb RAM and is higher

Download

ダウンロードをクリックして指示に従ってインストールしてください。

FILEから次を選択してください。  
各種のオプションがあります。  
各種のハム用の  
フィルターなども  
有ります。

